

# 西海市水道事業経営戦略

(西海市水道事業・西海市簡易水道事業)

【令和6年度～令和15年度】



つがね落としの滝

令和6年8月 改定



西 海 市 水 道 部



## 目 次

|                          |     |
|--------------------------|-----|
| <b>第1章 本経営戦略について</b>     | 1   |
| 1-1. 経営戦略改定の背景           | 1   |
| 1-2. 策定の目的               | 1   |
| 1-3. 計画の位置づけ             | 2   |
| 1-4. 計画期間                | 3   |
| <b>第2章 西海市水道事業の現状</b>    | 4   |
| 2-1. 沿革・変遷               | 4   |
| 2-2. 水道施設                | 6   |
| 2-3. 給水人口と給水量の推移         | 31  |
| 2-4. 組織体制                | 35  |
| 2-5. 経営状況                | 38  |
| 2-6. 効率化・経営健全化の取組状況      | 54  |
| <b>第3章 将来の事業環境の見通し</b>   | 56  |
| 3-1. 給水人口・給水量の見通し        | 56  |
| 3-2. 資産健全度の見通し           | 60  |
| 3-3. 更新需要の見通し            | 65  |
| 3-4. 組織の見通し              | 71  |
| 3-5. 事業経営の見通し            | 72  |
| <b>第4章 西海市水道事業における課題</b> | 77  |
| <b>第5章 経営の基本方針</b>       | 78  |
| 5-1. 西海市水道ビジョンにおける基本理念   | 78  |
| 5-2. 経営方針                | 79  |
| <b>第6章 投資計画</b>          | 82  |
| 6-1. これまでの事業内容           | 82  |
| 6-2. 計画期間における投資の見通し      | 83  |
| <b>第7章 財政計画</b>          | 86  |
| 7-1. 経営改善の方向性            | 86  |
| 7-2. 財政収支見通しの検討          | 89  |
| <b>第8章 投資・財政計画のまとめ</b>   | 95  |
| <b>第9章 経営戦略のフォローアップ</b>  | 98  |
| <b>第10章 今後取り組むべき事項</b>   | 100 |
| 【用語解説集】                  | 101 |



## 第1章 本経営戦略について

### 1-1 経営戦略改定の背景

公営企業においては、公共サービスの提供に必要な施設などの老朽化に伴う更新投資の増大や人口減少などに伴う料金収入の減少により、経営環境はますます厳しさを増しています。

このような中でも、公営企業が住民の日常生活に欠くことのできない重要なサービスを提供する必要があり、一層の経営健全化の取り組みが求められています。

総務省からは「公営企業の経営に当たっての留意事項について（平成26年8月29日）」が公表され、昨今の水道の事業環境の変化（水道施設の老朽化に伴う更新投資の増大、防災・減災対策の強化、人口減少に伴う料金収入の減少など）に対応するための「経営戦略」を策定し、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組むことが要請されています。

西海市では、令和元年度に「西海市水道事業経営戦略（令和元年度～令和10年度）」を策定し、これに基づく事業運営を実施しているところです。

しかしながら、現行の経営戦略に沿った取り組みなどの状況を踏まえつつPDCA サイクルを通じて計画の質を高めていくため、現行経営戦略の策定後3年から5年内の見直しを行うことが必要です。また、内閣府が策定した「新経済・財政再生計画改革工程表 2021（令和3年12月23日経済財政諮問会議決定）」によると、経営戦略の見直し率を令和7年度までに100%とすることとされており、経営戦略改定の必要性が生じています。

### 1-2 策定の目的

西海市（以下、本市）は、平成17年4月に旧5町（西彼町、西海町、大島町、崎戸町、大瀬戸町）が合併して誕生し、本市の水道事業は旧5町で運営していた2上水道事業、15簡易水道事業、8飲料水供給施設を引き継ぐ形で運営することとなりました。

その後、事業運営の効率化、経営基盤の強化を目的に、離島の3簡易水道事業を除いた本土部の水道事業を1つの上水道事業へと統合する計画として、平成25年度（平成26年2月28日）に創設認可（計画給水人口27,350人、計画一日最大給水量13,890m<sup>3</sup>/日）を受け、統合整備に必要な建設改良事業に着手してきました。また、平成29年4月から上水道事業と離島を除く簡易水道事業と飲料水供給施設を事業統合し、令和2年度より簡易水道事業は（松島・江島・平島）を上水道事業に会計統合しています。

経営面では、令和元年6月に策定した「西海市新水道ビジョン」による取り組みを進めていますが、大地震などへの災害対策の必要性、人口減少や節水機器の普及など社会情勢の変化による水道使用量の減少に対応した経営基盤の強化など新たな課題が山積しています。また高度経済成長期に整備した多くの水道施設で老朽化が進んでおり、施設の更新や耐震化には多大な費用が必要となるため、今後の財政運営は厳しくなっていくものと見込まれます。

このような状況を踏まえ、「西海市新水道ビジョン」に基づいて安全で安心な水道水を安定的に供給するため、ハード面においては施設整備計画や維持管理計画を推進し、ソフト面においては経営効率化や利用者サービスの向上に努めるとともに、状況の変化に合わせ新しい条件でシミュレーションを行い、水道料金体系について検証を続ける必要があります。

以上を踏まえ、現行の経営戦略の進捗管理（モニタリング）及び見直し（ローリング）を図ることを目的として、「西海市水道事業経営戦略（改定）」を策定するものです。

## 1-3 計画の位置付け

本経営戦略は、上位計画である「第2次西海市総合計画（後期基本計画）（令和4年3月）」の水道事業における基本目標との整合を図りつつ、厚生労働省の「新水道ビジョン」に基づき策定した「西海市新水道事業ビジョン（令和元年6月策定）」で示された理想像を目指し、水道事業の経営改善に向けた将来の取り組みや目指すべき方向性を示します。

また、戦略的な経営計画として推進するために、中長期的な視点に基づいた投資・財政計画を検討し、西海市水道部として重点的に取り組む施策を定めるものとします。

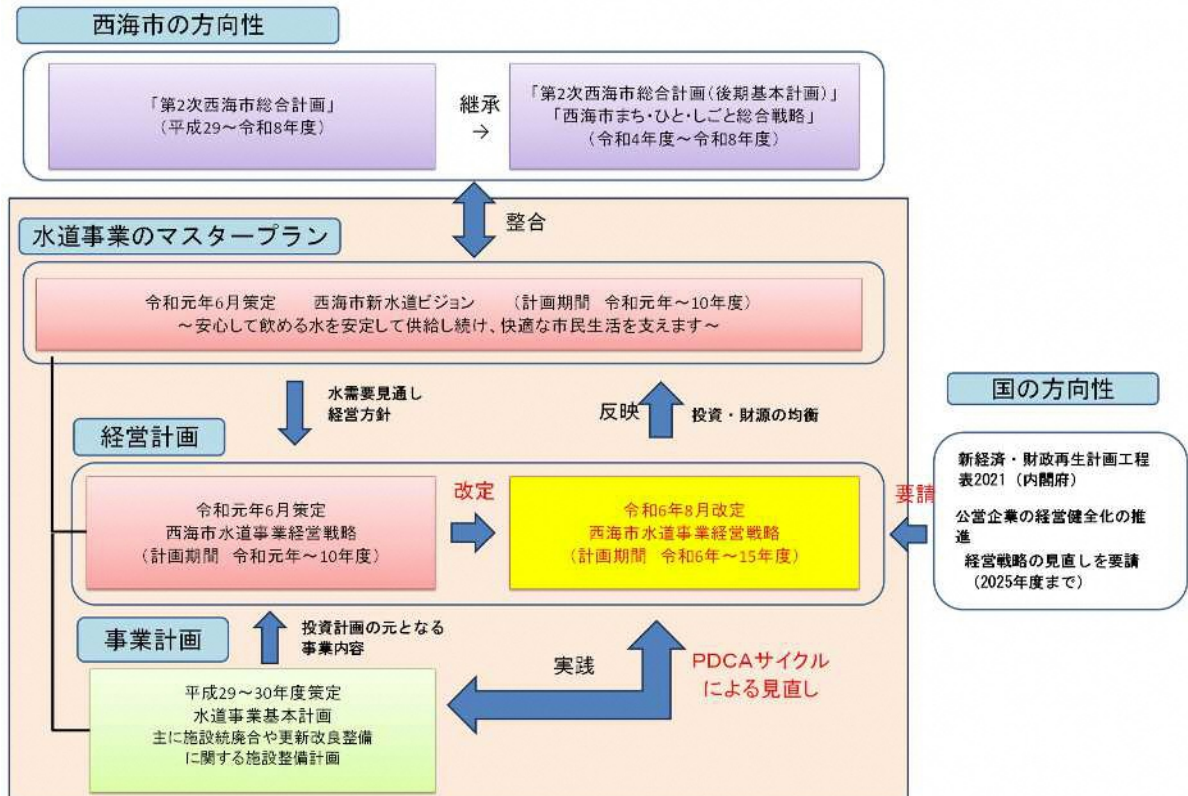


図-1.3(1) 経営戦略と他計画との位置付け

## 1-4 計画期間

本経営戦略の計画期間は、総務省が通達した経営戦略ガイドラインにおいて、「水道事業の特性、施設の老朽化状況、経営状況などを踏まえた合理的な期間（10 年以上）が必要である」としています。上記の考えを基に、計画期間は、事業の進捗状況を踏まえ、3～5 年毎の見直しも考慮し、令和6年度から令和15年度までの10年間と設定します。

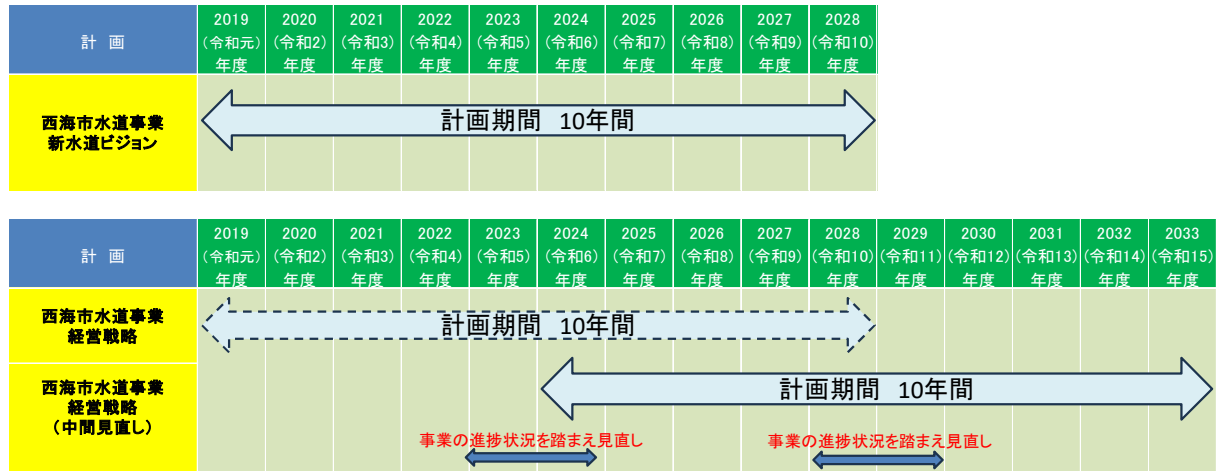


図-1.4(1) 経営戦略の計画期間



## 第2章 西海市水道事業の現状

### 2-1 沿革・変遷

水道事業の沿革は表-2.1（1）及び図-2.1（1）に示す通りです。

平成29年4月からは、上水道事業（旧上水道2箇所、旧簡易水道13箇所、旧飲料水供給施設8箇所）、簡易水道事業3箇所により運営しています。また、令和2年度より、簡易水道会計（松島・江島・平島）を上水道事業会計に統合し、事業運営を行っています。

事業規模は計画給水人口でみると、上水道事業で27,350人、簡易水道事業としては江島地区で320人、平島地区で440人、松島地区で1,000人となっています。

表-2.1(1) 水道事業の一覧（令和4年4月現在）

| 種別   | 旧 町  | 地 区    | 創設<br>年度 | 事業<br>変更<br>年度 | 許 可<br>年月日 | 計画<br>給水<br>人口(人) | 計画<br>給水量<br>(m <sup>3</sup> /日) | 水源種類     |
|------|------|--------|----------|----------------|------------|-------------------|----------------------------------|----------|
| 上水道  | 西彼町  | 南部地区   | S42      | H29            | H26.2.28   | 27,350            | 13,890                           | 表流水      |
|      |      | 北部地区   | S39      |                |            |                   |                                  | 表流水、地下水  |
|      |      | 川山木場地区 | H4       |                |            |                   |                                  | 表流水      |
|      | 西海町  | 七釜地区   | S59      |                |            |                   |                                  | 表流水、地下水  |
|      |      | 中部地区   | H2       |                |            |                   |                                  | 表流水、地下水  |
|      |      | 東部地区   | H3       |                |            |                   |                                  | 表流水      |
|      |      | 西部地区   | S62      |                |            |                   |                                  | 表流水、地下水  |
|      |      | 奥野地区   | S53      |                |            |                   |                                  |          |
|      |      | 白岳地区   | H4       |                |            |                   |                                  | 地下水      |
|      | 大島町  | 大 島    | S39      |                |            |                   |                                  | 表流水、その他  |
|      | 崎戸町  | 崎戸地区   | S44      |                |            |                   |                                  | ダム直接 表流水 |
|      |      | 大瀬戸    | S32      |                |            |                   |                                  | 地下水、その他  |
|      |      | 多以良地区  | S46      |                |            |                   |                                  | 地下水      |
|      |      | 小松地区   | S49      |                |            |                   |                                  | 地下水      |
|      |      | 中部地区   | S53      |                |            |                   |                                  | 表流水      |
|      |      | 藤原地区   | S56      |                |            |                   |                                  | 表流水、地下水  |
|      |      | 上ノ瀬地区  | S57      |                |            |                   |                                  | 表流水      |
|      |      | 幸物地区   | S58      |                |            |                   |                                  | 表流水      |
|      |      | 河通地区   | S59      |                |            |                   |                                  | 地下水      |
|      |      | 白檜地区   | S61      |                |            |                   |                                  | 地下水      |
| 簡易水道 | 崎戸町  | 江島地区   | S36      | H7             | H7.12.4    | 320               | 222                              | 地下水      |
|      |      | 平島地区   | H1       |                | H1.4.27    | 440               | 145                              | ダム直接、湧水  |
|      | 大瀬戸町 | 松島地区   | S47      | H6             | H4.5.21    | 1,000             | 400                              | 湧水       |
|      |      |        |          |                |            |                   |                                  |          |

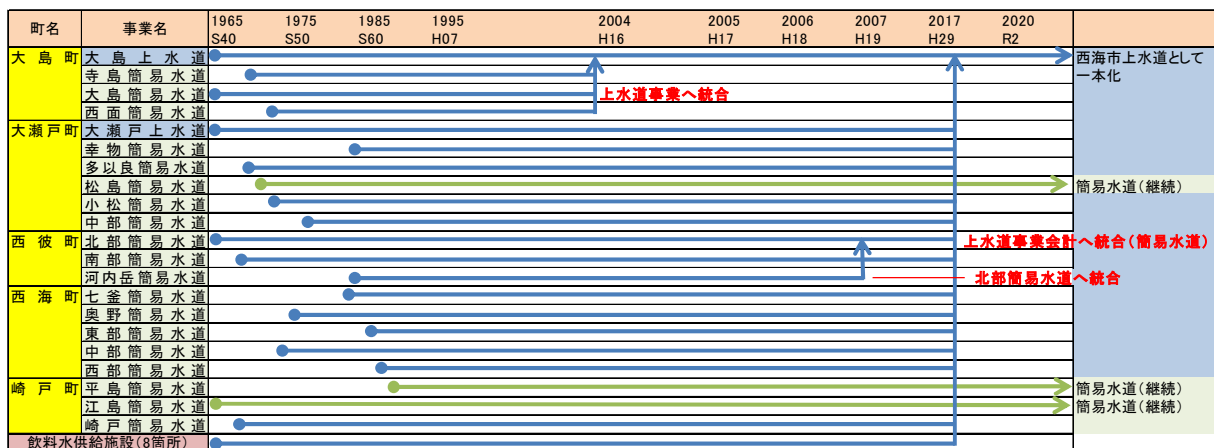


図-2.1(1) 水道事業の沿革

## 2-2 水道施設

## 1) 施設概要

本市が管理する水道施設の位置図を図-2.2(1)に示します。

地区別の水源を取水後、適正な浄水処理を経て、浄水を貯める配水池へ送水し、そこから自然流下もしくは中継ポンプ場を経由して各給水区域へ配水しています。

平成17年4月の合併前に旧5町（西彼町、西海町、大島町、崎戸町、大瀬戸町）で管理していた水道施設を一括管理しており、下表に示す旧町・地区別で整理した主要な水道施設の一覧を整理すると、水源53箇所、浄水場27箇所、配水池97箇所、減圧水槽44箇所、ポンプ場32箇所と多くの水道施設を管理しています。今後は、多くの水道施設を効率的に管理するためにも、水道施設台帳を整備する必要があります。

表-2.2(1) 水道施設数一覧表

| 種別   | 旧町   | No | 地区      | 浄水場系統        | 水道施設数 |     |     |      |      |
|------|------|----|---------|--------------|-------|-----|-----|------|------|
|      |      |    |         |              | 水源    | 浄水場 | 配水池 | 減圧水槽 | ポンプ場 |
| 上水道  | 西彼町  | 1  | 西彼南部地区  | 平原浄水場        | 3     | 1   | 11  | 3    | 5    |
|      |      | 2  | 西彼北部地区  | 大串浄水場        | 6     | 1   | 16  | 13   | 9    |
|      |      | 3  | 西彼北部地区  | 小迎浄水場        | 2     | 1   | 1   | —    | —    |
|      |      | 4  | 川山木場地区  | 川山木場浄水場      | 1     | 1   | 1   | 2    | 1    |
|      | 西海町  | 5  | 七釜地区    | 七釜浄水場        | 2     | 1   | 2   | —    | —    |
|      |      | 6  | 西海中部地区  | 西海中部浄水場      | 4     | 1   | 7   | 4    | 2    |
|      |      | 7  | 西海中部地区  | 黒口水源・横瀬西水源   | 1     | —   | 7   | 1    | 1    |
|      |      | 8  | 西海東部地区  | 東部地区浄水場      | 2     | 1   | 3   | 1    | 1    |
|      |      | 9  | 西海西部地区  | 西部地区浄水場      | 3     | 1   | 5   | 6    | 1    |
|      |      | 10 | 白岳地区    | 白岳地区浄水場      | 1     | 1   | 1   | —    | —    |
|      | 大島町  | 11 | 大島地区    | 中浦浄水場        | 1     | 1   | 11  | 2    | 3    |
|      | 崎戸町  | 12 | 崎戸地区    | 崎戸浄水場(中浦浄水場) | 1     | 1   | 6   | —    | 5    |
|      | 大瀬戸町 | 13 | 大瀬戸地区   | 河通浄水場        | 2     | 1   | 3   | —    | 2    |
|      |      | 14 | 多以良地区   | 板浦浄水場        | 3     | 1   | 1   | —    | —    |
|      |      | 15 | 多以良地区   | 多以良浄水場       | 1     | 1   | 1   | —    | —    |
|      |      | 16 | 小松地区    | 小松地区浄水施設     | 1     | 1   | 2   | 2    | —    |
|      |      | 17 | 大瀬戸中部地区 | 大瀬戸中部地区浄水施設  | 2     | 1   | 4   | —    | 1    |
|      |      | 18 | 上ノ瀬地区   | 上ノ瀬地区浄水施設    | 2     | 1   | 1   | 2    | —    |
|      |      | 19 | 幸物地区    | 幸物地区浄水施設     | 1     | 1   | 1   | 5    | —    |
|      |      | 20 | 白西平地区   | 白西平地区浄水施設    | 1     | 1   | 1   | —    | —    |
|      |      | 21 | 白檉地区    | 白檉地区浄水施設     | 1     | 1   | 1   | —    | —    |
|      |      | 22 | 奉還地区    | 奉還地区浄水施設     | 1     | 1   | 1   | —    | 1    |
|      |      | 23 | 藤原地区    | 藤原地区浄水施設     | 1     | 1   | 1   | —    | —    |
|      |      | 24 | 河通地区    | 河通地区浄水施設     | 1     | 1   | 1   | 3    | —    |
| 簡易水道 | 大瀬戸町 | 25 | 松島地区    | 仁崎浄水場・西泊浄水場  | 4     | 2   | 2   | —    | —    |
|      | 崎戸町  | 26 | 江島地区    | 江島浄水場        | 3     | 1   | 3   | —    | —    |
|      |      | 27 | 平島地区    | 葉山浄水場        | 2     | 1   | 3   | —    | —    |
| 合計   |      |    |         |              | 53    | 27  | 97  | 44   | 32   |

## 旧町別

| 旧町   | 水道施設数 |     |     |      |      |
|------|-------|-----|-----|------|------|
|      | 水源    | 浄水場 | 配水池 | 減圧水槽 | ポンプ場 |
| 西彼町  | 12    | 4   | 29  | 18   | 15   |
| 西海町  | 13    | 5   | 25  | 12   | 5    |
| 大島町  | 1     | 1   | 11  | 2    | 3    |
| 崎戸町  | 6     | 3   | 12  | —    | 5    |
| 大瀬戸町 | 21    | 14  | 20  | 12   | 4    |
| 合計   | 53    | 27  | 97  | 44   | 32   |

【上水道】

西彼町（南部地区）



南部地区浄水場



平原送水施設



下岳配水池



亀浦配水池



上岳第一配水池



上岳第二配水池



第2平原配水池



風早配水池



平原配水池

西彼町（北部地区）



大串浄水場（1）



大串浄水場（2）



河内岳送水ポンプ所



西岳低部送水ポンプ所



大石送水ポンプ所



平山第1送水ポンプ所



平山第2送水ポンプ所



皆割石調整池



大石配水池



平山配水池



小迎浄水場



小迎配水池

西彼町（川山木場地区）



川山木場浄水場（1）



川山木場浄水場（2）



川山木場配水槽

西海町（七釜地区）



七釜浄水場（1）



七釜浄水場（2）



七釜配水池

西海町（中部地区）



西海中部浄水場（1）



西海中部浄水場（2）



第二送水ポンプ所



岳配水池



黒口配水池



丹納配水池



中継配水池



横瀬西配水池



横瀬東配水池



石田配水池



天久保配水池



面高配水池

西海町（東部地区）



東部地区浄水場（1）



水浦送水ポンプ所



東部地区送水ポンプ所



水浦配水池



川内第一配水池



川内配水池

西海町（西部地区）



西部地区浄水場



西部配水池



太田和配水池

西海町（白岳地区）



白岳浄水場（１）



白岳浄水場（２）



白岳地区配水槽

大島町・崎戸町（大島地区）



中浦浄水場



奥ノ谷送水施設（１）



奥ノ谷送水施設（２）



横尾峠送水施設



奥ノ谷配水池



間瀬配水池



大島配水池



徳万配水池



内浦配水池



百合ヶ岳配水池

大島町・崎戸町（崎戸地区）



(中浦浄水場)



崎戸浄水場



蛸浦配水池



浅浦配水池



中戸配水池



東山配水池

大瀬戸町（大瀬戸地区）



河通浄水場



第1送水施設



第2送水施設



茅場第2配水池



高校配水池（瀬戸配水池）



団地配水池  
(瀬戸高部配水池)

大瀬戸町（多以良地区）



板浦浄水場（1）



板浦浄水場（2）



板浦配水池



多以良浄水場（1）



多以良浄水場（2）



多以良配水池

大瀬戸町（小松地区）



小松地区浄水施設



小松低部配水池



小松高部配水池

大瀬戸町（中部地区）



大瀬戸中部地区  
浄水施設（1）



大瀬戸中部地区  
浄水施設（2）



羽出川配水池

大瀬戸町（藤原地区）



藤原地区浄水施設（1）



藤原地区浄水施設（2）



藤原地区配水槽

大瀬戸町（上ノ瀬地区）



上ノ瀬地区浄水施設（1）



上ノ瀬地区浄水施設（2）



上ノ瀬地区配水池

大瀬戸町（幸物地区）



幸物地区浄水場（1）



幸物地区浄水場（2）



幸物地区配水池

大瀬戸町（河通地区）



河通地区浄水施設（1）



河通地区浄水施設（2）



河通地区配水槽

大瀬戸町（白樫地区）



白樫地区浄水施設（1）



白樫地区浄水施設（2）



白樫地区配水槽

大瀬戸町（白西平地区）



白西平地区浄水施設（1）



白西平地区浄水施設（2）



白西平配水槽

大瀬戸町（奉還地区）



奉還地区浄水施設（1）



奉還地区浄水施設（2）



奉還地区配水槽

【簡易水道】

崎戸町（江島地区）



江島浄水場（1）



江島浄水場（2）



江島配水池

崎戸町（平島地区）



葉山浄水場



黒崎配水池



南風泊配水池

大瀬戸町（松島地区）



仁崎浄水場（1）



仁崎浄水場（2）



仁崎配水池



西泊浄水場（1）



西泊配水池（2）



西泊配水池



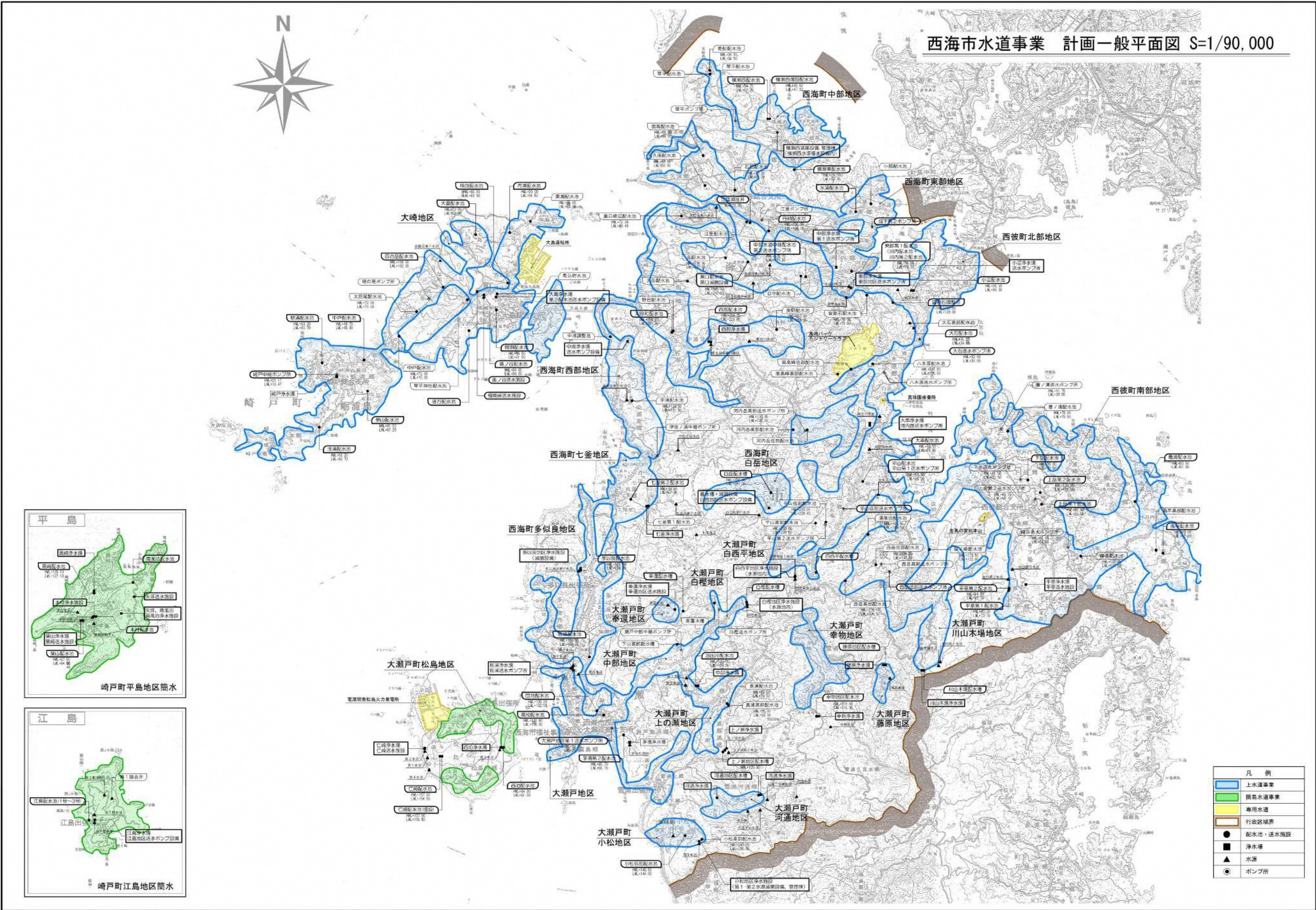


図-2.2(1) 水道施設位置図



## 2) 水源

本市が保有する水源の種別は、上水道事業、簡易水道事業ともに表流水、地下水（深井戸、浅井戸）、湧水など様々です。地下水（深井戸、浅井戸）や湧水などは大きな水質変動がなく安定しています。一方で、表流水などは降雨時の濁度上昇など原水水質の変動が大きく不安定です。

今後とも、良質な水源を維持するため、水源の保全活動と適正管理を推進する必要があります。

表-2.2(2) 水源一覧表（その1）

| 種別          | 地区名    | 浄水場名    | 水源名      | 水源種別 | 計画取水量<br>( $\text{m}^3/\text{日}$ ) |
|-------------|--------|---------|----------|------|------------------------------------|
| 上<br>水<br>道 | 西彼南部地区 | 平原浄水場   | 南部地区第1水源 | 表流水  | 330                                |
|             |        |         | 南部地区第2水源 | 表流水  | 385                                |
|             |        |         | 南部地区第3水源 | 表流水  | 1,815                              |
|             | 西彼北部地区 | 大串浄水場   | 菰立川水源    | 表流水  | 400                                |
|             |        |         | 綿打川水源    | 表流水  | 780                                |
|             |        |         | 柚ノ川水源    | 表流水  | 546                                |
|             |        |         | 第1、第2水源  | 表流水  | 予備水源                               |
|             |        |         | 平山水源     | 表流水  | 予備水源                               |
|             |        | 小迎浄水場   | 別頭水源     | 地下水  | 550                                |
|             |        |         | 小迎水源     | 地下水  | 100                                |
|             | 川山木場地区 | 川山木場浄水場 | 鰐淵川水源    | 表流水  | 160                                |
|             | 七釜地区   | 七釜浄水場   | 七釜地区水源   | 深井戸  | 410                                |
|             |        |         | 七釜地区水源   | 表流水  | 410                                |
|             | 西海中部地区 | 西海中部浄水場 | 木場川水源    | 表流水  | 898                                |
|             |        |         | 日守川水源    | 表流水  | 584                                |
|             |        | 岳水源     | 岳水源      | 深井戸  | 408                                |
|             |        | 木場水源    | 木場水源     | 表流水  | 250                                |
|             |        | 黒口水源    | 黒口水源     | 深井戸  | 166                                |
|             |        | 横瀬西水源   | 横瀬西水源    | 深井戸  | 休止中                                |
|             | 西海東部地区 | 東部地区浄水場 | 木場川水源    | 表流水  | 616                                |
|             |        |         | 日守川水源    | 表流水  | 616                                |
|             | 西海西部地区 | 西部地区浄水場 | 第1水源     | 表流水  | 500                                |
|             |        |         | 第2水源     | 表流水  | 240                                |
|             |        | 中浦水源    | 中浦水源     | 深井戸  | 350                                |
|             | 白岳地区   | 白岳地区浄水場 | 白岳水源     | 深井戸  | 130                                |

表-2.2(2) 水源一覧表(その2)

| 種別   | 地区名     | 浄水場名            | 水源名      | 水源種別 | 計画取水量<br>(m <sup>3</sup> /日) |
|------|---------|-----------------|----------|------|------------------------------|
| 上水道  | 大島崎戸地区  | 中浦浄水場           | 伊佐ノ浦水源   | 表流水  | 3,200                        |
|      | 崎戸地区    | 崎戸浄水場           | ダイヤソルト   | 不明   | 予備水源                         |
|      | 大瀬戸地区   | 河通浄水場           | 河通水源     | 表流水  | 1,620                        |
|      |         |                 | 河通ダム上流水源 | 表流水  | 2,000                        |
|      |         | 茅場系水源           | 茅場系水源    | 表流水  | 休止中                          |
|      | 多以良地区   | 板浦浄水場           | 第1水源     | 表流水  | 118                          |
|      |         |                 | 第2水源     | 表流水  | 休止中                          |
|      |         |                 | 第3水源     | 表流水  | 130                          |
|      |         |                 | 第4水源     | 深井戸  | 60                           |
|      |         | 多以良浄水場          | 第5水源     | 深井戸  | 110                          |
|      | 小松地区    | 小松地区浄水施設        | 第3水源     | 表流水  | 75                           |
|      |         | 第1、第2水源         | 第1、第2水源  | 表流水  | 休止中                          |
|      | 大瀬戸中部地区 | 大瀬戸中部地区<br>浄水施設 | 第1水源     | 深井戸  | 85                           |
|      |         |                 | 第2水源     | 深井戸  | 50                           |
|      | 上ノ瀬地区   | 上ノ瀬地区<br>浄水施設   | 第1水源     | 表流水  | 10                           |
|      |         |                 | 第2水源     | 深井戸  | 25                           |
|      | 幸物地区    | 幸物地区浄水施設        | 幸物水源     | 深井戸  | 77                           |
|      | 白西平地区   | 白西平地区浄水施設       | 白西平深井戸   | 深井戸  | 13                           |
|      | 白檜地区    | 白檜地区浄水施設        | 白檜深井戸    | 深井戸  | 22                           |
|      | 奉還地区    | 奉還地区浄水施設        | 奉還深井戸    | 深井戸  | 130                          |
|      | 藤原地区    | 藤原地区浄水施設        | 藤原水源     | 浅井戸  | 17                           |
|      | 河通地区    | 河通地区浄水施設        | 河通水源     | 表流水  | 20                           |
| 簡易水道 | 松島地区    | 仁崎浄水場           | 第1水源     | 湧水   | 22                           |
|      |         |                 | 第2水源     | 湧水   | 77                           |
|      |         |                 | 第4水源     | 湧水   | 286                          |
|      |         | 西泊浄水場           | 第3水源     | 湧水   | 55                           |
|      | 江島地区    | 江島浄水場           | No.1取水堰  | 表流水  | 予備水源                         |
|      |         |                 | No.1取水井  | 浅井戸  | 予備水源                         |
|      |         |                 | No.2取水井  | 深井戸  | 244                          |
|      | 平島地区    | 葉山浄水場           | 葉山水源     | 湧水   | 60                           |
|      |         |                 | 第7水源     | ダム   | 100                          |

## 3) 浄水場

河川などから取水した水や地下水などの原水を安心して飲むことができる水道水にするために、旧5町に点在する多くの浄水場で浄水処理を行っています。

それぞれの浄水場には原水水質に応じた浄水施設を導入しており、水質基準に適合できる良好な水道水を作っています。浄水処理方法は原水水質によって異なりますが、主な施設として着水井、混和池、フロック形成池、沈殿池、急速ろ過池、緩速ろ過池、薬品注入設備、消毒設備、浄水池、排水処理施設、管理棟などを整備しています。

浄水場は施設数も多く、市内に点在しているため、維持管理の負担が大きいのが現状です。そのため、今後は、事業性の効率性向上の観点からも市内の広範囲に点在している浄水場の統廃合・再構築について検討を行う必要があります。

また、各浄水場では水質事故などはなく、安全に運転管理ができていますが、浄水処理の安全性と維持管理性をより一層高めるために、必要に応じた施設整備について検討を行う必要があります。

表-2.2(3) 浄水場一覧表（上水道事業）

| 地区名    | 浄水場名        | 浄水方法     | 設置年度 | 計画浄水量<br>(m <sup>3</sup> /日) |
|--------|-------------|----------|------|------------------------------|
| 西彼南部地区 | 平原浄水場       | 緩速ろ過     | 2000 | 2,300                        |
| 西彼北部地区 | 大串浄水場       | 緩速ろ過     | 1980 | 1,569                        |
|        | 小迎浄水場       | 緩速ろ過     | 1964 | 591                          |
| 川山木場地区 | 川山木場浄水場     | 急速ろ過     | 1993 | 145                          |
| 七釜地区   | 七釜浄水場       | 除鉄・除マンガン | 1981 | 350                          |
| 西海中部地区 | 西海中部浄水場     | 緩速ろ過     | 1973 | 1,787                        |
| 西海東部地区 | 東部地区浄水場     | 緩速ろ過     | 1959 | 560                          |
| 西海西部地区 | 西部地区浄水場     | 緩速ろ過     | 1964 | 670                          |
| 白岳地区   | 白岳地区浄水場     | 塩素消毒     | 1990 | 50                           |
| 大島崎戸地区 | 中浦浄水場       | 緩速ろ過     | 2016 | 2,910                        |
| 崎戸地区   | 崎戸浄水場       | 急速ろ過     | 1969 | 予備                           |
| 瀬戸地区   | 河通浄水場       | 急速ろ過     | 1983 | 4,220                        |
| 多以良地区  | 板浦浄水場       | 急速ろ過     | 1969 | 280                          |
|        | 多以良浄水場      | 塩素消毒     | 1983 | 110                          |
| 小松地区   | 小松地区浄水施設    | 塩素消毒     | 1994 | 75                           |
| 瀬戸中部地区 | 大瀬戸中部地区浄水施設 | 急速ろ過     | 1978 | 135                          |
| 上ノ瀬地区  | 上ノ瀬地区浄水施設   | 緩速ろ過     | 1981 | 25                           |
| 幸物地区   | 幸物地区浄水施設    | 急速ろ過・膜ろ過 | 1982 | 70                           |
| 白西平地区  | 白西平地区浄水施設   | 塩素消毒     | 2001 | 13                           |
| 白樫地区   | 白樫地区浄水施設    | 塩素消毒     | 1986 | 22                           |
| 奉還地区   | 奉還地区浄水施設    | 除鉄・除マンガン | 1987 | 28                           |
| 藤原地区   | 藤原地区浄水施設    | 緩速ろ過     | 1980 | 18                           |
| 河通地区   | 河通地区浄水施設    | 緩速ろ過     | 1983 | 20                           |

表-2.2(4) 浄水場一覧表（簡易水道事業）

| 地区名  | 浄水場名  | 浄水方法 | 設置<br>年度 | 計画浄水量<br>( $\text{m}^3/\text{日}$ ) |
|------|-------|------|----------|------------------------------------|
| 松島地区 | 仁崎浄水場 | 急速ろ過 | 1970     | 350                                |
|      | 西泊浄水場 | 緩速ろ過 | 1977     | 50                                 |
| 江島地区 | 江島浄水場 | 緩速ろ過 | 1961     | 222                                |
| 平島地区 | 葉山浄水場 | 緩速ろ過 | 1989     | 145                                |

## 4) 送水施設（中継ポンプ場など）

給水区域は、市域全体が起伏に富んだ地形のため、配水池からの自然流下による配水では適正な水圧で供給できない地区があります。そのような地区に向けて水道を供給するために、中継ポンプ場を経由して配水をしています。

各中継ポンプ場の建設後の経過年数（2023 年度基準）の状況をみると、20 年以上経過している施設は 21 箇所あります（建設年度不明分を除く）。ポンプなど機械・電気設備の故障により給水に支障を来たすことがないよう、効率的な維持管理と定期的な設備更新を行う必要があります。

表-2.2(5) 中継ポンプ場一覧

| 地区名    | 施設名         | 送水先         | 建設年度<br>(ポンプ室) | 経過年数<br>2023<br>年度基準 |
|--------|-------------|-------------|----------------|----------------------|
| 西彼南部地区 | 平原送水ポンプ所    | 平原第1・第2配水池  | 2000           | 23年                  |
|        | 上岳第2送水ポンプ所  | 上岳第2配水池     | 1997           | 26年                  |
|        | 唐ノ浦送水ポンプ所   | 唐ノ浦配水池      | 1998           | 25年                  |
|        | 峰岳送水ポンプ所    | 峰岳配水池       | 1999           | 24年                  |
|        | 下岳送水ポンプ所    | 下岳配水池       | 1993           | 30年                  |
| 西彼北部地区 | 平山第1送水ポンプ所  | 鳥加配水池       | 1986           | 37年                  |
|        | 平山第2送水ポンプ所  | 平山低部配水池     | 1987           | 36年                  |
|        | 平山低部送水ポンプ所  | 平山高部配水池     | 1988           | 35年                  |
|        | 八木原送水ポンプ所   | 八木原配水池      | 2006           | 17年                  |
|        | 大石送水ポンプ所    | 大石配水池       | 2005           | 18年                  |
|        | 河内岳高部送水ポンプ所 | 河内岳第1・第2減圧井 | 1984           | 39年                  |
|        | 河内岳送水ポンプ所   | 河内岳配水池      | 2005           | 18年                  |
|        | 西岳低部送水ポンプ所  | 西岳低部配水池     | 2003           | 20年                  |
|        | 西岳高部送水ポンプ所  | 西岳高部配水池     | 2003           | 20年                  |
| 西海中部地区 | 第1送水ポンプ所    | 中継配水池       | 1975           | 48年                  |
|        | 第2送水ポンプ所    | 黒口配水池       | 1975           | 48年                  |
|        | 寄船中継ポンプ所    | 琴平配水池       | 1993           | 30年                  |
| 西海東部地区 | 水浦送水ポンプ所    | 水浦配水池       | 1986           | 37年                  |
| 大島崎戸地区 | 中浦送水ポンプ所    | 伊佐ノ浦調整池     | 2016           | 7年                   |
| 崎戸地区   | 崎戸中継ポンプ所    | 東山配水池       | 1993           | 30年                  |
| 大島地区   | 琴平中継ポンプ所    | 奥ノ谷配水池      | 1973           | 50年                  |
|        | 奥ノ谷送水ポンプ所   | 横尾峠送水ポンプ所   | 2009           | 14年                  |
|        | 横尾峠送水ポンプ所   | 琴平神社配水池     | 2009           | 14年                  |
| 瀬戸地区   | 第1送水ポンプ所    | 第2送水ポンプ所    | 1979           | 44年                  |
|        | 第2送水ポンプ所    | 団地（高部）配水池   | 1979           | 44年                  |
| 瀬戸中部地区 | 中継ポンプ所      | 下山高部配水槽     | 1986           | 37年                  |
| 奉還地区   | 奉還地区送水ポンプ所  | 奉還地区配水槽     | 1987           | 36年                  |

## 5) 配水施設（配水池）

広範囲の給水区域に対して配水するために多くの配水池を管理しています。配水池は、水道水を貯蔵し、水の使用量の時間変動を調整する機能があります。また、事故時、地震時などの災害時には、消火用水、生活用水を確保することもできます。

本市では、西彼町 29 箇所、西海町 25 箇所、大島町 13 箇所、崎戸町 10 箇所、大瀬戸町 20 箇所の計 97 箇所の配水池を管理しています。

配水池の耐震診断は実施していませんが、平成 9 年度（水道施設耐震工法指針・解説（改訂版）出版）以降に着工された施設については、耐震性を有していると概ね判断できます。

また、配水池だけでなく、浄水場や管理棟などについても耐震診断が未実施のため、今後、これらの基幹施設については、耐震診断を実施し、耐震性能を把握する必要があります。

表-2.2(6) 配水池一覧（その1）

| 地区名    | 配水池名      | 建設年度   | 経過年数<br>2023<br>年度基準 | 有効容量<br>(m <sup>3</sup> ) | 耐震性<br>の有無 |
|--------|-----------|--------|----------------------|---------------------------|------------|
| 西彼南部地区 | 平原第1配水池   | 2001年度 | 22年                  | 276                       | 有※         |
|        | 平原第2配水池   | 2001年度 | 22年                  | 275                       | 有※         |
|        | 上岳配水池     | 1981年度 | 42年                  | 436                       | 不明         |
|        | 中山配水池     | 1995年度 | 28年                  | 233                       | 不明         |
|        | 峰岳配水池     | 1998年度 | 25年                  | 57                        | 有※         |
|        | 下岳配水池     | 1993年度 | 30年                  | 357                       | 不明         |
|        | 唐ノ浦配水池    | 1998年度 | 25年                  | 221                       | 有※         |
|        | 宮浦配水池     | 1997年度 | 26年                  | 126                       | 不明         |
|        | 亀浦配水池     | 1995年度 | 28年                  | 130                       | 不明         |
|        | 風早第二配水池   | 1994年度 | 29年                  | 117                       | 不明         |
|        | 風早高部配水池   | 2014年度 | 9年                   | 200                       | 有※         |
| 西彼北部地区 | 大串配水池     | 2004年度 | 19年                  | 254                       | 有※         |
|        | 平山配水池     | 2007年度 | 16年                  | 335                       | 有※         |
|        | 皆割石配水池    | 1986年度 | 37年                  | 63                        | 不明         |
|        | 八木原配水池    | 2007年度 | 16年                  | 80                        | 有※         |
|        | 風ノ高峰低部配水池 | 1990年度 | 33年                  | 6                         | 不明         |
|        | 風ノ高峰高部配水池 | 1990年度 | 33年                  | 3                         | 不明         |
|        | 大石配水池     | 2005年度 | 18年                  | 137                       | 有※         |
|        | 平山低部配水池   | 1985年度 | 38年                  | 54                        | 不明         |
|        | 平山高部配水池   | 2008年度 | 15年                  | 75                        | 有※         |

※水道施設耐震工法指針・解説（改訂版）（1997（平成9）年版）に準じて設計・施工されていることから、耐震性は有しているものと判断します。

表-2.2(6) 配水池一覧(その2)

| 地区名    | 配水池名         | 建設年度   | 経過年数<br>2023<br>年度基準 | 有効容量<br>(m <sup>3</sup> ) | 耐震性<br>の有無 |
|--------|--------------|--------|----------------------|---------------------------|------------|
| 西彼北部地区 | 鳥加配水池        | 1987年度 | 36年                  | 167                       | 不明         |
|        | 西岳高部配水池      | 2005年度 | 18年                  | 24                        | 有※         |
|        | 西岳低部配水池      | 2005年度 | 18年                  | 15                        | 有※         |
|        | 湯無田配水池       | 2003年度 | 20年                  | 14                        | 有※         |
|        | 朶ノ崎配水池       | 2003年度 | 20年                  | 3                         | 有※         |
|        | 小迎配水池        | 2006年度 | 17年                  | 470                       | 有※         |
|        | 河内岳配水池(低部地区) | 1983年度 | 40年                  | 50                        | 不明         |
|        | 河内岳配水池       | 1983年度 | 40年                  | 27                        | 不明         |
| 川山木場地区 | 川山配水池        | 1994年度 | 29年                  | 60                        | 不明         |
| 七釜地区   | 第1配水池        | 1999年度 | 24年                  | 5                         | 有※         |
|        | 第2配水池        | 2023年度 | 0年                   | 150                       | 有          |
| 西海中部地区 | 中部中継配水池      | 1976年度 | 47年                  | 364                       | 不明         |
|        | 黒口配水池        | 1976年度 | 47年                  | 217                       | 不明         |
|        | 日守配水池        | 1976年度 | 47年                  | 40                        | 不明         |
|        | 大岳配水池        | 1976年度 | 47年                  | 27                        | 不明         |
|        | 崎辺配水池        | 1976年度 | 47年                  | 53                        | 不明         |
|        | 丹納配水池        | 1976年度 | 47年                  | 122                       | 不明         |
|        | 天久保配水池       | 1976年度 | 47年                  | 59                        | 不明         |
|        | 面高配水池        | 1976年度 | 47年                  | 118                       | 不明         |
|        | 石田配水池        | 1976年度 | 47年                  | 42                        | 不明         |
|        | 横瀬東配水池       | 1976年度 | 47年                  | 164                       | 不明         |
|        | 横瀬西配水池       | 1976年度 | 47年                  | 118                       | 不明         |
|        | 琴平配水池        | 1976年度 | 47年                  | 8                         | 不明         |
|        | 寄船配水池        | 1976年度 | 47年                  | 42                        | 不明         |
|        | 岳配水池         | 1988年度 | 35年                  | 27                        | 不明         |
| 西海東部地区 | 第1配水池        | 1965年度 | 58年                  | 208                       | 不明         |
|        | 第2配水池        | 1965年度 | 58年                  | 100                       | 不明         |
|        | 小郡配水池        | 1965年度 | 58年                  | 30                        | 不明         |
| 西海西部地区 | 西部浄水場配水池     | 1968年度 | 55年                  | 180                       | 不明         |
|        | 野田配水池        | 1968年度 | 55年                  | 40                        | 不明         |
|        | 太田和配水池       | 1968年度 | 55年                  | 200                       | 不明         |

※水道施設耐震工法指針・解説(改訂版)(1997(平成9)年版)に準じて設計・施工されていることから、耐震性は有しているものと判断します。

表-2.2(6) 配水池一覧(その3)

| 地区名    | 配水池名     | 建設年度   | 経過年数<br>2023<br>年度基準 | 有効容量<br>(m <sup>3</sup> ) | 耐震性<br>の有無 |
|--------|----------|--------|----------------------|---------------------------|------------|
| 西海西部地区 | 中浦配水池    | 1968年度 | 55年                  | 60                        | 不明         |
|        | 奥野配水池    | 1968年度 | 55年                  | 60                        | 不明         |
| 白岳地区   | 白岳配水池    | 2008年度 | 15年                  | 40                        | 有※         |
| 大島地区   | 奥ノ谷第1配水池 | 1972年度 | 51年                  | 350                       | 不明         |
|        | 奥ノ谷第2配水池 | 1975年度 | 48年                  | 1,000                     | 不明         |
|        | 楠地配水池    | 1960年度 | 63年                  | 200                       | 不明         |
|        | 内浦配水池    | 1974年度 | 49年                  | 500                       | 不明         |
|        | 黒瀬配水池    | 1965年度 | 58年                  | 30                        | 不明         |
|        | 間瀬配水池    | 1954年度 | 69年                  | 750                       | 不明         |
|        | 徳万配水池    | 1972年度 | 51年                  | 110                       | 不明         |
|        | 寺島配水池    | 2002年度 | 21年                  | 60                        | 有※         |
|        | 百合ヶ丘配水池  | 1996年度 | 27年                  | 100                       | 不明         |
|        | 太田尾配水池   | 1997年度 | 26年                  | 80                        | 不明         |
|        | 中戸配水池    | 1999年度 | 24年                  | 50                        | 有※         |
|        | 琴平神社配水池  | 2010年度 | 13年                  | 36                        | 有※         |
|        | 大島配水池    | 2005年度 | 18年                  | 155                       | 有※         |
| 崎戸地区   | 東山配水池    | 1968年度 | 55年                  | 356                       | 不明         |
|        | 蛸浦配水池    | 1956年度 | 67年                  | 166                       | 不明         |
|        | 浅浦配水池    | 2000年度 | 23年                  | 100                       | 有※         |
|        | 中戸配水池    | 1993年度 | 30年                  | 50                        | 不明         |
|        | 江島第1配水池  | 1962年度 | 61年                  | 44                        | 不明         |
|        | 江島第2配水池  | 1998年度 | 25年                  | 79                        | 有※         |
|        | 江島第3配水池  | 1998年度 | 25年                  | 40                        | 有※         |
|        | 葉山配水池    | 1953年度 | 70年                  | 13                        | 不明         |
|        | 黒崎配水池    | 1966年度 | 57年                  | 22                        | 不明         |
|        | 南風泊配水池   | 1964年度 | 59年                  | 22                        | 不明         |
| 大瀬戸地区  | 茅場配水池    | 1979年度 | 44年                  | 1,300                     | 不明         |
|        | 緑ヶ丘配水池   | 2022年度 | 1年                   | 355                       | 有          |
|        | 緑ヶ丘高部配水池 | 1979年度 | 44年                  | 230                       | 不明         |
| 多以良地区  | 板浦配水池    | 1971年度 | 52年                  | 156                       | 不明         |

※水道施設耐震工法指針・解説(改訂版)(1997(平成9)年版)に準じて設計・施工されていることから、耐震性は有しているものと判断します。

表-2.2(6) 配水池一覧（その4）

| 地区名        | 配水池名     | 建設年度   | 経過年数<br>2023<br>年度基準 | 有効容量<br>(m <sup>3</sup> ) | 耐震性<br>の有無 |
|------------|----------|--------|----------------------|---------------------------|------------|
| 多以良地区      | 多以良配水池   | 1971年度 | 52年                  | 102                       | 不明         |
| 松島地区       | 仁崎配水池    | 1972年度 | 51年                  | 156                       | 不明         |
|            | 西泊配水池    | 1972年度 | 51年                  | 130                       | 不明         |
| 小松地区       | 小松高部配水池  | 1974年度 | 49年                  | 60                        | 不明         |
|            | 小松低部配水池  | 1974年度 | 49年                  | 70                        | 不明         |
| 瀬戸中部<br>地区 | 羽出川配水池   | 1979年度 | 44年                  | 75                        | 不明         |
|            | 奥浦配水池    | 1979年度 | 44年                  | 50                        | 不明         |
|            | 下山高部配水槽  | 1986年度 | 37年                  | 1.7                       | 不明         |
|            | 奥浦高部配水池  | 1979年度 | 44年                  | 10                        | 不明         |
| 幸物地区       | 幸物配水池    | 1984年度 | 39年                  | 83                        | 不明         |
| 河通地区       | 河通飲供配水池  | 1981年度 | 42年                  | 8                         | 不明         |
| 上ノ瀬地区      | 上ノ瀬飲供配水池 | 1982年度 | 41年                  | 28                        | 不明         |
| 藤原地区       | 藤原飲供配水池  | 1981年度 | 42年                  | 15                        | 不明         |
| 白檜地区       | 白檜飲供配水池  | 1986年度 | 37年                  | 22                        | 不明         |
| 白西平地区      | 白西平飲供配水池 | 1996年度 | 27年                  | 7                         | 不明         |
| 奉還地区       | 奉還飲供共配水池 | 1989年度 | 34年                  | 24                        | 不明         |

※水道施設耐震工法指針・解説（改訂版）（1997（平成9）年版）に準じて設計・施工されていることから、耐震性は有しているものと判断します。

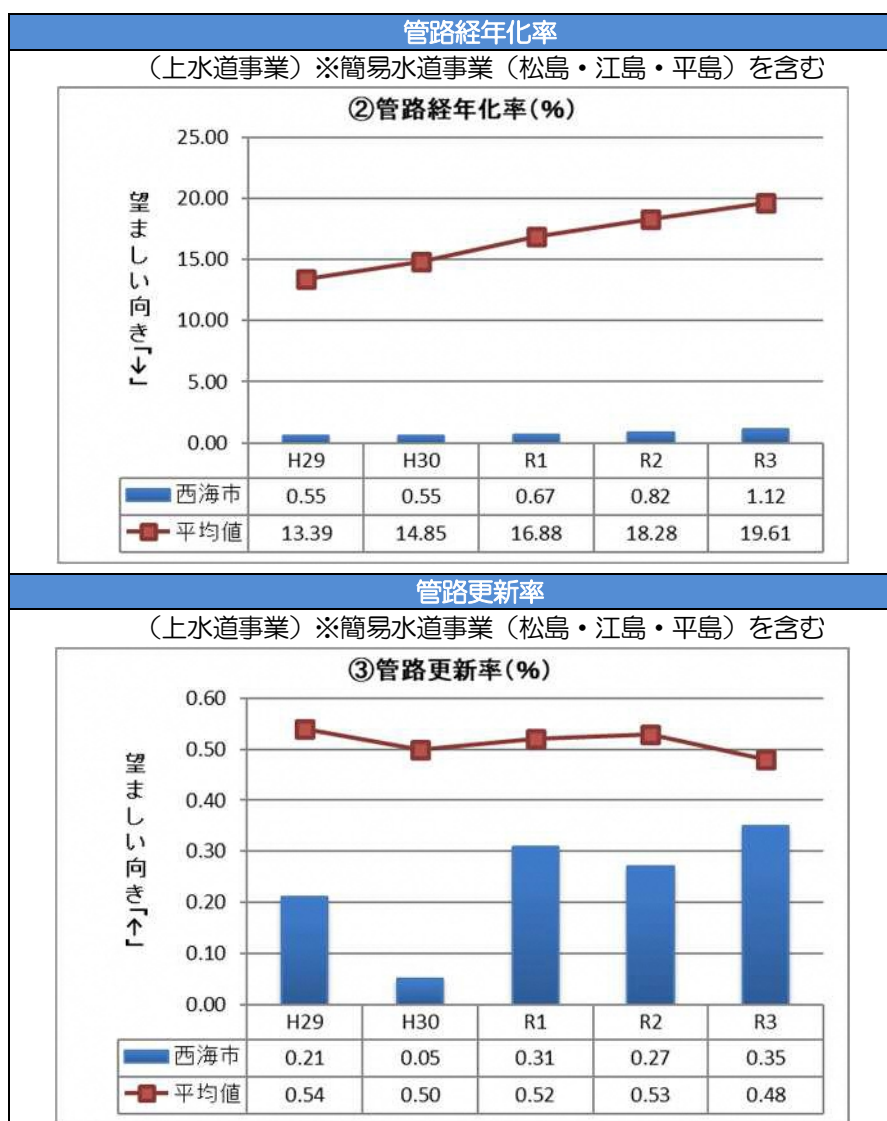
## 6) 管路

水道利用者である市民の皆さまに水を届けるための管路総延長は、令和4年度末時点で650kmに及びます。

管路の老朽度状況を示す指標の「管路経年化率（＝老朽化管路延長÷管路総延長）」をみると、直近5カ年はいずれも類似団体平均値を大きく下回る比率となっています。

一方、管路の更新状況を示す指標の「管路更新率（＝更新された管路延長÷管路総延長）」をみると、近年は、類似団体と同様に0.5%未満と低水準であり（※）、かつ、類似団体平均値を下回っています。（※目安として管の耐用年数を50年と仮定すると、 $1/50=2\%$ の更新率となります。）

管路については、現在、水道管路システムを導入し、管路の位置や設置年度などの把握が容易になるなど、効率的な維持管理を行っています。今後とも効率的な維持管理を推進するため、水道管路システムの精度向上や更新が必要となります。



出典：「経営比較分析表（令和3年度決算）」

図-2.2(2) 管路に関する経営指標

次に、布設年度別の管路延長・布設総延長は図-2.2(3)の通りです。1951年度から1983年度にかけて整備された管路、すなわち経過年数40年以上の管路延長が多く、全体の27%（約175km）を占めています。次いで、1994年度から2003年度にかけて整備された管路、すなわち経過年数20年以上30年未満の管路延長が多く、全体の27%（約173km）を占めており、経過年数40年以上の管路と同程度となっています。

また、管路の布設から30年以上経過した管路が全体の約52%を占めていますが、管路更新計画は未策定な状況にあるため、更新計画を策定することとしています。管路の更新事業を実施しない場合、漏水や災害時の断水事故のリスクが高くなります。また、老朽化管路のほとんどが耐震性を有していない管路であり、地震時の管路破損により断水事故の危険性があります。そのため、計画的に管路の更新を進めるとともに、併せて耐震管に取り替えるなど、耐震性も向上させる必要があります。



管路の漏水状況

なお、管路の耐震化にあたっては、優先順位を設定して整備を進めていきます。特に、重要給水施設（基幹病院や広域避難所など）への安定給水を確保するため、供給ルートについては、優先的に耐震管への布設替えを進めていく必要があります。

本市では、これまで、現行ビジョンで掲げた目標「有収率の向上」に基づき、漏水調査の実施による漏水の早期発見や修繕、老朽給水管の更新など、漏水防止対策に努めてきました。今後も継続した漏水防止対策を実施し、漏水予防に取り組んでいきます。

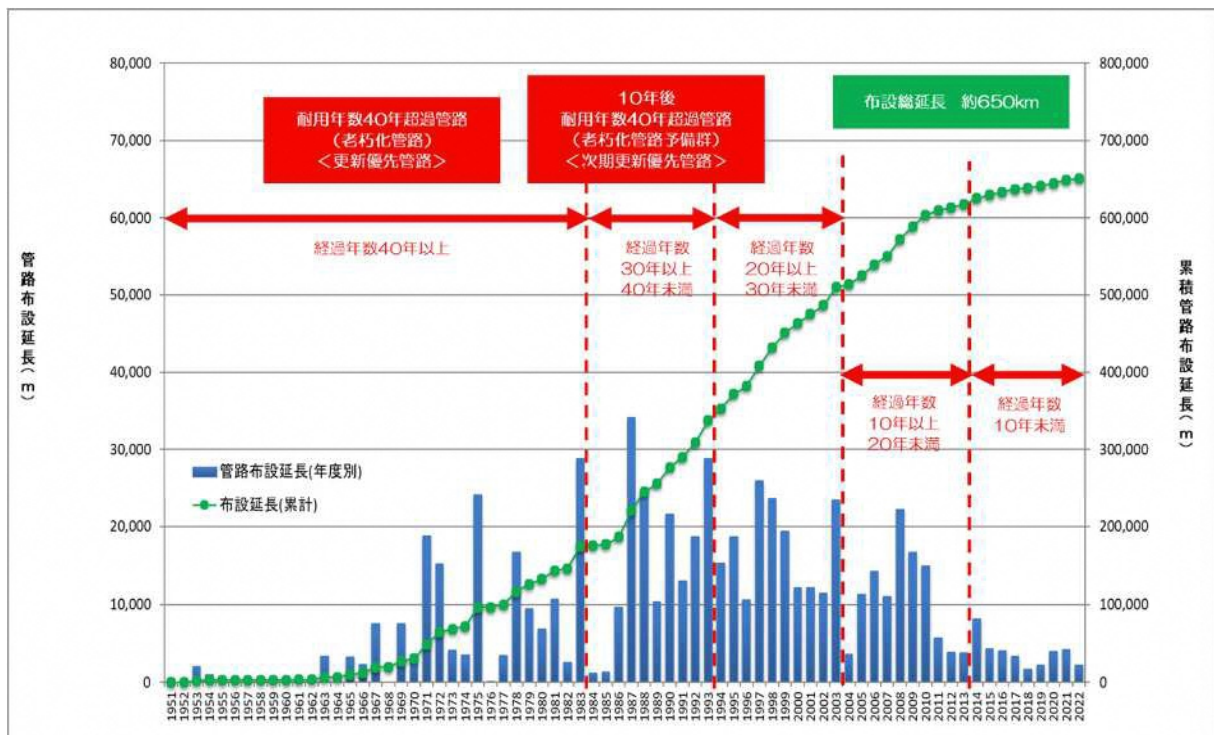


図-2.2(3) 布設年度別管路延長・布設総延長（令和4年度末時点）

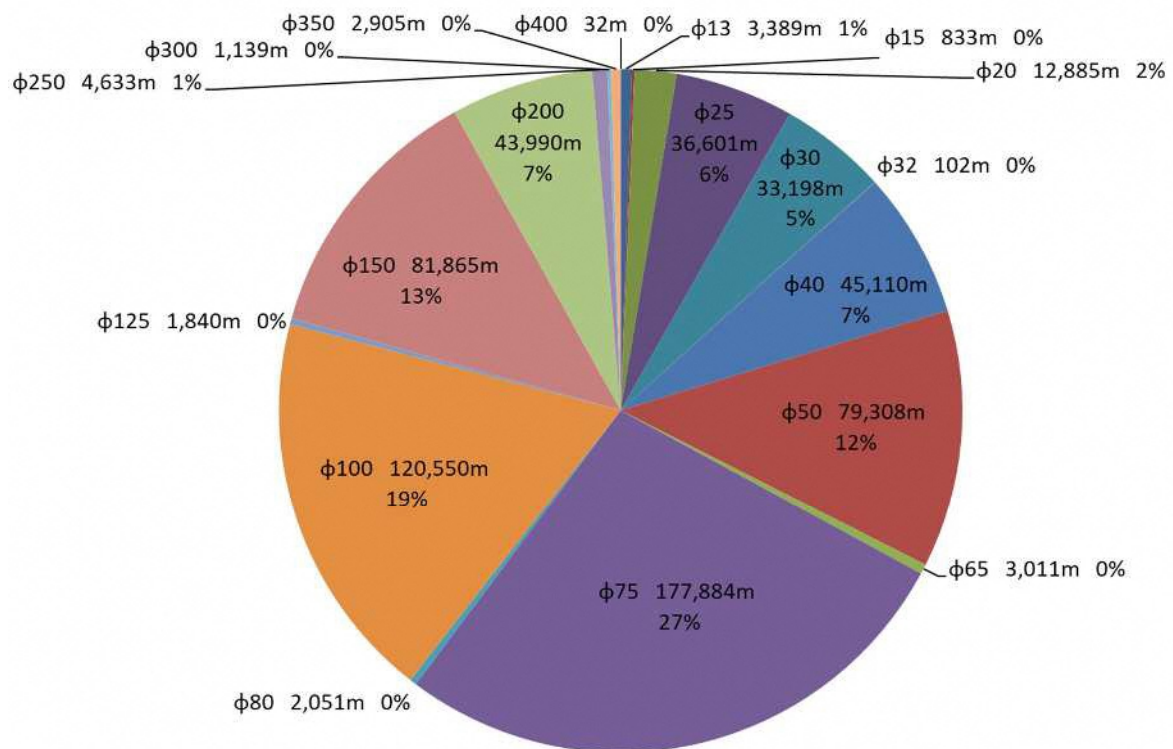


図-2.2(4) 口径別管路延長の割合（令和4年度末時点）

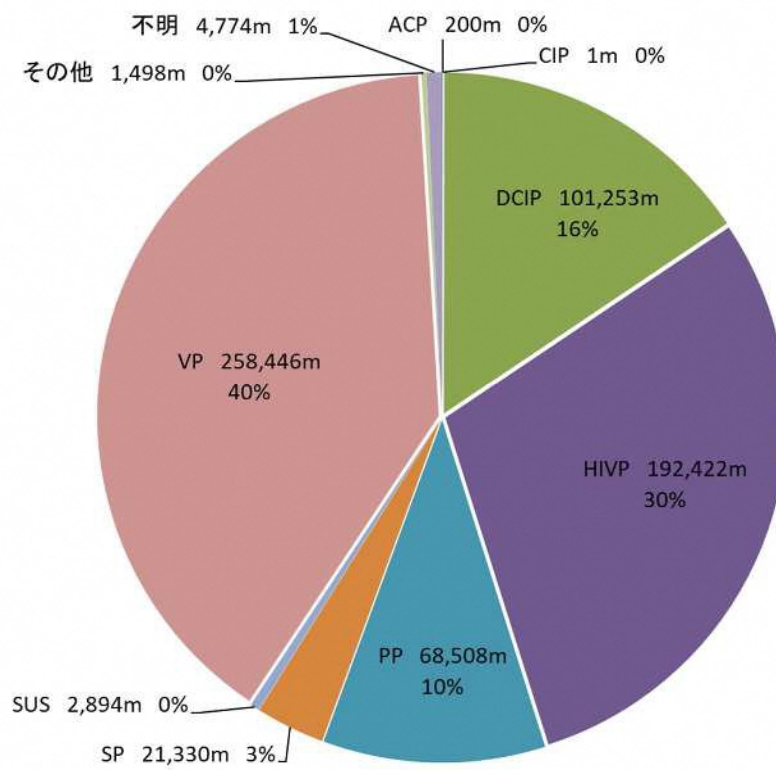


図-2.2(5) 管種別管路延長の割合（令和4年度末時点）

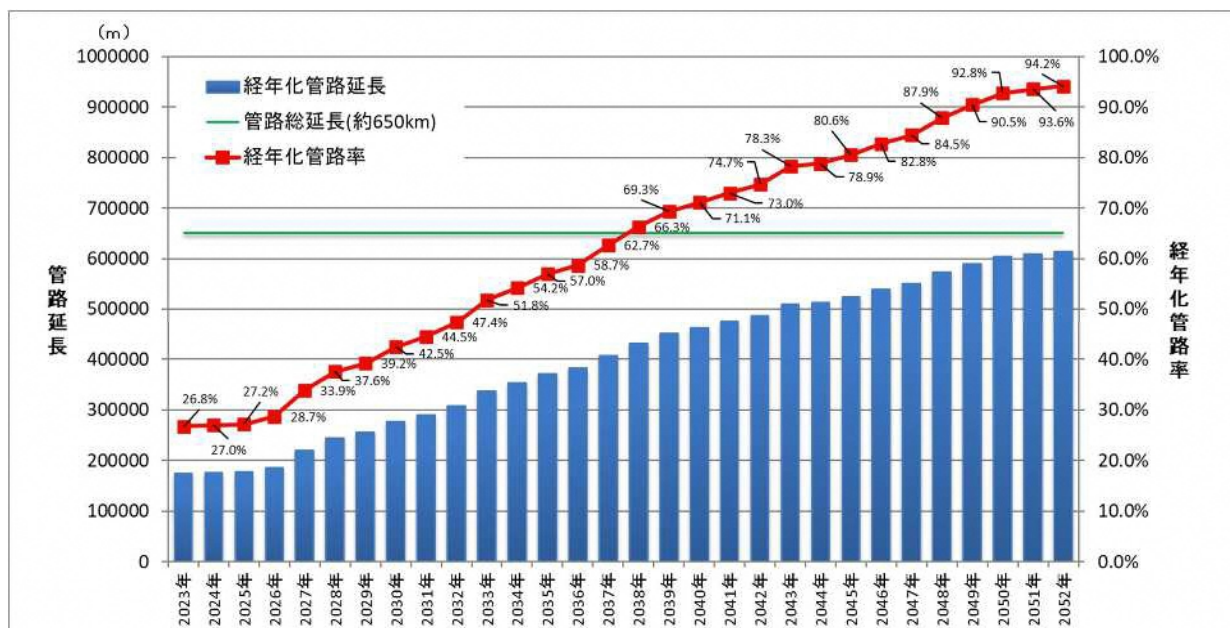
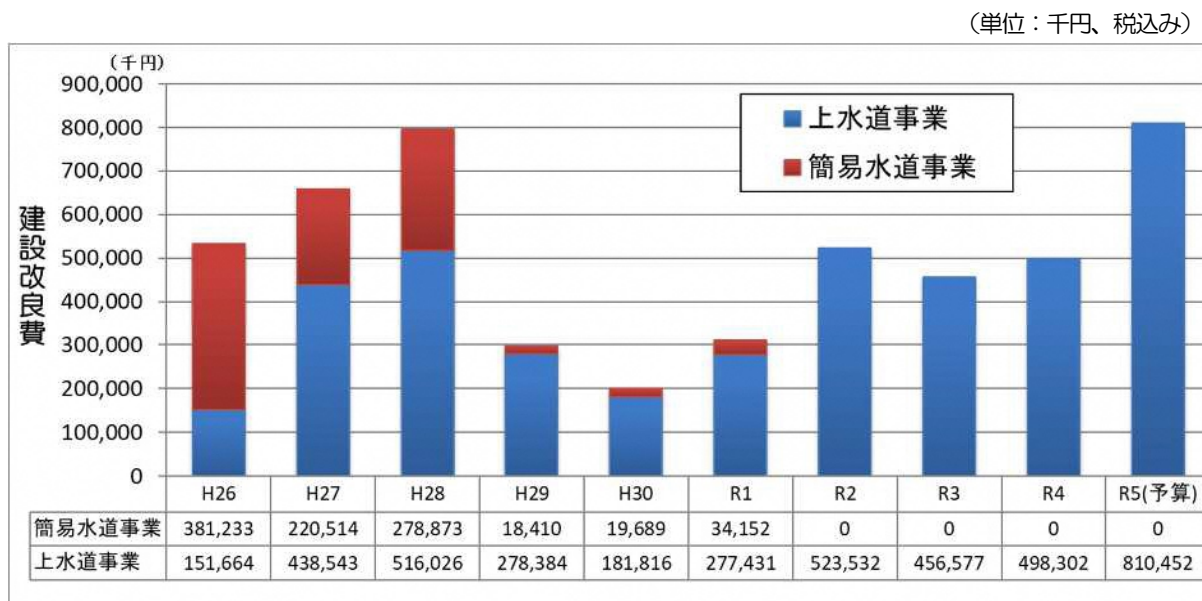


図-2.2(6) 将来の経年化管路率（更新しなかった場合）

## 7) 建設投資

建設投資は、簡易水道事業統合に係る施設整備、並びに老朽化施設・管路更新に関する施設整備をメインに行ってきています。過去10年間の建設投資の実績は図-2.2(7)の通りです。上水道事業及び簡易水道事業併せて約2億円～8億円とバラつきがあるものの平均すると、年間約5億円となっています。今後も、財政収支見通しに基づく事業継続を勘案しつつ、適切な投資計画により施設整備を行っていきます。



※R2以降は上水道事業に簡易水道事業分を含む

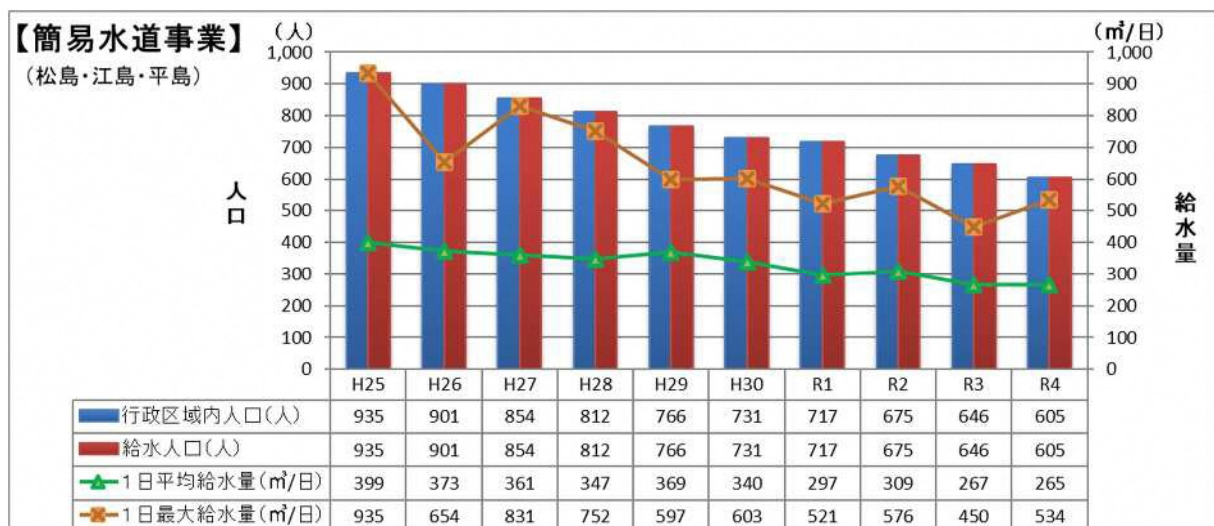
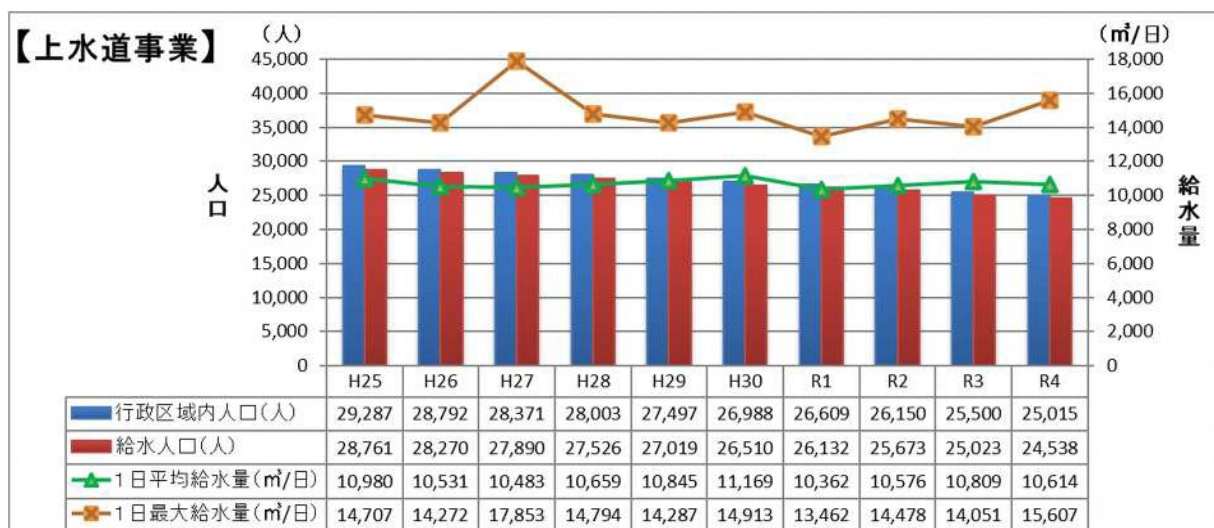
※人件費、メーター購入費などを含む

図-2.2(7) 建設投資の実績

## 2-3 給水人口と給水量の推移

図-2.3 (1) の通り、過去 10 年間（平成 25～令和 4 年度）における行政区域内人口をみると、平成 25 年度に市全体で 30,222 人であった人口は、令和 4 年度には 25,620 人まで減少しています。また、市全体の給水人口は、令和 4 年度で 25,143 人となっており、行政区域内人口より約 500 人少なく、水道の未普及地域が残っている状況です。今後は、給水区域内で水道を利用していない市民の皆さまの要望に対して検討を行い、必要に応じて水道施設の整備を図っていきます。

1 日平均給水量をみると、上水道事業及び簡易水道事業ともに微減傾向で推移し、令和 4 年度には上水道事業で 10,614 $\text{m}^3$ /日、簡易水道事業で 265 $\text{m}^3$ /日を給水しています。1 日最大給水量は上水道において概ね横ばい、簡易水道においては減少傾向で推移しています。

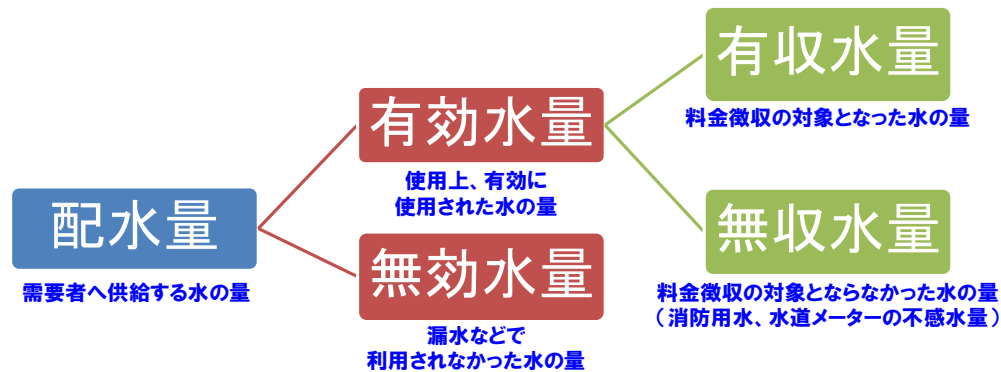


| 事業区分  | 項目                        | 2013   | 2014   | 2015   | 2016   | 2017   | 2018   | R2019  | 2020   | 2021   | 2022   |
|-------|---------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|       |                           | H25    | H26    | H27    | H28    | H29    | H30    | R1     | R2     | R3     | R4     |
| 西海市全体 | 行政区域内人口(人)                | 30,222 | 29,693 | 29,225 | 28,815 | 28,263 | 27,719 | 27,326 | 26,825 | 26,146 | 25,620 |
|       | 給水人口(人)                   | 29,696 | 29,171 | 28,744 | 28,338 | 27,785 | 27,241 | 26,849 | 26,348 | 25,669 | 25,143 |
|       | 有収水量( $\text{m}^3$ /日)    | 8,225  | 7,993  | 7,985  | 7,972  | 7,881  | 7,810  | 7,550  | 7,629  | 7,483  | 7,475  |
|       | 1日平均給水量( $\text{m}^3$ /日) | 11,379 | 10,904 | 10,844 | 11,006 | 11,214 | 11,509 | 10,659 | 10,885 | 11,076 | 10,879 |
|       | 1日最大給水量( $\text{m}^3$ /日) | 15,642 | 14,926 | 18,684 | 15,546 | 14,884 | 15,516 | 13,983 | 15,054 | 14,501 | 16,141 |

図-2.3(1) 人口及び給水量の実績

次に、水道事業における配水量の構成を図-2.3（2）に示します。

配水量は、使用上、有効に使用された水量の「有効水量」と、漏水などで利用されなかった水量の「無効水量」に区分されます。また、「有効水量」は料金徴収の対象となった水量の「有収水量」と、消防用水や水道メーターの不感水量による料金徴収の対象とならなかった水量の「無収水量」に区分されます。水道事業の経営の効率性を示す指標として有効率（＝有効水量÷配水量）がありますが、水資源を有効利用するために、給水区域内の漏水調査や給水管の計画的な更新により、有効率とともに有収率（＝有収水量÷配水量）の向上にも努めてきました。



また、有収水量は、複数の用途別に区分されています。

本市における区分としましては、生活用水量、業務営業用水量、工場用水量、その他用水量の4つに分かれています。このうち、最も多いのは市民の皆さまが炊事・洗濯・トイレ・風呂などで使用される生活用水量であり、令和4年度の有収水量全体に占める割合をみると、上水道事業では約74%、簡易水道事業では約84%となっています。

また、生活用水の1人1日当たり使用水量である生活用原単位は、世帯構成の変化などの影響により、平成25年度から令和4年度にかけて上水道事業では、11ℓ/人/日、簡易水道事業では4ℓ/人/日増加しています。

水道事業では、多くのエネルギーを使用しているため、省エネルギー・CO<sub>2</sub>排出を削減した低炭素化社会の実現に向けて、節水意識の高揚を図る広報活動などの取り組みを継続する必要があります。

## 【上水道事業】



## 【簡易水道事業】（松島・江島・平島）

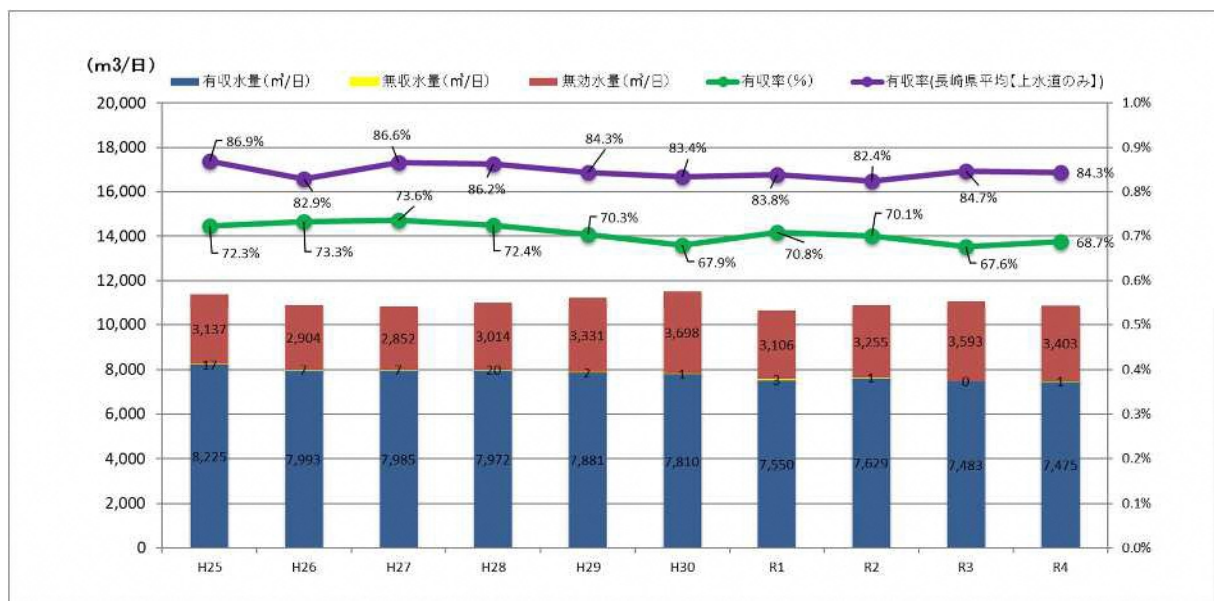


図-2.3(3) 用途別有収水量の実績

図-2.3（2）の配水量の構成に示した水量の実績は図-2.3（4）の通りです。有収水量は、平成25年度の8,225m<sup>3</sup>/日から令和4年度には7,475m<sup>3</sup>/日と750m<sup>3</sup>/日減少しています。

また、無効水量（漏水量）については、老朽管の更新などの取り組みを行いました。平成25年度の3,137m<sup>3</sup>/日から令和4年度には3,403m<sup>3</sup>/日と266m<sup>3</sup>/日増加しています。そのため、有収率についても、平成25年度の72.3%から令和4年度には68.7%と3.6%下降しています。

有収率は下降しており、さらに県平均値より低い比率であるため、効果的かつ計画的に管路の更新事業に取り組むなど、継続して有収率を向上させる必要があります。



※有収水量は、本市の上水道事業・簡易水道事業の合計

図-2.3(4) 配水量の実績

## 2-4 組織体制

本市水道部の組織体制図は図-2.4（1）の通りです。

本市水道部は、市長が水道事業管理者の職務を行い、また、上水道課と下水道課の2課5班（水道総務班、水道管理班、水道整備班、下水道総務班、下水道整備班）による組織体制で、上水道及び下水道に係る業務を運営しています。

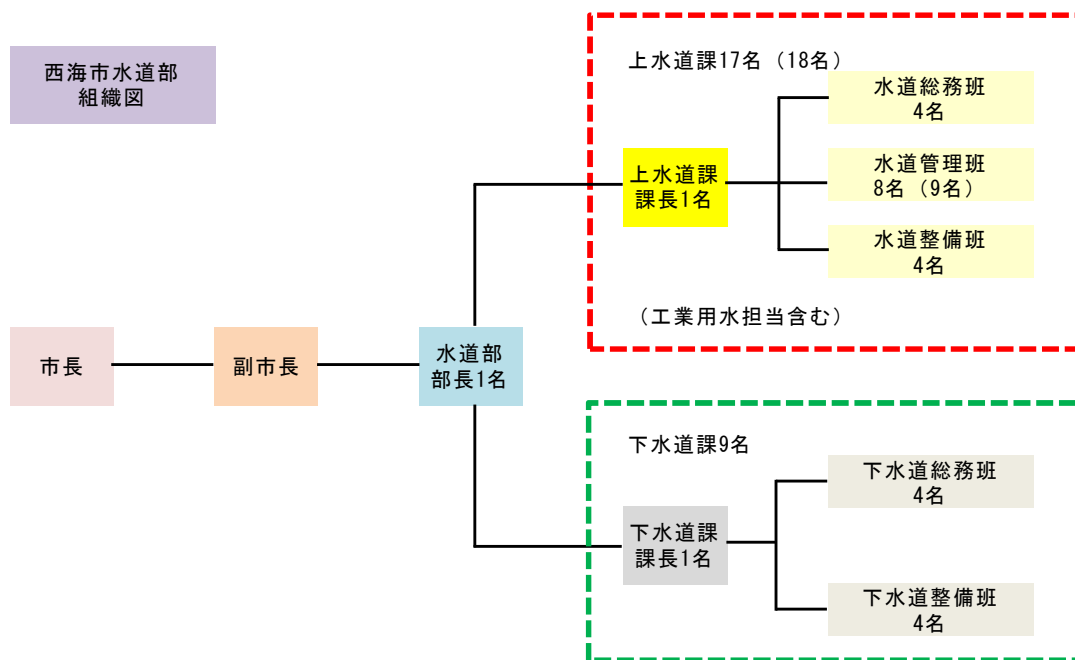


図-2.4(1) 水道部の組織体制図（令和5年4月1日現在）

次頁以降に、平成31年度以降の上水道課における年代別・職種別の職員数推移を示します。職員数は、平成31年度には事務職13名、水道管理員3名の3班体制の計16名でした。その後も3班体制は変わらず、令和5年度には事務職13名、水道管理員4名の3班体制の計17名により運営しています。

職員の年齢構成は、平成31年度には過半数が20代50代であったが、その後、組織体制・人員配置が見直され、令和5年度には約47%が40代を占めており、次いで30代40代が約24%となっており、20代の若手職員の比率が減少しています。令和5年度の平均年齢は平成31年度に比べて3歳老い38.8歳となっています。

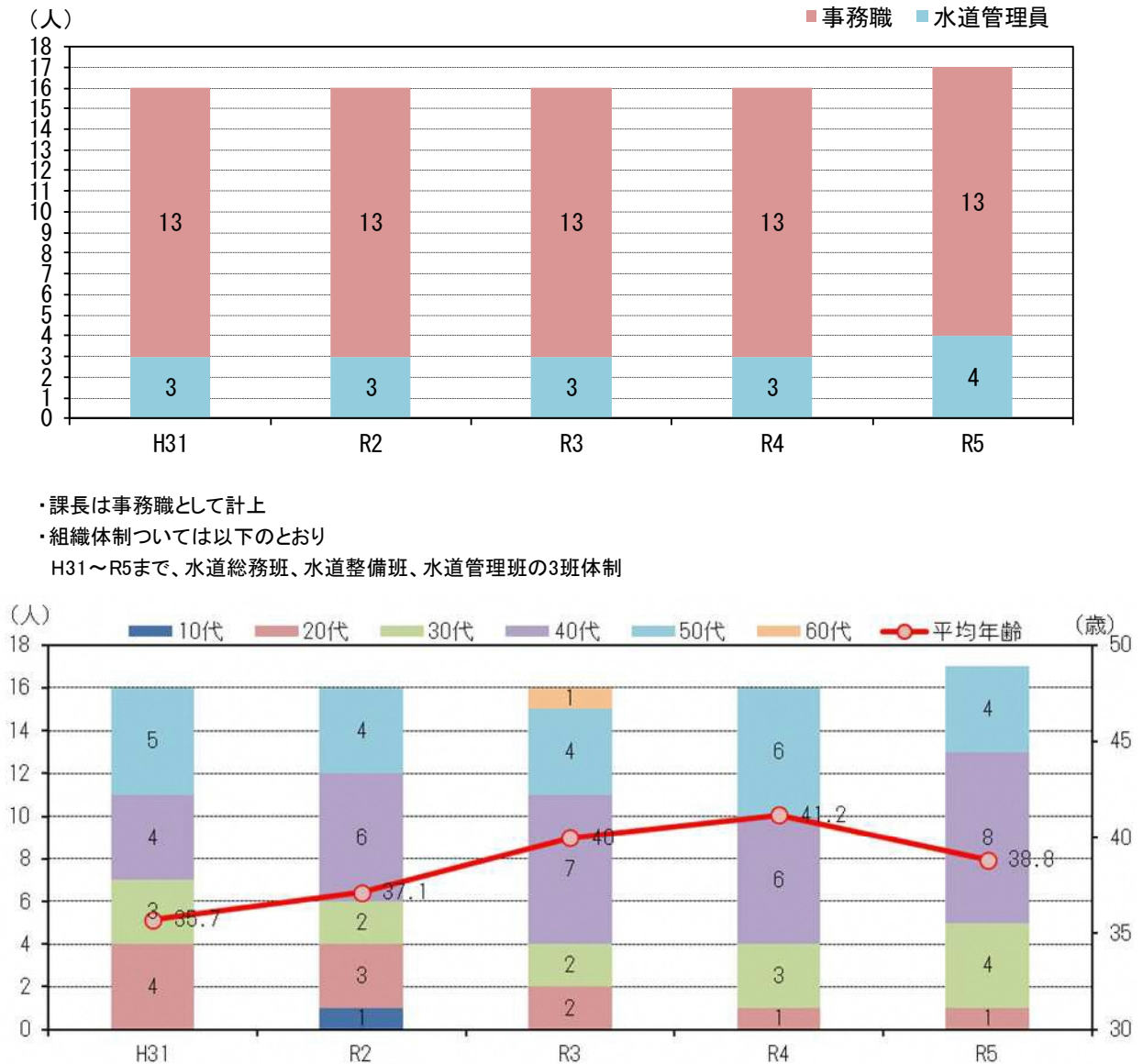


図-2.4(2) 職種別・年代別職員数の内訳（上水道課）

職員別の経験年数をみると、経験年数 15 年以上の職員がほぼ水道管理班に属する一方、その他の職員の経験年数は 5 年未満がほとんどであるなど偏りがある状況となっています。今後とも運営基盤を維持・強化するために、経験豊富な職員が経験の浅い職員に対して、OJT や課内研修を推進し、技術継承を図ることが必要です。

さらに、技術的なノウハウの蓄積が必要な水道管理員の育成強化のため、外部研修機関などへの積極的参加を促進する必要があります。

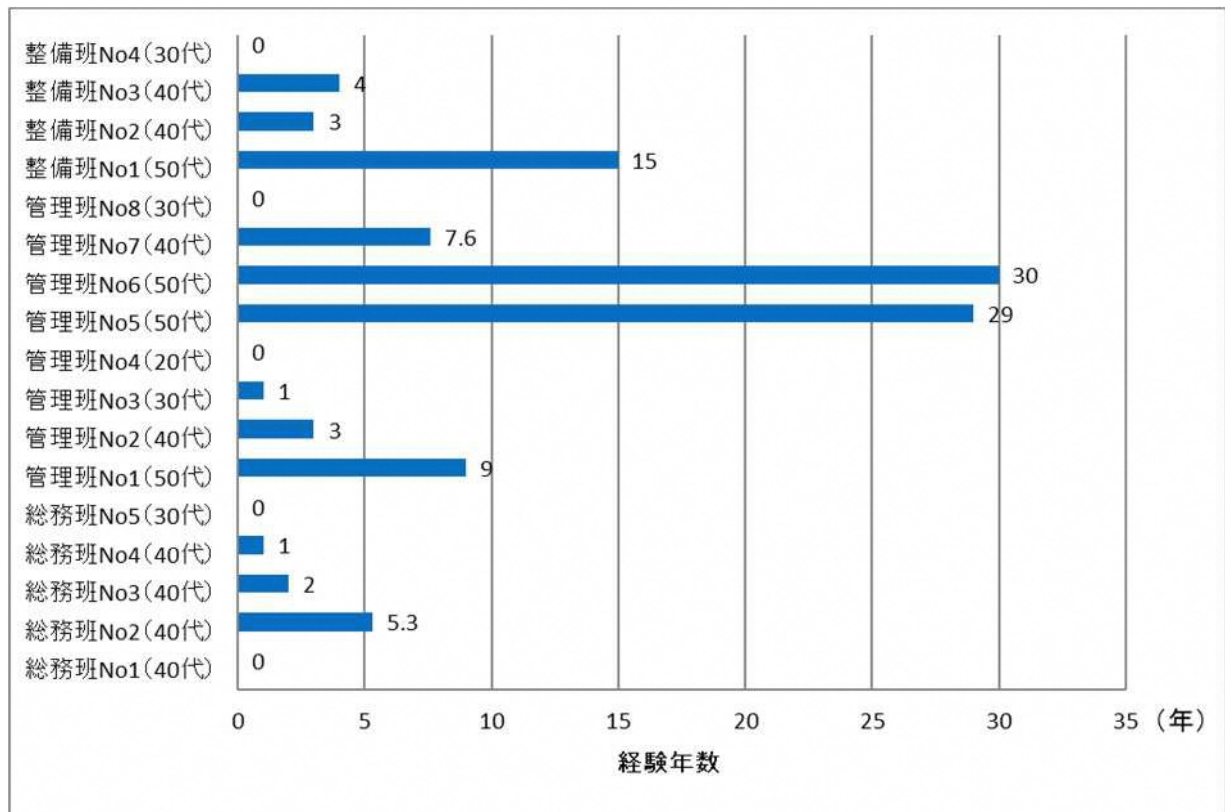


図-2.4(3) 職員別の経験年数（上水道課）

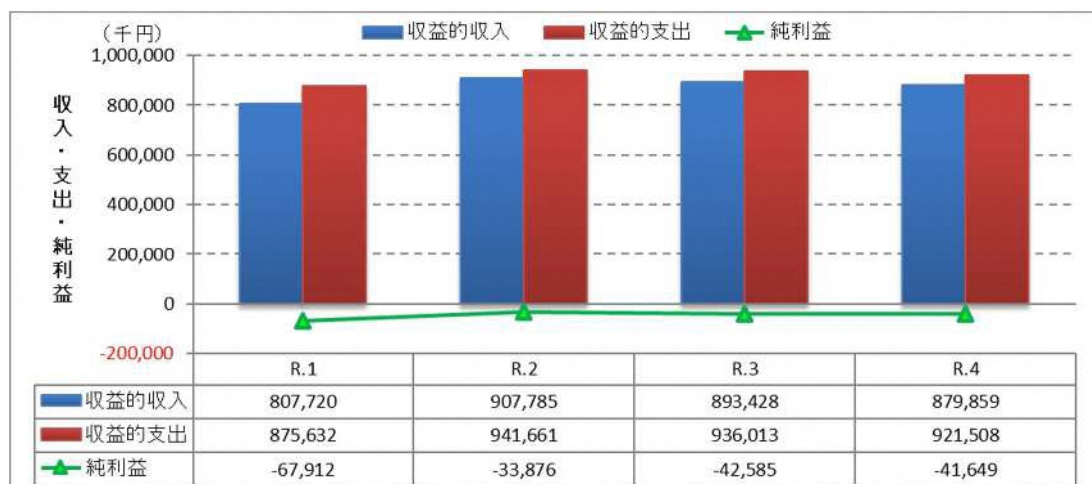
## 2-5 経営状況

## 1) 経常収支の状況

ここでは、令和元年度から令和4年度までの経営状況を整理します。本市では令和2年度に簡易水道事業と会計統合を行っており、令和元年度は上水道事業のみ、令和2年度以降は上水道事業と簡易水道事業の合算値にて評価します。

## (収益的収支)

収益的収支とは、一事業年度の企業の経営活動に伴って発生するすべての収益と費用の収支のことをいいます。



※R1 は上水道事業のみ

図-2.5(1) 収益的収支の推移（上水道事業＋簡易水道事業）

表-2.5(1) 収益的収支の内訳（上水道事業＋簡易水道事業）

(単位：千円、税抜き)

| 勘定区分  | 収入/支出 | 勘定項目  | 2019<br>R.1 | 2020<br>R.2 | 2021<br>R.3 | 2022<br>R.4 |
|-------|-------|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 収益的収支 | 収益的収入 | 営業収益  | 647,954     | 672,403     | 655,624     | 681,648     |
|       |       | 営業外収益 | 159,766     | 233,191     | 237,691     | 198,211     |
|       |       | 特別利益  | 0           | 2,191       | 113         | 0           |
|       |       | 小計    | 807,720     | 907,785     | 893,428     | 879,859     |
|       | 収益的支出 | 営業費用  | 778,123     | 846,814     | 851,704     | 838,245     |
|       |       | 営業外費用 | 97,509      | 94,804      | 84,203      | 83,137      |
|       |       | 特別損失  | 0           | 43          | 106         | 126         |
|       |       | その他   | 0           | 0           | 0           | 0           |
|       |       | 小計    | 875,632     | 941,661     | 936,013     | 921,508     |
|       | 純利益   |       | -67,912     | -33,876     | -42,585     | -41,649     |

※R1 は上水道事業のみ

本事業における収入は、水道利用者である市民の皆さまからの水道料金が主な収入であり令和4年度は給水収益約6.8億円となっています。また、統合した簡易水道事業などについては、従来から給水収益のみでは、費用のほとんどを賄えていないことから、収支均衡を保つためにその不足分について、一般会計繰入金を充当しています。

一方、支出は、既存の水道施設の減価償却費や職員の人件費、委託費、浄水場やポンプ場の運転にかかる動力費の占める割合が高くなっています。その他、修繕費、企業債借入金の支払利息

などが発生しています。

収入と支出の差額である純利益をみると、各年度で経常損失が発生しており、過年度からの累積欠損金も蓄積している状況です。

今後も厳しい経営環境が続くものと予想されますが、適性な運営を維持していくためにも、一般会計からの繰入金計画、水道料金の適正化について検討する必要があります。

#### (資本的収支)

資本的収支とは、企業の資産を取得するために要する収支のことであり、主に、将来の事業運営に備えて計画的に実施する建設改良や、企業債借入の返済に当たる企業債償還金などに関する予算が計上されます。



※R1 は上水道事業のみ

図-2.5(2) 資本的収支の推移（上水道事業+簡易水道事業）

表-2.5(2) 資本的収支の内訳（上水道事業+簡易水道事業）

(単位：千円、税抜き)

| 勘定区分  | 収入/支出    | 勘定項目     | 2019<br>R.1 | 2020<br>R.2 | 2021<br>R.3 | 2022<br>R.4 |
|-------|----------|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 資本的収支 | 資本的収入    | 企業債      | 152,000     | 318,500     | 300,000     | 325,900     |
|       |          | 他会計負担金   | 153,119     | 17,114      | 8,660       | 2,270       |
|       |          | 他会計補助金   | 0           | 105,139     | 146,197     | 177,719     |
|       |          | 国庫補助金    | 0           | 0           | 0           | 0           |
|       |          | 固定資産売却代金 | 0           | 0           | 0           | 0           |
|       |          | 小計       | 305,119     | 440,753     | 454,857     | 505,889     |
|       | 資本的支出    | 建設改良費    | 254,716     | 477,896     | 417,025     | 454,892     |
|       |          | 企業債償還金   | 287,782     | 299,496     | 316,761     | 333,261     |
|       |          | 他会計借入償還金 | 0           | 0           | 0           | 0           |
|       |          | その他      | 0           | 2,784       | 0           | 0           |
|       |          | 小計       | 542,498     | 780,176     | 733,786     | 788,153     |
|       | 資本的収支不足額 |          | -237,379    | -339,423    | -278,929    | -282,264    |

※R1 は上水道事業のみ

本事業における主な収入は、企業債と他会計からの補助金による収入が大半を占めています。一方、支出は、老朽化した既存の管路及び、浄水場や遠方監視装置などの機械・電気設備の更新工事にかかる建設改良費や、企業債償還金などが主な費用として発生しています。資本収支の不足額は、自己資金（内部留保資金）を充当し、収支均衡を図っています。

今後、西海市を取り巻く経営環境は、水道施設の老朽化や大規模災害に対応した施設の更新や耐震化に多額の費用が見込まれる一方で、将来的には人口減少に伴う給水収益の減少など、経営環境は厳しさを増していくことが予測されます。

こうしたなか、経営の健全性を確保していくために、中長期的な視点から計画的に事業を推進し、経営の効率化や財務体質の強化など財政マネジメントの向上に取り組んでいく必要があります。

## 2) 水道料金

水道料金を表-2.5(3)に示します。基本料金と従量料金による料金設定であり、上水道事業、簡易水道事業の全地区統一した料金となっています。長崎県下の水道事業体と比較すると、図-2.5(3)の通り、長崎県平均3,847円/20m<sup>3</sup>/1ヶ月に対して、本市の水道料金は4,596円/20m<sup>3</sup>/1ヶ月と県内で3番目に高い水準にあります。

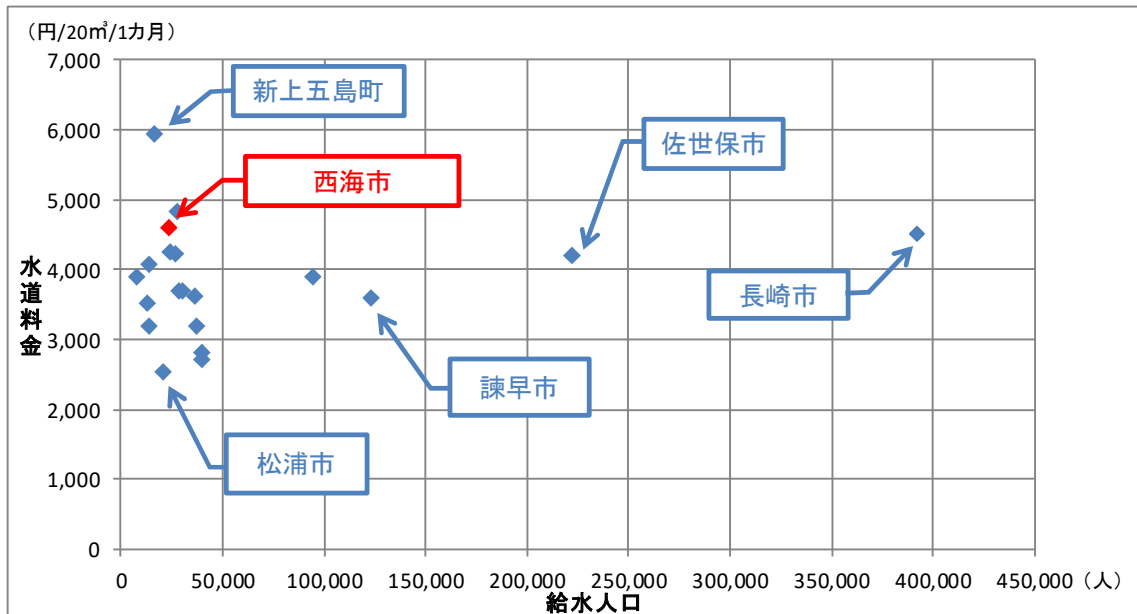
料金改定（消費税率改定を除く）から約8年が経過しましたが、今後の水需要見通しを踏まえると、将来的にも人口減少の傾向は続き、収益性は低下していくものと予想されます。長期的な視点に立って、持続可能な事業運営を継続していくためにも、適切な料金水準がどの程度であるか再度検討する必要があります。

表-2.5(3) 水道料金表（令和5年4月1日現在）

| 水道料金<br>(1ヶ月分、メーター使用料・消費税込)                         |         | 水道利用加入金<br>(消費税込) |             | 水道工事検査手数料<br>(消費税込) |          |
|-----------------------------------------------------|---------|-------------------|-------------|---------------------|----------|
| 使用量                                                 | 金額      | メーター口径            | 加入金         | 工事費                 | 金額       |
| ～5m <sup>3</sup> まで(基本料金)                           | 1,365 円 | 13 mm             | 55,000 円    | 5万円未満               | 2,000 円  |
| 5～10m <sup>3</sup> まで(基本料金)                         | 1,996 円 | 20 mm             | 132,000 円   | 5万円～10万円            | 3,000 円  |
| 11～50m <sup>3</sup> まで<br>(超過料金1m <sup>3</sup> につき) | 260 円   | 25 mm             | 198,000 円   | 10万円～20万円           | 5,000 円  |
|                                                     |         | 30 mm             | 308,000 円   | 20万円～50万円           | 10,000 円 |
| 51m <sup>3</sup> ～<br>(超過料金1m <sup>3</sup> につき)     | 286 円   | 40 mm             | 561,000 円   | 50万円以上<br>工事費の4%    |          |
|                                                     |         | 50 mm             | 880,000 円   |                     |          |
| 臨時用<br>(使用水量1m <sup>3</sup> につき)                    | 545 円   | 75 mm             | 1,320,000 円 |                     |          |
|                                                     |         | 120 mm            | 1,870,000 円 |                     |          |
|                                                     |         | 150mm以上           | 市長が別途定める額   |                     |          |



参考：令和3年度長崎県水道事業概要



参考：令和3年度長崎県水道事業概要

図-2.5(3) 長崎県下の水道事業体による水道料金比較（比較対象は上水道事業のみ）

## 3) 企業債残高

企業債残高、企業債発行額、企業債償還額の推移を以下に示します。

企業債の元金返済にあたる企業債償還金について、簡易水道事業との会計統合後の令和2年度以降の状況をみると毎年299～333百万円発生しています。

直近の企業債発行額をみると、水道施設整備事業及び送配水管布設替事業などの建設改良事業を実施するための財源確保として、300百万円程度の借入れを行ってきました。企業債残高は、令和4年度には約50億円残っています。

今後も老朽化施設・管路について多額の更新需要が見込まれるなか、財源としての企業債発行は今後も必須となります。

企業債については、適切な投資計画と必要な水道料金水準の検討を図りつつ、世代間負担の公平性、また、財源補完機能の観点から、財政の健全性を踏まえた適切な企業債の計画的な発行について検討します。

(単位：千円)



|                | 項目             | 2019      | 2020      | 2021      | 2022      |
|----------------|----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|                |                | R.1       | R.2       | R.3       | R.4       |
| 企業債残高<br>(当年度) | 過年度企業債残高 ①     | 5,056,702 | 5,004,360 | 5,023,364 | 5,006,603 |
|                | 当年度企業債発行額 ②    | 152,000   | 318,500   | 300,000   | 325,900   |
|                | 当年度企業債償還金 ③    | 287,782   | 299,496   | 316,762   | 333,261   |
|                | 当年度企業債残高 ①+②-③ | 4,920,920 | 5,023,364 | 5,006,602 | 4,999,242 |

※R1は上水道事業のみ

図-2.5(4) 企業債償還金・企業債残高の推移（上水道事業+簡易水道事業）

## 4) 資金残高

直近4カ年における資金残高の推移を図-2.5(5)に示します。

資金残高は、公営企業において、最低限確保すべき明確な基準は定められていません。目安としては、建設改良費や企業債償還金などを一定の金額で支払わなければならないほか、災害や事故などに伴う突発的な給水停止時の運転資金など、毎年の事業運営のために必要な金額とされています。

資金残高が枯渇すると、事業運営の継続が困難となります。

令和4年度の営業収益対資金残高比率をみると、約191%（月数にして22.9カ月分）を確保しています。今後、統廃合事業や老朽施設の更新事業、耐震化事業などで一定の金額が支出として発生する見込みにあるため、企業債の活用と資金残高のバランスを図りながら事業経営に取り組む必要があります。



|                 | 項 目                 | 2019      | 2020      | 2021      | 2022      |
|-----------------|---------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|                 |                     | R.1       | R.2       | R.3       | R.4       |
| 流動資産            | 現金預金                | 1,263,008 | 1,352,513 | 1,401,710 | 1,386,941 |
|                 | 未収金                 | 0         | 0         | 0         | 0         |
|                 | 貯蔵品 ④               | 3,254     | 3,254     | 3,254     | 3,254     |
|                 | 前払費用                | 0         | 0         | 0         | 0         |
|                 | 貸倒引当金               | 28,901    | 19,767    | 12,310    | 6,563     |
|                 | 合 計 ①               | 1,295,163 | 1,375,534 | 1,417,274 | 1,396,758 |
| 流動負債            | 未払金                 | 133,502   | 164,213   | 134,170   | 80,272    |
|                 | 未払費用                | 0         | 0         | 0         | 0         |
|                 | 預り金                 | 0         | 0         | 0         | 0         |
|                 | 前受金                 | 0         | 0         | 0         | 0         |
|                 | 企業債 ⑤               | 299,496   | 316,726   | 333,225   | 325,369   |
|                 | 引当金                 | 8,378     | 10,659    | 10,513    | 10,281    |
|                 | 他会計借入金              | 0         | 0         | 0         | 0         |
|                 | 合 計 ②               | 441,376   | 491,598   | 477,908   | 415,922   |
| 引当金(固定負債) ③     |                     | 0         | 0         | 0         | 0         |
| 資金残高            | 補てん財源(=①-②-③-④+⑤) ⑥ | 1,150,029 | 1,197,408 | 1,269,337 | 1,302,951 |
| 営業収益            | ⑦                   | 647,954   | 672,402   | 655,625   | 681,648   |
| 営業収益対資金残高比率(%)  | ⑥/⑦                 | 177.5%    | 178.1%    | 193.6%    | 191.1%    |
| 営業収益対資金残高比率(月数) | 12カ月*⑥/⑦            | 21.3      | 21.4      | 23.2      | 22.9      |

※R1 は上水道事業のみ

図-2.5(5) 資金残高の推移（上水道事業+簡易水道事業）

## 5) 経営指標

## ① 経営指標について

経営状況を把握・分析するために、総務省が公表する「経営戦略策定・ガイドライン」に掲載されている11項目の経営指標を採用します。

本市は法適用の上水道事業のみ運営しており、評価期間は、総務省が公表する経営比較分析表の平成29年度から令和3年度とします。

なお、本市と類似する団体の平均値と比較するものとし、総務省が各公営企業の経営及び施設の状況を整理した「経営比較分析表」で定義する類似団体区分を採用します。

＜類似団体平均値の区分＞

・上水道事業・・・「現在給水人口1.5万人以上3万人未満」の区分「A6」

表-2.5(4) 経営比較分析表における類似団体区分一覧（令和3年度）

【上水道事業区分一覧】

| 給水形態   | 現在給水人口規模     | 区分   | 団体数 |
|--------|--------------|------|-----|
| 末端給水事業 | 都道府県・指定都市    | 政令市等 | 20  |
|        | 30万人以上       | A1   | 51  |
|        | 15万人以上30万人未満 | A2   | 74  |
|        | 10万人以上15万人未満 | A3   | 87  |
|        | 5万人以上10万人未満  | A4   | 192 |
|        | 3万人以上5万人未満   | A5   | 204 |
|        | 1.5万人以上3万人未満 | A6   | 248 |
|        | 1万人以上1.5万人未満 | A7   | 136 |
|        | 5千人以上1万人未満   | A8   | 192 |
|        | 5千人未満        | A9   | 44  |
| 用水供給事業 |              | B    | 66  |

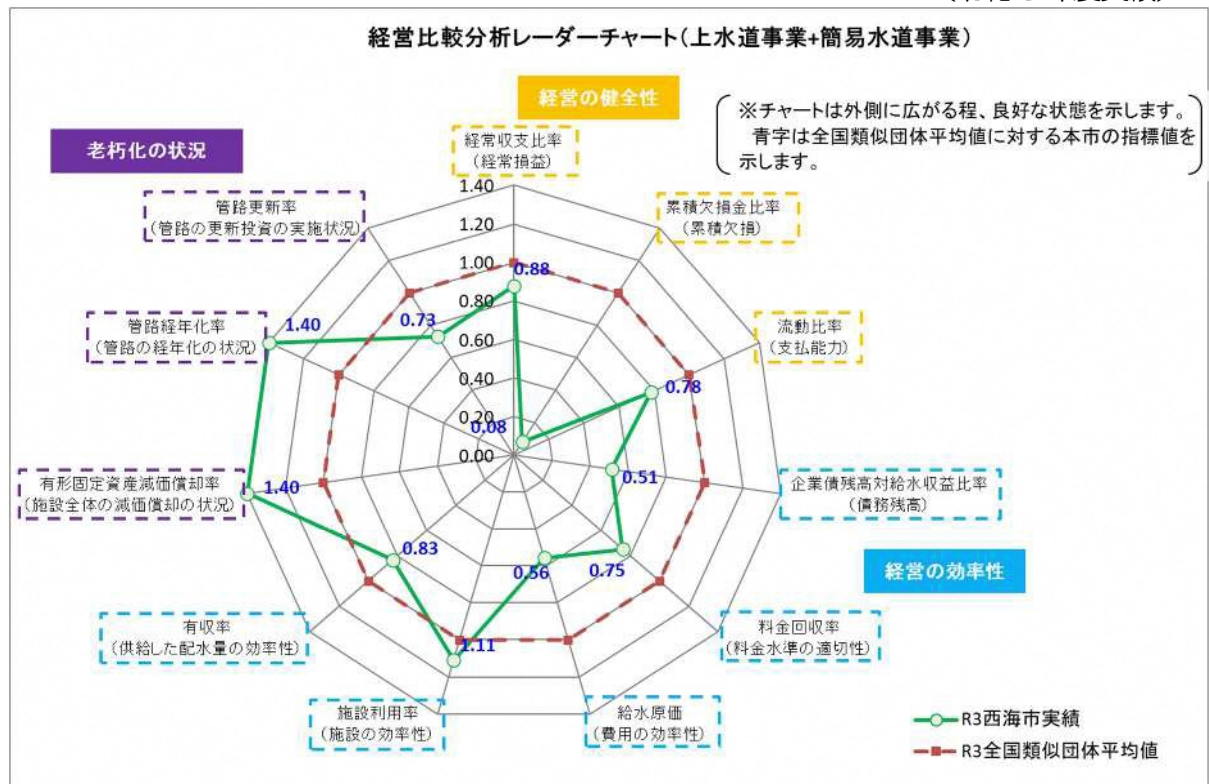
表-2.5(5) 水道事業における経営指標（参照：経営戦略ガイドライン）

| 区分     | 経営指標 |                   | 指標の概要                                                                                                                                                                                                                          |
|--------|------|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経営の健全性 | ①    | 経常収支比率<br>収益的収支比率 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●法適用企業に用いる経常収支比率は、当該年度において、給水収益や一般会計からの繰入金などの収益で、維持管理費や支払利息などの費用をどの程度賄えているかを表す指標である。</li> <li>●法非適用企業に用いる収益的収支比率は、給水収益や一般会計からの繰入金などの総収益で、総費用に地方債償還金を加えた額をどの程度賄えているかを表す指標である。</li> </ul> |
|        | ②    | 累積欠損金比率           | ●営業収益に対する累積欠損金（営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金などでも補填することができず、複数年度にわたって累積した損失のこと）の状況を表す指標である。                                                                                                                                       |
|        | ③    | 流動比率              | ●短期的な債務に対する支払能力を表す指標である。                                                                                                                                                                                                       |
| 経営の効率性 | ④    | 企業債残高対給水収益比率      | ●給水収益に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標である。                                                                                                                                                                                         |
|        | ⑤    | 料金回収率             | ●給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表した指標であり、料金水準などを評価することが可能である。                                                                                                                                                                        |
|        | ⑥    | 給水原価              | ●有収水量 1m <sup>3</sup> あたりについて、どれだけの費用がかかっているかを表す指標である。                                                                                                                                                                         |
|        | ⑦    | 施設利用率             | ●一日配水能力に対する一日平均配水量の割合であり、施設の利用状況や適正規模を判断する指標である。                                                                                                                                                                               |
|        | ⑧    | 有収率               | ●施設の稼動が収益につながっているかを判断する指標である。                                                                                                                                                                                                  |
| 老朽化の状況 | ⑨    | 有形固定資産減価償却率       | ●有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化度合を示している。                                                                                                                                                                         |
|        | ⑩    | 管路経年化率            | ●法定耐用年数を超えた管路延長の割合を表す指標で、管路の老朽化度合を示している。                                                                                                                                                                                       |
|        | ⑪    | 管路更新率             | ●当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標で、管路の更新ペースや状況を把握できる。                                                                                                                                                                                     |

## ② 西海市における経営指標の分析

経営比較分析表を用いて、経年比較や全国類似団体との比較による分析を行います。

(令和3年度実績)



| 経営指標                          | 望ましい向き | 西海市    | 平均値    |
|-------------------------------|--------|--------|--------|
| 経常収支比率<br>(経常損益)              | ↑      | 95.45  | 108.84 |
| 累積欠損金比率<br>(累積欠損)             | ↓      | 73.63  | 6.02   |
| 流動比率<br>(支払能力)                | ↑      | 296.56 | 378.56 |
| 企業債残高対給水収益比率<br>(債務残高)        | ↓      | 770.76 | 395.68 |
| 料金回収率<br>(料金水準の適切性)           | ↑      | 72.86  | 97.59  |
| 給水原価<br>(費用の効率性)              | ↓      | 326.43 | 181.71 |
| 施設利用率<br>(施設の効率性)             | ↑      | 61.82  | 55.72  |
| 有収率<br>(供給した配水量の効率性)          | ↑      | 67.56  | 81.26  |
| 有形固定資産減価償却率<br>(施設全体の減価償却の状況) | ↓      | 35.31  | 51.29  |
| 管路経年化率<br>(管路の経年化の状況)         | ↓      | 1.12   | 19.61  |
| 管路更新率<br>(管路の更新投資の実施状況)       | ↑      | 0.35   | 0.48   |

図-2.5(6) 経営比較分析レーダーチャート

## 【経営の健全性・効率性の指標】

| ①経常収支比率(%)<br>(望ましい向き「↑」)                                                                                                                                           | 【算定式】＝(営業収益＋営業外収益)／(営業費用＋営業外費用)×100                                                                                                                                                                                                                                                                         |        |        |        |        |    |    |     |       |       |       |       |       |     |        |        |        |        |        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------|--------|--------|----|----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 評価の視点                                                                                                                                                               | 経常損益                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |        |        |        |        |    |    |     |       |       |       |       |       |     |        |        |        |        |        |
| 【指標の定義】<br>経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すものです。この比率が高いほど経常利益率が高いことを表し、100%未満であることは経常損失が生じていることを意味します。                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |        |        |        |        |    |    |     |       |       |       |       |       |     |        |        |        |        |        |
| 【西海市の評価】<br>本市の指標値をみると、平成 29 年度に実施した離島を除く簡易水道事業などとの統合の影響を受け、平成 30 年度までは、約 80%と収益性が大幅に低くなっています。令和元年度からは、収益性が幾分改善しましたが、しかしながら未だ 100%未満の水準となっており、さらなる収益性改善に向けた対応が必要です。 | 【グラフ】<br><table><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr><tr><td>西海市</td><td>77.25</td><td>80.66</td><td>92.24</td><td>96.17</td><td>95.45</td></tr><tr><td>平均値</td><td>110.05</td><td>108.87</td><td>108.61</td><td>108.35</td><td>108.84</td></tr></table> <p>上水道事業</p> |        | H29    | H30    | R1     | R2 | R3 | 西海市 | 77.25 | 80.66 | 92.24 | 96.17 | 95.45 | 平均値 | 110.05 | 108.87 | 108.61 | 108.35 | 108.84 |
|                                                                                                                                                                     | H29                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | H30    | R1     | R2     | R3     |    |    |     |       |       |       |       |       |     |        |        |        |        |        |
| 西海市                                                                                                                                                                 | 77.25                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 80.66  | 92.24  | 96.17  | 95.45  |    |    |     |       |       |       |       |       |     |        |        |        |        |        |
| 平均値                                                                                                                                                                 | 110.05                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 108.87 | 108.61 | 108.35 | 108.84 |    |    |     |       |       |       |       |       |     |        |        |        |        |        |

| ②累積欠損金比率(%)<br>(望ましい向き「↓」)                                                                                                                                                    | 【算定式】＝累積欠損金／（営業収益－受託工事収益）×100                                                                                                                                                                                                                                                                     |       |       |       |       |    |    |     |       |       |       |       |       |     |      |      |      |      |      |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|----|----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-----|------|------|------|------|------|
| 評価の視点                                                                                                                                                                         | 累積欠損                                                                                                                                                                                                                                                                                              |       |       |       |       |    |    |     |       |       |       |       |       |     |      |      |      |      |      |
| 【指標の定義】<br>営業収益に占める累積欠損金の割合を示すもので、経営状況が健全な状態にあるかどうかを見る際の代表的な指標です。<br>営業活動で生じた欠損（赤字）のうち、繰越利益剰余金（前年度以前に生じた利益で今年度に繰り越したもの）や利益積立金（前年度以前に生じた利益を積み立てたもの）などで埋め合わせできなかった欠損額が累積したものです。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |       |       |       |       |    |    |     |       |       |       |       |       |     |      |      |      |      |      |
| 【西海市の評価】<br>累積欠損金比率は上昇傾向にあります。<br>これは、離島を除く簡易水道事業などとの統合、老朽化管路の更新及び施設整備に伴う建設投資の増加の影響を受けていると考えられます。                                                                             | 【グラフ】<br><table><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr><tr><td>西海市</td><td>23.06</td><td>50.93</td><td>62.70</td><td>65.46</td><td>73.63</td></tr><tr><td>平均値</td><td>2.64</td><td>3.16</td><td>3.59</td><td>3.98</td><td>6.02</td></tr></table> <p>上水道事業</p> |       | H29   | H30   | R1    | R2 | R3 | 西海市 | 23.06 | 50.93 | 62.70 | 65.46 | 73.63 | 平均値 | 2.64 | 3.16 | 3.59 | 3.98 | 6.02 |
|                                                                                                                                                                               | H29                                                                                                                                                                                                                                                                                               | H30   | R1    | R2    | R3    |    |    |     |       |       |       |       |       |     |      |      |      |      |      |
| 西海市                                                                                                                                                                           | 23.06                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 50.93 | 62.70 | 65.46 | 73.63 |    |    |     |       |       |       |       |       |     |      |      |      |      |      |
| 平均値                                                                                                                                                                           | 2.64                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 3.16  | 3.59  | 3.98  | 6.02  |    |    |     |       |       |       |       |       |     |      |      |      |      |      |

| ③流動比率(%)<br>(望ましい向き「↑」)                                                                                                                                                 | 【算定式】＝流動資産／流動負債×100                                                                                                                                                                                                                                                                                              |        |        |        |        |    |    |     |        |        |        |        |        |     |        |        |        |        |        |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------|--------|--------|----|----|-----|--------|--------|--------|--------|--------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 評価の視点                                                                                                                                                                   | 支払能力                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |        |        |        |        |    |    |     |        |        |        |        |        |     |        |        |        |        |        |
| 【指標の定義】<br>流動負債（事業の通常の取引において1年以内に償還しなければならない短期の債務）に対する流動資産（現金・預金のほか、原則として1年以内に現金化される債権など）の割合であり、短期債務に対する支払い能力を表します。通常 100%以上であることが必要とされ、100%を下回っていれば不良債務が発生していることとなります。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |        |        |        |        |    |    |     |        |        |        |        |        |     |        |        |        |        |        |
| 【西海市の評価】<br>本市の指標値をみると平成 29 年度以降 230～300%となっています。基準値とされる 100%以上は確保できており、短期債務に関する支払い能力は確保できています。                                                                         | 【グラフ】<br><table><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr><tr><td>西海市</td><td>231.63</td><td>274.55</td><td>293.44</td><td>279.81</td><td>296.56</td></tr><tr><td>平均値</td><td>359.47</td><td>369.69</td><td>379.08</td><td>367.55</td><td>378.56</td></tr></table> <p>上水道事業</p> |        | H29    | H30    | R1     | R2 | R3 | 西海市 | 231.63 | 274.55 | 293.44 | 279.81 | 296.56 | 平均値 | 359.47 | 369.69 | 379.08 | 367.55 | 378.56 |
|                                                                                                                                                                         | H29                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | H30    | R1     | R2     | R3     |    |    |     |        |        |        |        |        |     |        |        |        |        |        |
| 西海市                                                                                                                                                                     | 231.63                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 274.55 | 293.44 | 279.81 | 296.56 |    |    |     |        |        |        |        |        |     |        |        |        |        |        |
| 平均値                                                                                                                                                                     | 359.47                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 369.69 | 379.08 | 367.55 | 378.56 |    |    |     |        |        |        |        |        |     |        |        |        |        |        |

## 【経営の効率性の指標】

| ④企業債残高対給水収益比率(%)<br>(望ましい向き「↓」)                                                                                                                                                                                                          | 【算定式】＝企業債残高／給水収益                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |        |        |        |        |    |    |     |        |        |        |        |        |     |        |        |        |        |        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------|--------|--------|----|----|-----|--------|--------|--------|--------|--------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 評価の視点                                                                                                                                                                                                                                    | 債務残高                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |        |        |        |        |    |    |     |        |        |        |        |        |     |        |        |        |        |        |
| 【指標の定義】<br>給水収益に対する企業債残高の割合であり、企業債残高が経営に与える影響からみた財務状況の安全性を示します。<br>この割合が小さいほど、資金調達の際の企業債への依存度は低く、給水収益など、自己資金調達による度合いが高いため、経営状態の安全性は高いといえます。                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |        |        |        |        |    |    |     |        |        |        |        |        |     |        |        |        |        |        |
| 【西海市の評価】<br>本市の指標値をみると、平成 29 年度以降約 770%となっています。これは、平成 24 年度以降、簡易水道統合整備事業や老朽化施設の更新事業などの施設整備を行っており、その財源として多額の企業債を発行していることが原因となっており、企業債残高は増加傾向にあります。各年度、全国類似団体平均値よりも高い比率となっています。今後は、企業債残高が増加の一途を辿らないように発行額を抑制し、着実に返済するよう財務体質の改善に努める必要があります。 | 【グラフ】<br><table><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr><tr><td>西海市</td><td>791.89</td><td>769.26</td><td>766.40</td><td>759.90</td><td>770.76</td></tr><tr><td>平均値</td><td>401.79</td><td>402.99</td><td>398.98</td><td>418.68</td><td>395.68</td></tr></table> <p>上水道事業</p> |        | H29    | H30    | R1     | R2 | R3 | 西海市 | 791.89 | 769.26 | 766.40 | 759.90 | 770.76 | 平均値 | 401.79 | 402.99 | 398.98 | 418.68 | 395.68 |
|                                                                                                                                                                                                                                          | H29                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | H30    | R1     | R2     | R3     |    |    |     |        |        |        |        |        |     |        |        |        |        |        |
| 西海市                                                                                                                                                                                                                                      | 791.89                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 769.26 | 766.40 | 759.90 | 770.76 |    |    |     |        |        |        |        |        |     |        |        |        |        |        |
| 平均値                                                                                                                                                                                                                                      | 401.79                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 402.99 | 398.98 | 418.68 | 395.68 |    |    |     |        |        |        |        |        |     |        |        |        |        |        |

| ⑤料金回収率(%)<br>(望ましい向き「↑」)                                                                                                                                                    | 【算定式】＝供給単価／給水原価×100                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |       |       |       |       |    |    |     |       |       |       |       |       |     |        |       |       |       |       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|----|----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-----|--------|-------|-------|-------|-------|
| 評価の視点                                                                                                                                                                       | 料金水準の適切性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |       |       |       |       |    |    |     |       |       |       |       |       |     |        |       |       |       |       |
| 【指標の定義】<br>給水原価に対する供給単価の割合を表したもので、事業の経営状況の効率性を示す指標の一つです。この比率が100%を下回っている場合、給水にかかる費用が料金収入でまかなわれていないことを意味します。                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |       |       |       |       |    |    |     |       |       |       |       |       |     |        |       |       |       |       |
| 【西海市の評価】<br>本市の指標値をみると、約72%～76%と100%を下回っており、適切な料金回収が出来ていません。各年度において全国類似団体平均値も100%を下回っていますが、本市の指標値は全国類似団体平均値よりも20%以上低い比率となっています。適正な収益性を確保するために、給水原価の低減や供給単価の上昇に関する取り組みが必要です。 | 【グラフ】<br><table><thead><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr></thead><tbody><tr><td>西海市</td><td>71.65</td><td>72.56</td><td>76.27</td><td>73.10</td><td>72.86</td></tr><tr><td>平均値</td><td>100.12</td><td>98.66</td><td>98.64</td><td>94.78</td><td>97.59</td></tr></tbody></table> <p>上水道事業</p> |       | H29   | H30   | R1    | R2 | R3 | 西海市 | 71.65 | 72.56 | 76.27 | 73.10 | 72.86 | 平均値 | 100.12 | 98.66 | 98.64 | 94.78 | 97.59 |
|                                                                                                                                                                             | H29                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | H30   | R1    | R2    | R3    |    |    |     |       |       |       |       |       |     |        |       |       |       |       |
| 西海市                                                                                                                                                                         | 71.65                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 72.56 | 76.27 | 73.10 | 72.86 |    |    |     |       |       |       |       |       |     |        |       |       |       |       |
| 平均値                                                                                                                                                                         | 100.12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 98.66 | 98.64 | 94.78 | 97.59 |    |    |     |       |       |       |       |       |     |        |       |       |       |       |

| ⑥給水原価(円/㎡)<br>(望ましい向き「↓」)                                                                                                                                                                                                                   | 【算定式】＝ {経常費用－ (受託工事費＋材料及び不用品売却原価<br>＋附帯事業費)} /有収水量                                                                                                                                                                                                                                                                                           |             |        |        |        |  |  |  |     |     |    |    |    |     |        |        |        |        |        |     |        |        |        |        |        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------|--------|--------|--|--|--|-----|-----|----|----|----|-----|--------|--------|--------|--------|--------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 評価の視点                                                                                                                                                                                                                                       | 費用の効率性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |             |        |        |        |  |  |  |     |     |    |    |    |     |        |        |        |        |        |     |        |        |        |        |        |
| 【指標の定義】<br>有収水量 1㎡ <sup>3</sup> あたりに、どれだけの費用がかかっているかを表したものです。全国各地を<br>みても保有する水源や浄水処理すべき原水水質など条件は多種多様であり、それぞれの事業環<br>境による影響を受けるため、給水原価の水準だけでは経営の優劣を判断することは難しいとさ<br>れています。                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |             |        |        |        |  |  |  |     |     |    |    |    |     |        |        |        |        |        |     |        |        |        |        |        |
| 【西海市の評価】<br>平成 29 年度には、離島を除く簡易水道<br>事業などとの統合の影響を受け、329.58<br>円/㎡ <sup>3</sup> と前年度とくらべ約 122 円/㎡ <sup>3</sup> の大<br>幅な上昇となりましたが平成 30 年以降は<br>324～326 円/㎡ <sup>3</sup> となっています。給水原<br>価低減のためには、施設整備や維持管理を<br>充実させることにより有収率の向上に努め<br>る必要があります。 | 【グラフ】<br><table><tr><th colspan="6">⑥給水原価(円/m3)</th></tr><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr><tr><td>西海市</td><td>329.58</td><td>326.02</td><td>312.30</td><td>324.76</td><td>326.43</td></tr><tr><td>平均値</td><td>174.97</td><td>178.59</td><td>178.92</td><td>181.30</td><td>181.71</td></tr></table> | ⑥給水原価(円/m3) |        |        |        |  |  |  | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | 西海市 | 329.58 | 326.02 | 312.30 | 324.76 | 326.43 | 平均値 | 174.97 | 178.59 | 178.92 | 181.30 | 181.71 |
| ⑥給水原価(円/m3)                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |             |        |        |        |  |  |  |     |     |    |    |    |     |        |        |        |        |        |     |        |        |        |        |        |
|                                                                                                                                                                                                                                             | H29                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | H30         | R1     | R2     | R3     |  |  |  |     |     |    |    |    |     |        |        |        |        |        |     |        |        |        |        |        |
| 西海市                                                                                                                                                                                                                                         | 329.58                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 326.02      | 312.30 | 324.76 | 326.43 |  |  |  |     |     |    |    |    |     |        |        |        |        |        |     |        |        |        |        |        |
| 平均値                                                                                                                                                                                                                                         | 174.97                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 178.59      | 178.92 | 181.30 | 181.71 |  |  |  |     |     |    |    |    |     |        |        |        |        |        |     |        |        |        |        |        |

上水道事業

| ⑦施設利用率(%)<br>(望ましい向き「↑」)                                                                                                                                                                                 | 【算定式】＝(1 日平均給水量／1 日給水能力)×100                                                                                                                                                                                                                                                                           |       |       |       |       |    |    |     |       |       |       |       |       |     |       |       |       |       |       |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|----|----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 評価の視点                                                                                                                                                                                                    | 施設の効率性                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |       |       |       |       |    |    |     |       |       |       |       |       |     |       |       |       |       |       |
| 【指標の定義】<br>1 日当たりの給水能力に対する 1 日平均給水量の割合を示したもので、水道施設の利用状況を判断する指標です。この比率が大きいほど効率的な施設運転を実施しているものといえます。水道事業のように季節的な需要変動がある事業については、最大稼働率（1 日給水量能力に対する 1 日最大給水量の割合）や負荷率（1 日最大給水量に対する 1 日平均給水量の割合）にも着目する必要があります。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |       |       |       |       |    |    |     |       |       |       |       |       |     |       |       |       |       |       |
| 【西海市の評価】<br>本市の指標値をみると、平成 29 年度から令和 3 年度にかけてやや微減傾向で推移し、令和 3 年度には約 62%となっています。今後も施設整備により、水需要に応じた施設規模適正化を図っていく必要があります。                                                                                     | 【グラフ】<br><table><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr><tr><td>西海市</td><td>63.25</td><td>65.13</td><td>60.26</td><td>60.76</td><td>61.82</td></tr><tr><td>平均値</td><td>55.63</td><td>55.03</td><td>55.14</td><td>55.89</td><td>55.72</td></tr></table> <p>上水道事業</p> |       | H29   | H30   | R1    | R2 | R3 | 西海市 | 63.25 | 65.13 | 60.26 | 60.76 | 61.82 | 平均値 | 55.63 | 55.03 | 55.14 | 55.89 | 55.72 |
|                                                                                                                                                                                                          | H29                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | H30   | R1    | R2    | R3    |    |    |     |       |       |       |       |       |     |       |       |       |       |       |
| 西海市                                                                                                                                                                                                      | 63.25                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 65.13 | 60.26 | 60.76 | 61.82 |    |    |     |       |       |       |       |       |     |       |       |       |       |       |
| 平均値                                                                                                                                                                                                      | 55.63                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 55.03 | 55.14 | 55.89 | 55.72 |    |    |     |       |       |       |       |       |     |       |       |       |       |       |

| ⑧有収率(%)<br>(望ましい向き「↑」)                                                                                                                                                                                                          | 【算定式】＝(有収水量／給水量)×100                                                                                                                                                                                                                                                                                   |       |       |       |       |    |    |     |       |       |       |       |       |     |       |       |       |       |       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|----|----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 評価の視点                                                                                                                                                                                                                           | 供給した配水量の効率性                                                                                                                                                                                                                                                                                            |       |       |       |       |    |    |     |       |       |       |       |       |     |       |       |       |       |       |
| 【指標の定義】<br>年間の給水量に対する料金徴収の対象となった有収水量の割合を示すもので、施設の稼働状況が収益につながっているかどうかを把握できます。この指標値が低い場合、漏水が多いこと、給水メーターの不感、消防用水の使用頻度が多いことなど、いくつかの要因が考えられます。                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |       |       |       |       |    |    |     |       |       |       |       |       |     |       |       |       |       |       |
| 【西海市の評価】<br>本市の指標値をみると、概ね70%台で推移しており、令和3年度には約67%となっています。全国類似団体平均値より10～14%低い比率を示しています。本指標値が低い理由としては、老朽化管路からの漏水が主な原因と考えられ、管の材質、老朽度、土壌、腐食、地盤沈下、施工不良などありとあらゆる要因が漏水を発生させる原因となっています。漏水率改善に向けて、布設後、法定耐用年数40年を超過した経年管路を優先的に更新する必要があります。 | 【グラフ】<br><table><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr><tr><td>西海市</td><td>70.80</td><td>68.16</td><td>71.27</td><td>70.09</td><td>67.56</td></tr><tr><td>平均値</td><td>82.04</td><td>81.90</td><td>81.39</td><td>81.27</td><td>81.26</td></tr></table> <p>上水道事業</p> |       | H29   | H30   | R1    | R2 | R3 | 西海市 | 70.80 | 68.16 | 71.27 | 70.09 | 67.56 | 平均値 | 82.04 | 81.90 | 81.39 | 81.27 | 81.26 |
|                                                                                                                                                                                                                                 | H29                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | H30   | R1    | R2    | R3    |    |    |     |       |       |       |       |       |     |       |       |       |       |       |
| 西海市                                                                                                                                                                                                                             | 70.80                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 68.16 | 71.27 | 70.09 | 67.56 |    |    |     |       |       |       |       |       |     |       |       |       |       |       |
| 平均値                                                                                                                                                                                                                             | 82.04                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 81.90 | 81.39 | 81.27 | 81.26 |    |    |     |       |       |       |       |       |     |       |       |       |       |       |

## 【老朽化の状況の指標】

| ⑨有形固定資産減価償却率(%)<br>(望ましい向き「↓」)                                                                                         | 【算定式】＝有形固定資産減価償却累計額／有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価×100                                                                                                                                                                                                                                                                                         |       |       |       |       |    |    |     |       |       |       |       |       |     |       |       |       |       |       |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|----|----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 評価の視点                                                                                                                  | 施設全体の減価償却の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |       |       |       |       |    |    |     |       |       |       |       |       |     |       |       |       |       |       |
| 【指標の定義】<br>償却対象の有形固定資産における減価償却済資産の割合を示したもので、100%に近いほど保有資産が法定耐用年数に近づいていることを意味します。この比率によって減価償却の進み具合や資産の経過状況を把握することができます。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |       |       |       |       |    |    |     |       |       |       |       |       |     |       |       |       |       |       |
| 【西海市の評価】<br>本市の指標値をみると、離島を除く簡易水道事業などとの統合をした後、平成 29年度から上昇傾向にあり、令和 3 年度には約35%となっていますが、現在は、全国類似団体平均値からは約 16%低い比率を示しています。  | 【グラフ】<br><table><thead><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr></thead><tbody><tr><td>西海市</td><td>23.87</td><td>27.85</td><td>31.26</td><td>32.77</td><td>35.31</td></tr><tr><td>平均値</td><td>48.05</td><td>48.87</td><td>49.92</td><td>50.63</td><td>51.29</td></tr></tbody></table> <p>上水道事業</p> |       | H29   | H30   | R1    | R2 | R3 | 西海市 | 23.87 | 27.85 | 31.26 | 32.77 | 35.31 | 平均値 | 48.05 | 48.87 | 49.92 | 50.63 | 51.29 |
|                                                                                                                        | H29                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | H30   | R1    | R2    | R3    |    |    |     |       |       |       |       |       |     |       |       |       |       |       |
| 西海市                                                                                                                    | 23.87                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 27.85 | 31.26 | 32.77 | 35.31 |    |    |     |       |       |       |       |       |     |       |       |       |       |       |
| 平均値                                                                                                                    | 48.05                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 48.87 | 49.92 | 50.63 | 51.29 |    |    |     |       |       |       |       |       |     |       |       |       |       |       |

| ⑩管路経年化率(%)<br>(望ましい向き「↓」)                                                                                                                                                                                                                                        | 【算定式】＝(法定耐用年数を超えた管路延長／管路総延長)<br>×100                                                                                                                                                                                                                                                                                            |       |       |       |       |    |    |     |      |      |      |      |      |     |       |       |       |       |       |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|----|----|-----|------|------|------|------|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 評価の視点                                                                                                                                                                                                                                                            | 管路の経年化の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |       |       |       |       |    |    |     |      |      |      |      |      |     |       |       |       |       |       |
| 【指標の定義】<br>管路総延長に対する法定耐用年数を超えた管路延長の割合を示したもので、老朽化している<br>管路の布設度合いを把握することができます。                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |       |       |       |       |    |    |     |      |      |      |      |      |     |       |       |       |       |       |
| 【西海市の評価】<br>本市の指標値をみると、全国類似団体平<br>均値に比べて低い比率ですが、今後、過去<br>大量に整備された管路が一気に更新時期を<br>迎えることとなります。経年化管路を更新<br>しない場合、老朽化により耐久性が低下し<br>て管路が破損し、断水や事故のリスクを伴<br>うこととなり、安定給水に支障を及ぼしま<br>す。全管路の布設年度を把握し、各管路の<br>法定耐用年数を超過する年度を評価し、更<br>新優先度が高い管路を抽出して将来の更新<br>計画に適用することが重要です。 | 【グラフ】<br><table><thead><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr></thead><tbody><tr><td>西海市</td><td>0.55</td><td>0.55</td><td>0.67</td><td>0.82</td><td>1.12</td></tr><tr><td>平均値</td><td>13.39</td><td>14.85</td><td>16.88</td><td>18.28</td><td>19.61</td></tr></tbody></table> <p>上水道事業</p> |       | H29   | H30   | R1    | R2 | R3 | 西海市 | 0.55 | 0.55 | 0.67 | 0.82 | 1.12 | 平均値 | 13.39 | 14.85 | 16.88 | 18.28 | 19.61 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                  | H29                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | H30   | R1    | R2    | R3    |    |    |     |      |      |      |      |      |     |       |       |       |       |       |
| 西海市                                                                                                                                                                                                                                                              | 0.55                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 0.55  | 0.67  | 0.82  | 1.12  |    |    |     |      |      |      |      |      |     |       |       |       |       |       |
| 平均値                                                                                                                                                                                                                                                              | 13.39                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 14.85 | 16.88 | 18.28 | 19.61 |    |    |     |      |      |      |      |      |     |       |       |       |       |       |

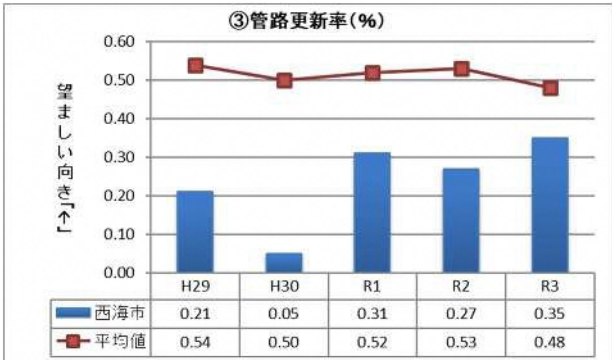
| ①管路更新率(%)<br>(望ましい向き「↑」)                                                                                                                                                                                                   | 【算定式】＝(更新された管路延長／管路総延長)×100                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |      |      |      |      |    |    |     |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      |      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|------|------|----|----|-----|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|
| 評価の視点                                                                                                                                                                                                                      | 管路の更新投資の実施状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |      |      |      |      |    |    |     |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      |      |
| 【指標の定義】<br>管路総延長に対する1年間に更新された管路延長の割合を示したもので、既設管路の耐震化や高機能化を目的として老朽管更新の実施状況を把握することができます。                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |      |      |      |    |    |     |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      |      |
| 【西海市の評価】<br>本市の指標値をみると、令和元年度以降は、老朽化管の更新に力を入れており、更新率は状況傾向にあります。依然として全国平均より低い水準にあります。水道事業における資産額のうち管路がしめる割合が最も高く、更新を実施しなかった場合、断水や事故のリスクに直結します。水道サービスの安定性の確保の観点から、給水におけるリスクの低減を図るためにも、適切に設定した基準年数以内で更新が可能な更新率を設定することが重要となります。 | 【グラフ】<br> <table><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr><tr><td>西海市</td><td>0.21</td><td>0.05</td><td>0.31</td><td>0.27</td><td>0.35</td></tr><tr><td>平均値</td><td>0.54</td><td>0.50</td><td>0.52</td><td>0.53</td><td>0.48</td></tr></table> <p>上水道事業</p> |      | H29  | H30  | R1   | R2 | R3 | 西海市 | 0.21 | 0.05 | 0.31 | 0.27 | 0.35 | 平均値 | 0.54 | 0.50 | 0.52 | 0.53 | 0.48 |
|                                                                                                                                                                                                                            | H29                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | H30  | R1   | R2   | R3   |    |    |     |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      |      |
| 西海市                                                                                                                                                                                                                        | 0.21                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 0.05 | 0.31 | 0.27 | 0.35 |    |    |     |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      |      |
| 平均値                                                                                                                                                                                                                        | 0.54                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 0.50 | 0.52 | 0.53 | 0.48 |    |    |     |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      |      |

表-2.5(6) 経営指標からみえる現状・課題の総括

| 評価視点   | 現状及び課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経営の健全性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●令和3年度の経営状況としては、経常収支比率が95.45%と概ね収支均衡が保てているものの、累積欠損金比率が非常に高い状況であり、中長期的にわたる健全経営の継続に課題がある状況です。今後は、水道料金改定、コスト削減に取り組み、一般会計繰入金や企業債残高の低減を目指すなど、さらなる経営の安定に向けた対策を行う必要があります。</li> <li>●一方、短期的な支払能力を表す流動比率は296.56%と100%以上であり、流動資産が流動負債を上回っていることから、短期的債務に対する支払いは十分対応できると考えられます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 経営の効率性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●債務残高を示す企業債残高対給水収益比率は、平成29年度の離島を除く簡易水道事業などとの統合以降、大幅に増加しています。今後は、出来る限り企業債元金償還の借入額を抑制するなど、次世代への負担を意識した適切な資金計画の見通しをたてる必要があります。</li> <li>●令和3年度の料金回収率は72.86%と100%を下回っており、経営に必要な費用を料金で賄うことができていない経営状況にあります。今後とも、給水原価の低減や供給単価の上昇に関する取り組みがより一層必要となります。</li> <li>●令和3年度の給水原価は326.43円/m<sup>3</sup>であり、類似団体平均値(181.71円/m<sup>3</sup>)を大きく上回る水準となっています。これは類似団体と事業環境が異なることから、類似団体平均値の水準まで抑えることは現実的に困難です。経営努力の限界はありますが、今後も引き続き経費削減に努める必要があります。</li> <li>●令和3年度の施設利用率は、61.82%と類似団体平均値を上回っており、効率的な施設運転が来ています。今後とも、効率的な施設運転を維持するためには、人口減少を念頭に、更新時には施設のダウンサイジングなどを検討する必要があります。</li> <li>●令和3年度の有収率は、67.56%であり、配水量が給水収益に結び付いていない状況です。そのため、有収率向上のために漏水改善対策に一層取り組む必要があります。</li> </ul> |
| 老朽化の状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●令和3年度の有形固定資産減価償却率や管路経年化率は類似団体平均値を下回っており、比較的新しい施設や管路などが多いと言えます。また管路更新率も0.35%と低い水準で推移していますが、計画的に更新事業に取り組んでいます。今後も安全・安定に水道水を供給できるように、点検、調査、修繕などの適切な保全業務を行っていく必要があります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 総括評価   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●今後、更新・耐震化事業を実施した際の財政収支の見通しを試算し、将来にわたって健全な経営が持続可能か把握する必要があります。</li> <li>●収支の抜本的改善のために費用コストなどの見直しが必要です。</li> <li>●有収率の改善のために継続的な送配水管の漏水調査と補修及び年次計画による施設の更新が必要です。</li> <li>●業務委託をはじめとする維持管理に伴うコスト削減が必要です。</li> <li>●人口規模、施設利用率に応じた更新時における施設及び管路のダウンサイジング並びに通常運転時における送配水量などの調整が必要です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

## 2-6 効率化・経営健全化の取組状況

## 1) 業務の直営・委託

本市では、民間活用による効率化やコスト削減に効果がある業務について、民間委託を実施し、効率的な事業運営に努めてきました。今後とも、事業効率化推進のため、民間への委託範囲の拡大などについて検討する必要があります。

現在の事業運営にかかる直營業務、外部委託の状況を表-2.6(1)に示します。

表-2.6(1) 業務別の直営・委託状況

| 区 分        |     | 民間委託                              | 市直営                    |
|------------|-----|-----------------------------------|------------------------|
| 水道施設<br>管理 | 水源  | 維持・修繕・巡回点検・<br>管理<br>原水検査         | 維持・修繕・点検・管理            |
|            | 導水管 | 漏水調査                              | 漏水調査                   |
|            | 浄水場 | 維持・修繕・点検・管理<br>着水水質検査<br>浄水水質検査   | 維持・修繕・点検・管理            |
|            | 送水管 | 漏水調査                              | 漏水調査                   |
|            | 配水池 | 維持・修繕・点検・管理                       | 維持・修繕・点検・管理            |
|            | 配水管 | 維持・修繕・点検・管理<br>漏水調査<br>水質検査（残留塩素） | 維持・修繕・点検・管理<br>漏水調査    |
|            | 給水管 | 維持・修繕                             | 漏水調査                   |
| 営業活動       |     | 検針                                | 料金徴収<br>閉開栓<br>滞納整理 など |
| 事業運営       |     | 計画支援業務                            | 経営計画、管理                |

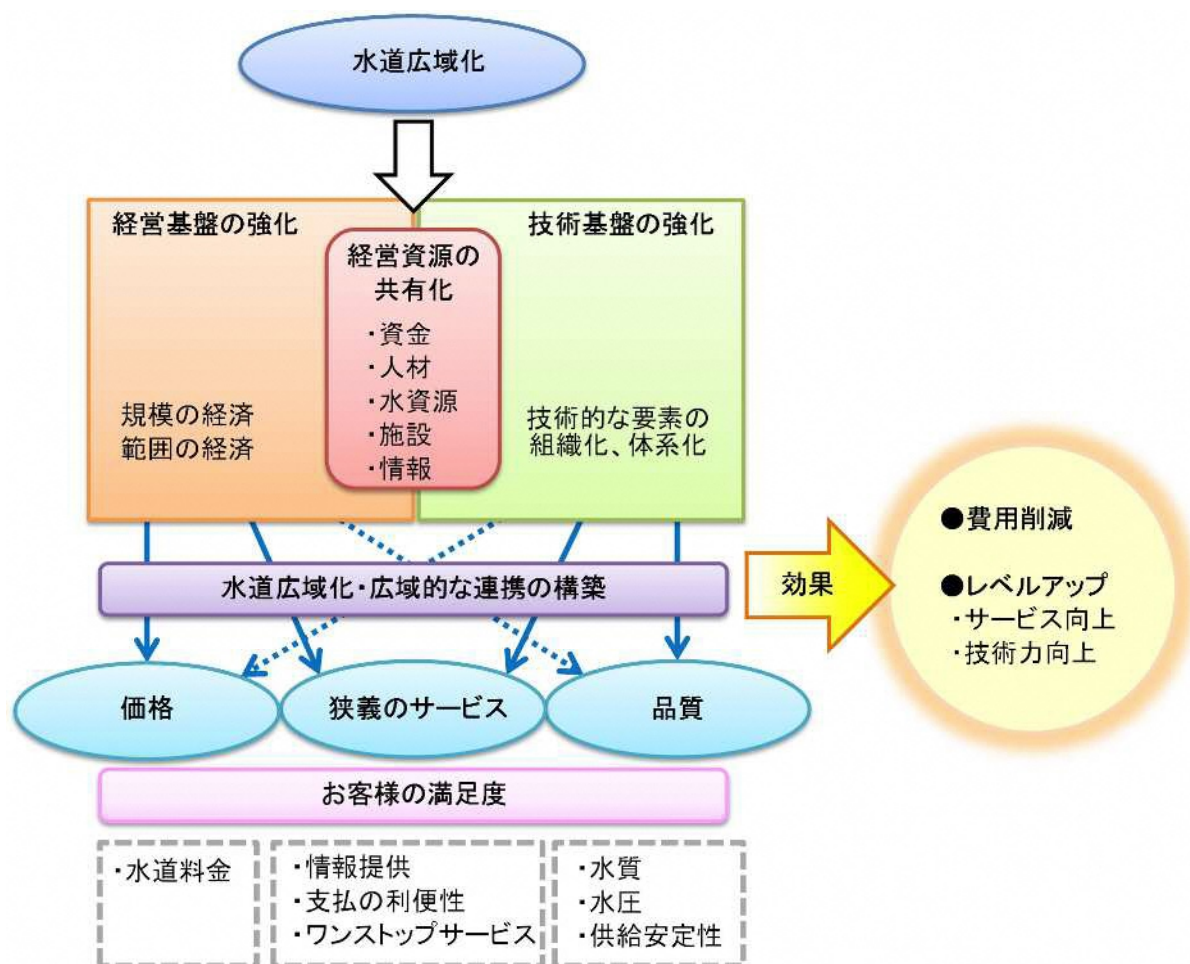
## 2) 広域連携に関する取り組み

本市においては、今後一層、給水人口の減少による収益の減少や施設更新に係る経費の増加が見込まれ、水道事業の経営環境は厳しくなることが予想されます。

このような水道事業の背景を受けて、将来の水道事業のあり方に関する検討会として、長崎県が主催する「広域連携に関する検討会」に参加し、長崎県水道広域化推進プラン（令和5年3月）が策定され、本市は水道事業の広域化に向けて取り組んでいます。

水道事業における広域連携は、経営基盤や技術基盤の強化という観点から、地域毎の水道の実情に応じて、事業統合や共同経営だけでなく、管理の一体化や施設の共同化などの多様な形態として提唱されています。水道の広域連携により期待される効果は、水需給の不均衡の解消や、施設利用の効率性向上、施設整備水準の平準化などに加え、経営及び技術両面での中長期的な事業運営に向けた運営基盤の強化に重点が置かれています。

今後の経営状況によっては、近隣の水道事業体と協議を行い検討していく必要があります。



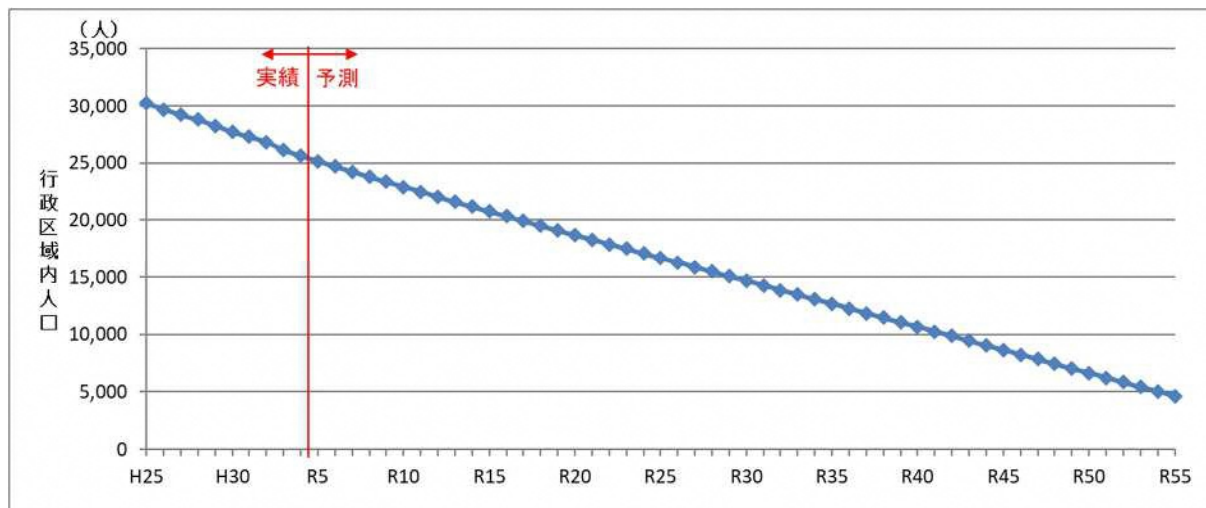
出典：水道広域化検討の手引き（日本水道協会）

図-2.6(1) 水道広域化と期待される効果のイメージ

### 第3章 将来の事業環境の見通し

#### 3-1 給水人口・給水量の見通し

今後の人口の見通しは、老年人口が増加する一方で、生産年齢及び年少人口が減少すると想定されます。最新の人口推計では、国勢調査を基に推計しており、将来の人口見通しを整理すると、図-3.1(1)に示す通りとなります。令和4年度時点での人口は、25,620人となっていますが、令和15年度には約4,800人減の約20,800人、令和25年度には約8,900人減の約16,700人、令和55年度には約21,000人減の約4,600人にまで減少する見通しとなります。

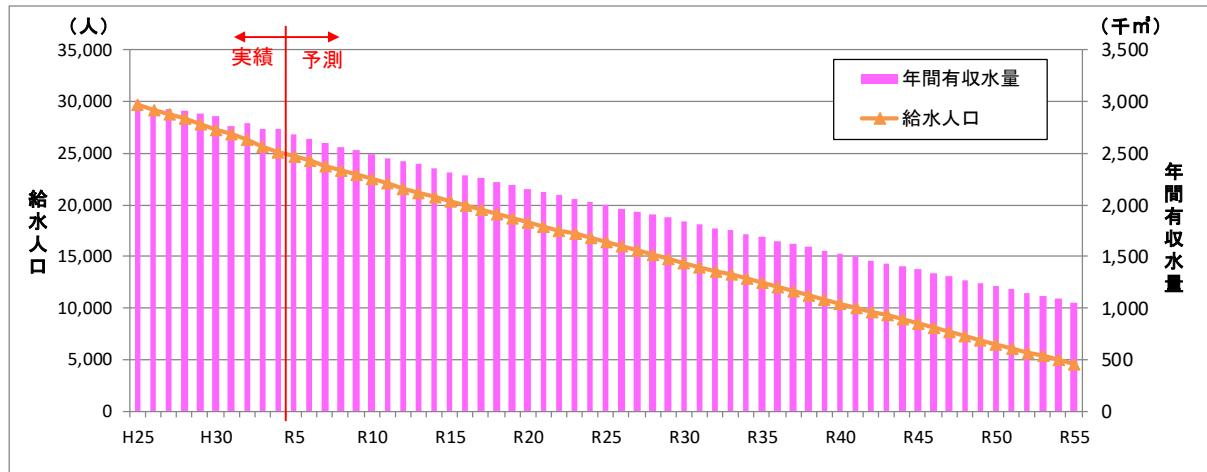


| 西海市全体      | R2022  | 2028   | 2033   | 2038   | 2043   | 2048   | 2053   | 2058   | 2063  | 2068  | 2073  |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
|            | R4     | R10    | R15    | R20    | R25    | R30    | R35    | R40    | R45   | R50   | R55   |
| 行政区域内人口(人) | 25,620 | 22,913 | 20,758 | 18,692 | 16,682 | 14,675 | 12,669 | 10,662 | 8,656 | 6,649 | 4,643 |

出典：国立社会保険・人口問題研究所HPより日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）

図-3.1(1) 行政区域内人口の見通し

また、この行政区域内人口を用いて将来の給水人口、年間有収水量を推計しますと、図-3.1(2)に示す通り、令和15年度には約2,300千 $\text{m}^3$ まで減少し、令和15年度以降も給水人口の減少に伴い徐々に減少していくことが予測されます。



| 西海市全体       | R2022  | 2028   | 2033   | 2038   | 2043   | 2048   | 2053   | 2058   | 2063  | 2068  | 2073  |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
|             | R4     | R10    | R15    | R20    | R25    | R30    | R35    | R40    | R45   | R50   | R55   |
| 給水人口(人)     | 25,143 | 22,486 | 20,371 | 18,344 | 16,371 | 14,402 | 12,433 | 10,464 | 8,495 | 6,525 | 4,557 |
| 年間有収水量(千m³) | 2,729  | 2,490  | 2,319  | 2,155  | 2,001  | 1,839  | 1,682  | 1,525  | 1,371 | 1,210 | 1,053 |

図-3.1(2) 給水人口及び年間有収水量の見通し

次頁以降に給水人口・有収水量の見通しと施設利用率の見通しを示します。

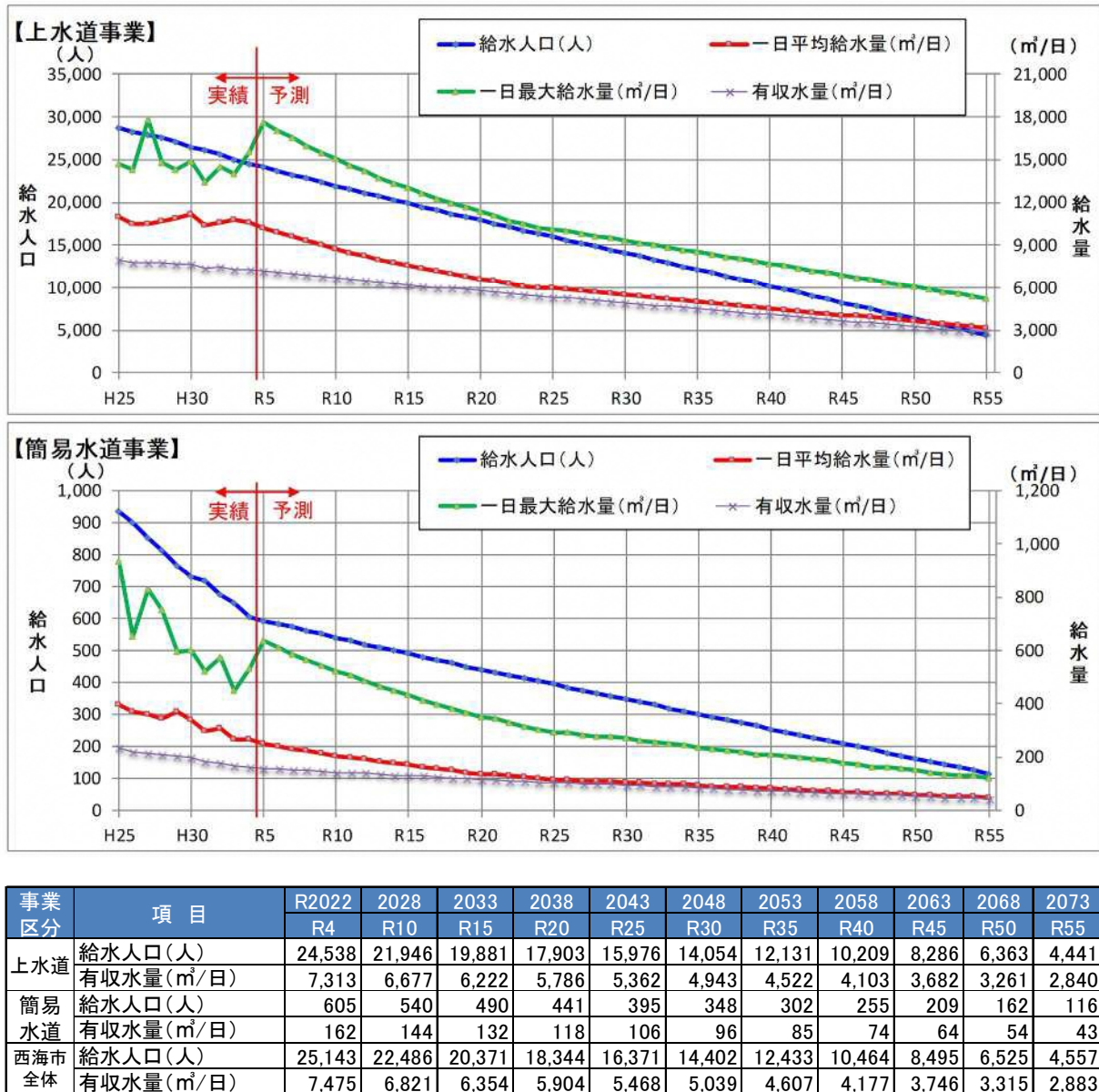


図-3.1(3) 給水人口・有収水量の見通し



図-3.1(4) 施設利用率の見通し

図-3.1(3)の水需要量の見通しをもとに、施設利用率（1日平均給水量÷1日給水能力）を算出すると、図-3.1(4)の通り、令和4年度は上水道61.9%、簡易水道34.6%であり、経営戦略の計画年度の令和15年度には上水道44.1%、簡易水道22.4%、約20年後の令和25年度には上水道34.7%、簡易水道15.3%にまで減少する見通しにあります。

給水人口の減少に伴い給水量は減少の一途を辿るため、現行の施設規模のまま運用すると施設能力に余裕が生じることとなります。中長期を見通した場合、施設の効率的な運転の観点から、施設統廃合や更新時のダウンサイジング（規模縮小）などの検討が必要となります。

## 3-2 資産健全度の見通し

## 1) 現有資産の状況

種別取得資産額を表-3.2(1)に示します。取得資産額（現在価値化後）は上水道事業が約488億円、簡易水道事業が約23億円の合計511億円に及び、全体の約74%の約376億円を管路が占めています。次いで、土木の約72億円（約14%）、電気設備の約19億円（約4%）となっています。

表-3.2(1) 取得資産額の内訳（令和4年度末時点）

| 種 別    |     | 上水道事業      |         | 簡易水道事業     |         | 西海市全体      |         |
|--------|-----|------------|---------|------------|---------|------------|---------|
|        |     | 取得資産額（百万円） | 比率（％）   | 取得資産額（百万円） | 比率（％）   | 取得資産額（百万円） | 比率（％）   |
|        |     | 現在価値化後     |         | 現在価値化後     |         | 現在価値化後     |         |
| 構造物・設備 | 建築  | 751        | 1.54%   | 53         | 2.30%   | 804        | 1.57%   |
|        | 土木  | 6,817      | 13.98%  | 430        | 18.88%  | 7,247      | 14.20%  |
|        | 機械  | 1,810      | 3.71%   | 101        | 4.44%   | 1,911      | 3.74%   |
|        | 電気  | 1,805      | 3.70%   | 124        | 5.45%   | 1,929      | 3.78%   |
|        | 計装  | 1,536      | 3.15%   | 58         | 2.55%   | 1,594      | 3.12%   |
|        | 計   | 12,719     | 26.08%  | 766        | 33.62%  | 13,485     | 26.41%  |
| 管 路    | 導水管 | 3,266      | 6.70%   | 217        | 9.53%   | 3,483      | 6.82%   |
|        | 送水管 | 6,323      | 12.96%  | 85         | 3.73%   | 6,408      | 12.55%  |
|        | 配水管 | 26,467     | 54.26%  | 1,210      | 53.12%  | 27,677     | 54.22%  |
|        | 計   | 36,056     | 73.92%  | 1,512      | 66.38%  | 37,568     | 73.59%  |
| 合計     |     | 48,775     | 100.00% | 2,278      | 100.00% | 51,053     | 100.00% |

出典：固定資産台帳、ただし管路については管種口径別布設単価に延長を乗じた金額として整理

図-3.2(1)～(4)に取得年度別の構造物・設備の資産額、管路の布設延長を示します。

上水道事業では1990年前後に建設投資が最大となっており、これらの資産は取得してから約30年経過しています。また、簡易水道事業では構造物・設備資産は1990年前後に、管路資産は1970年前後に建設投資が最大となっています。

構造物・設備資産について、機械・電気・計装設備は法定耐用年数が10～20年程度と短く、資産の多くが老朽化・機能劣化が進んでいるものと考えられます。また、管路資産について、一般的に取得から40年を経過した管路は老朽化管路とされるため、上水道事業の管路資産は10年程度で老朽化管路となるものが多く、簡易水道事業の管路資産は既にその多くが老朽化管路となっています。

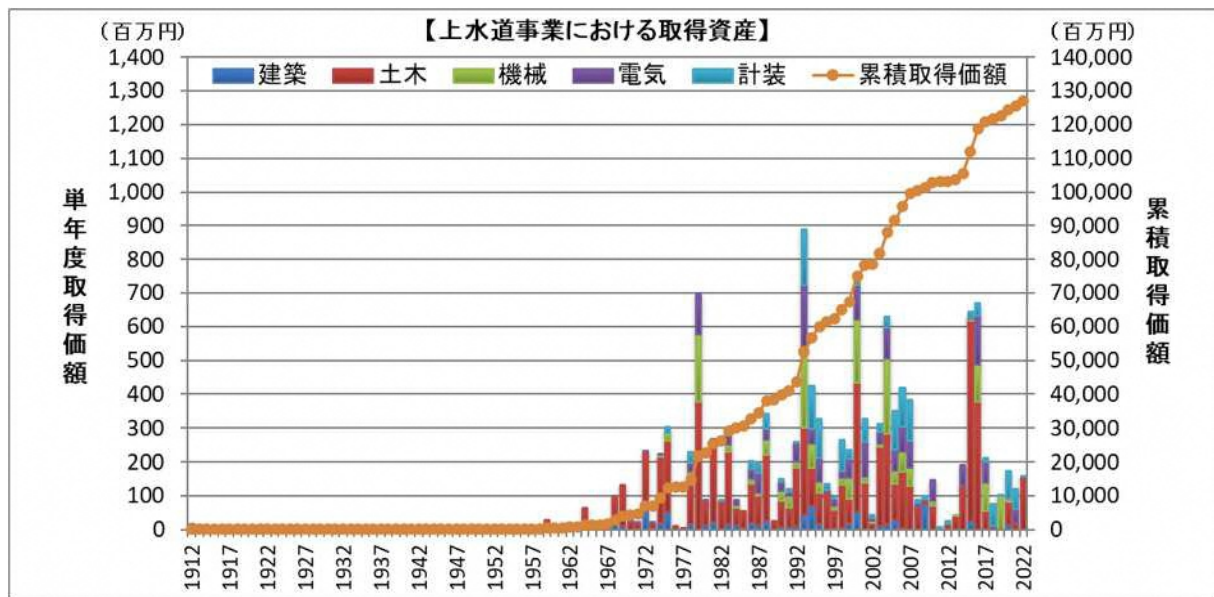


図-3.2(1) 工種別・取得年度別資産額（構造物・設備）【上水道事業】

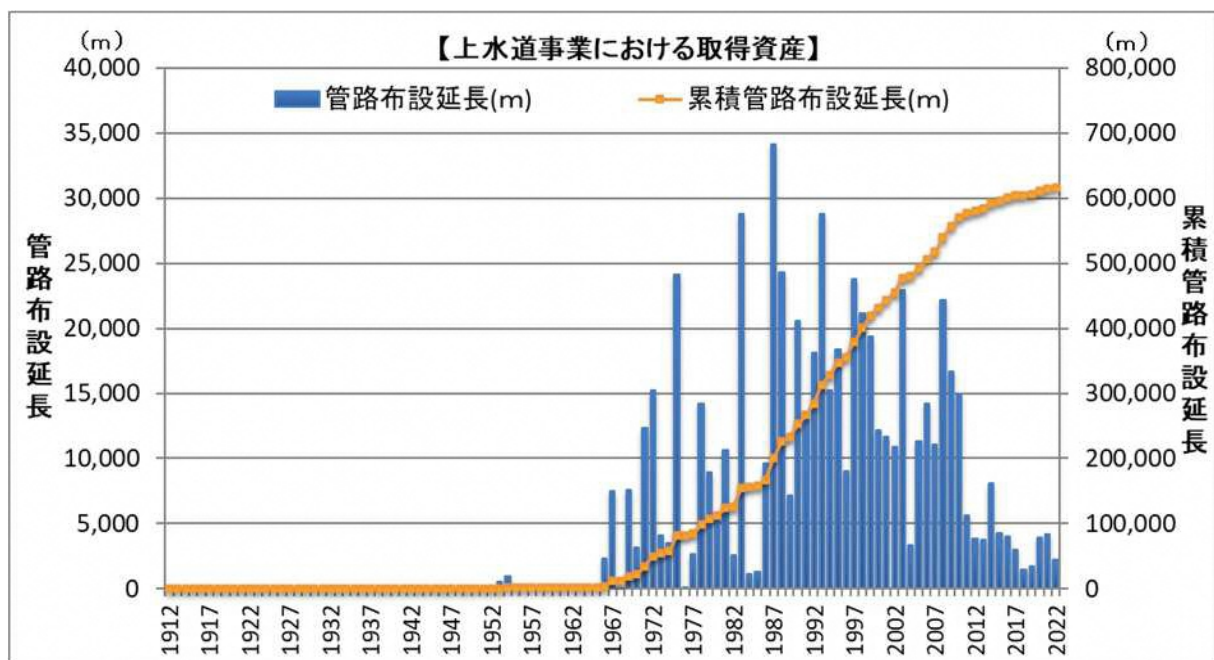


図-3.2(2) 管路布設年度別延長（管路）【上水道事業】

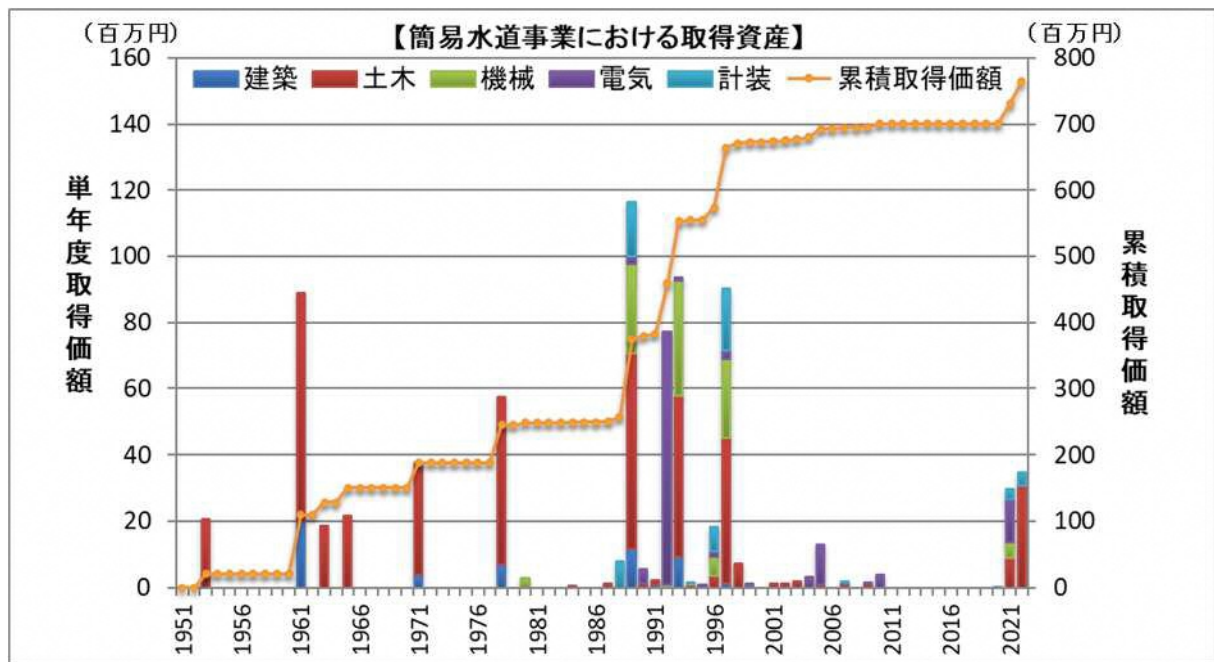


図-3.2(3) 工種別・取得年度別資産額（構造物・設備）【簡易水道事業】

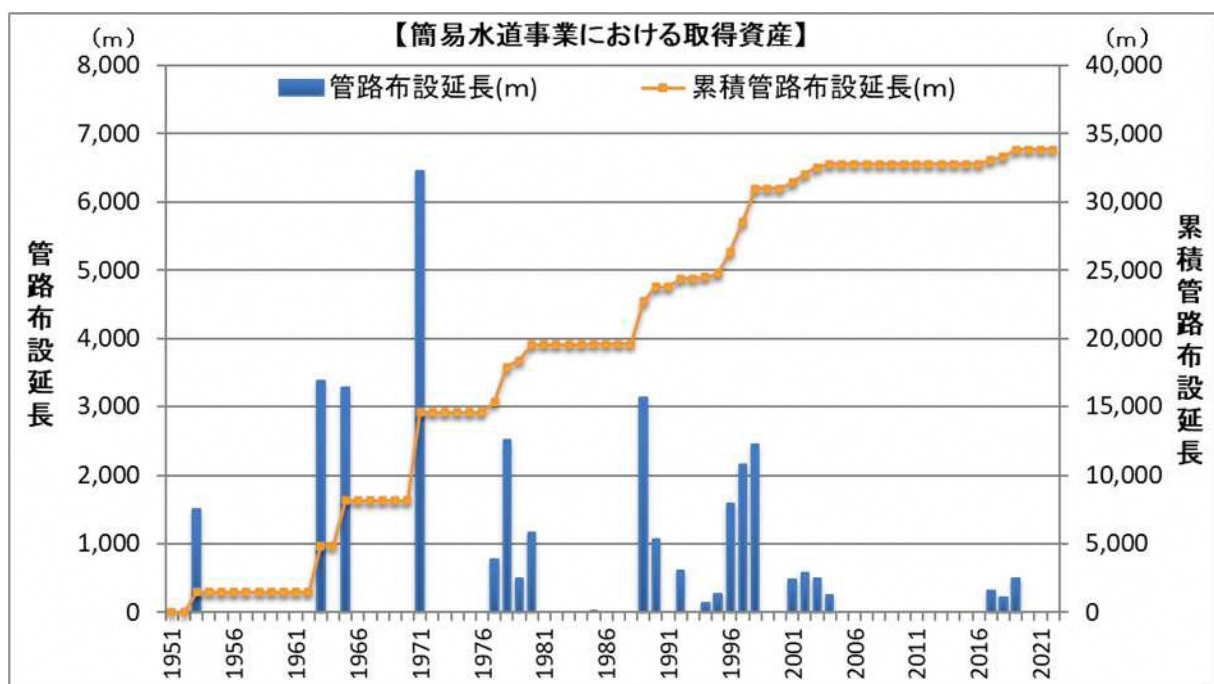


図-3.2(4) 管路布設年度別延長（管路）【簡易水道事業】

## 2) 現有資産の状況

現有資産の更新事業を実施しない場合、将来、健全度がどのように低下していくのか把握します。

更新を実施しない場合、資産健全度の見通しは図-3.2 (5) の通りになるものと予想されます。

資産の建設・設置後の経過年数が法定耐用年数を超過し始めると、経年化資産（経過年数が法定耐用年数の 1.0～1.5 倍の資産）や老朽化資産（経過年数が法定耐用年数の 1.5 倍を超えた資産）の比率は上昇し、老朽化に伴う施設・設備の突発的な破損や故障が発生します。これにより断水のリスクは増大していくため、安定給水が困難となることが予想されます。

こうした状況を改善するために、浄水場やポンプ場などに設置している主要な施設及び設備の維持管理を適切に行い、水道の安定供給に向けて、計画的な改修・更新など、保全対応に取り組んでいく必要があります。

また、管路についても、老朽化管路の基準とされる布設後 40 年以上を経過しているものがあり、有収率が低い原因の一つと考えられます。収益性の向上や断水事故防止のために、定期的な漏水調査を実施するとともに、老朽化管路の計画的な更新に取り組む必要があります。

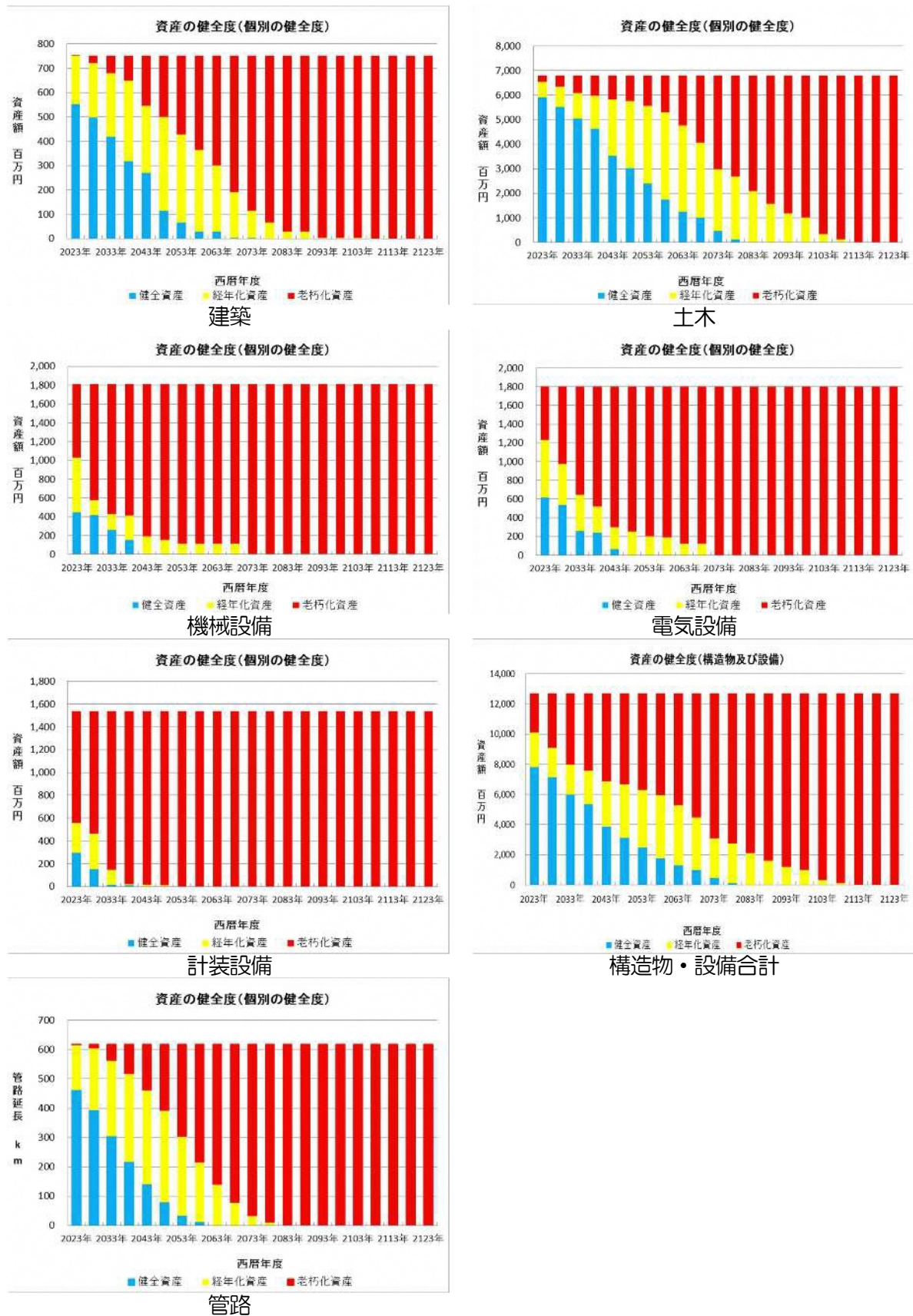


図-3.2(5) 更新を実施しなかった場合の資産健全度の見通し（上水道事業）

### 3-3 更新需要の見通し

#### 1) 更新需要算定における基本条件

厚生労働省では、将来の事業環境を見据えた持続的な水道事業を実現させる方策の一つとして、「アセットマネジメント（資産管理）」の実践を推奨しています。

水道事業におけるアセットマネジメントとは、水道施設の現状（建設からの経過年数、耐震性の有無など）を把握し、適切な水道施設の機能を維持するために、将来的に必要とされる施設の更新時期や、更新事業を行うための財政収支など、水道施設のライフサイクル全体における見通しを図ることです。

本市においては、将来、人口減少の見通しが予測され、料金収入の増加は見込めない状況にあります。その一方で、これまでに建設してきた水道施設の多くは順次老朽化していき、健全な機能を確認した施設管理のためには莫大な更新需要が必要となります。このような更新事業に対して、適切な財政運営を図る必要があり、安全で安心な水道水を持続的に供給するためにも、アセットマネジメントを活用した適切な施設管理が求められます。

老朽配水管布設替工事（毎年度実施）や簡易水道統合整備事業などを重点的に実施してきました。今後は、現有する水道施設を維持管理していきながら、既存の施設能力と水需要量見通しからみて余裕がある施設を対象とした水道施設統廃合事業や、老朽化が進行もしくは耐震性能が不十分とされる施設・設備・管路の改良事業を実施していきます。

ここでは、アセットマネジメントによる更新需要の見通しを試算し、将来の投資計画の基礎資料として活用します。なお、アセットマネジメントにおける更新期間の設定は、法定耐用年数や経過年数（供用年数など）を基に設定する「時間計画保全」の考え方により設定することとします。法定耐用年数とは、固定資産の減価償却費を算出するため、地方公営企業法施行規則に定められている標準の使用年数のことをいいます。

## 2) 更新シナリオの設定

施設更新の方針について5つのシナリオを設定しました。

なお、統廃合計画に基づき、将来廃止予定の資産は更新対象外とします。

シナリオ①：すべての資産について法定耐用年数を基準として更新します。

検討期間は20年を想定します。

シナリオ②：すべての資産について法定耐用年数の1.5倍を基準（延命化）として更新します。

検討期間は20年を想定します。

シナリオ③：シナリオ②の更新需要に基づき、直近20年以降に出現する更新需要のピークに対応するため、20～40年後に更新が必要な資産を先行して更新します。

検討期間は40年を想定します。

シナリオ④：小口径の管路を更新対象外とし、その他の資産を耐用年数の1.5倍を基準（延命化）として更新します。更新対象外とする小口径の管路資産はφ50以下とし、これらの資産は状態監視保全を実施します。

検討期間は20年間を想定します。

シナリオ⑤：シナリオ④の更新需要に基づき、直近20年以降に出現する更新需要のピークに対応するため、20～40年後に更新が必要な資産を先行して更新します。

検討期間は40年を想定します。

## 3) 更新需要の算定

各シナリオについて更新需要を算定しました。年間平均投資額は表-3.3（1）のようになります。投資額は、シナリオ①で最も大きくなり、水道全体で約2,050百万円になります。対して、シナリオ④で最も小さくなり、水道事業全体で約620百万円になります。

表-3.3(1) 年間平均投資額

| シナリオ  | 更新対象外の資産     | 更新基準       | 検討期間 | 年間平均投資額(百万円) |        |       |
|-------|--------------|------------|------|--------------|--------|-------|
|       |              |            |      | 上水道事業        | 簡易水道事業 | 水道事業  |
| シナリオ① | 廃止予定資産       | 法定耐用年数     | 20年  | 1,935        | 116    | 2,051 |
| シナリオ② | 廃止予定資産       | 法定耐用年数×1.5 | 20年  | 665          | 65     | 731   |
| シナリオ③ | 廃止予定資産       | 法定耐用年数×1.5 | 40年  | 966          | 59     | 1,025 |
| シナリオ④ | 廃止予定・小口径管路資産 | 法定耐用年数×1.5 | 20年  | 579          | 44     | 623   |
| シナリオ⑤ | 廃止予定・小口径管路資産 | 法定耐用年数×1.5 | 40年  | 853          | 42     | 895   |

## 4) 更新シナリオの決定

本経営戦略ではシナリオ④を採用します。シナリオ④は過年度投資実績に対して、現実的な投資額であり、一定の健全度を維持しながら更新を行っていくことができます。次頁以降に更新需要の見通しと資産健全度の見通しを示します。

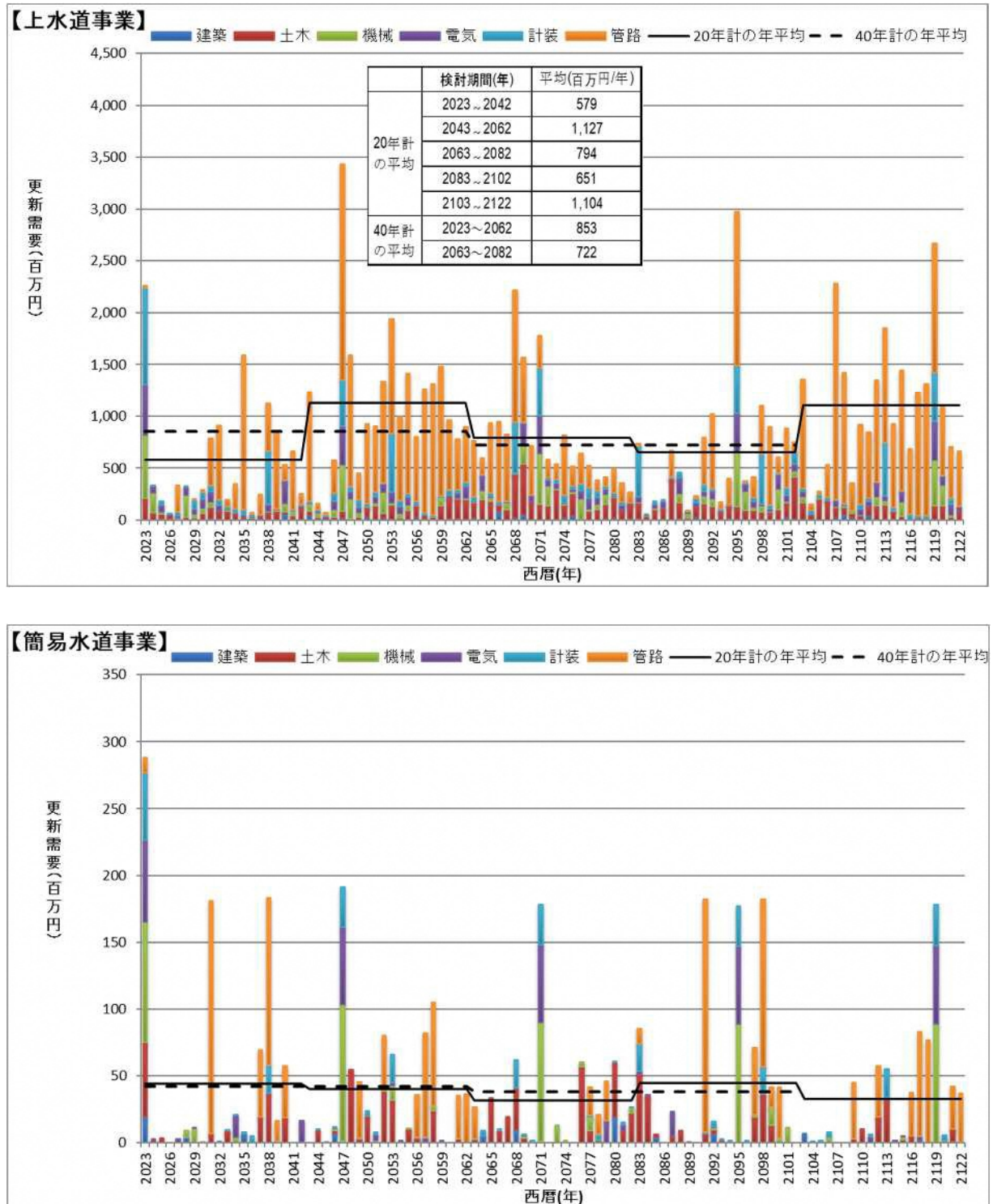


図-3.3(1) 更新需要の見通し(シナリオ④)

【上図：上水道事業 下図：簡易水道事業】

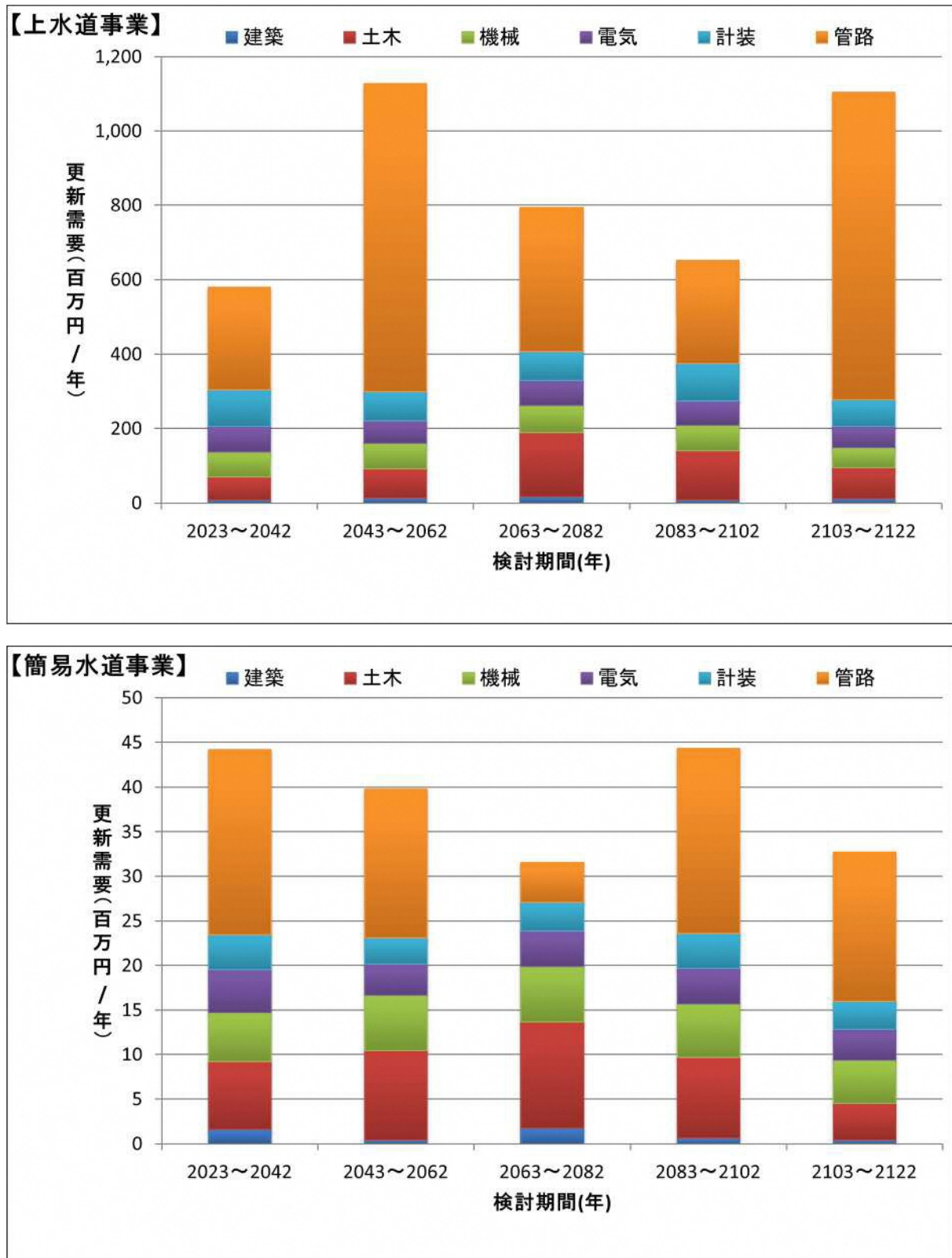


図-3.3(2) 年平均更新需要の見通し(シナリオ④)

【上図：上水道事業 下図：簡易水道事業】

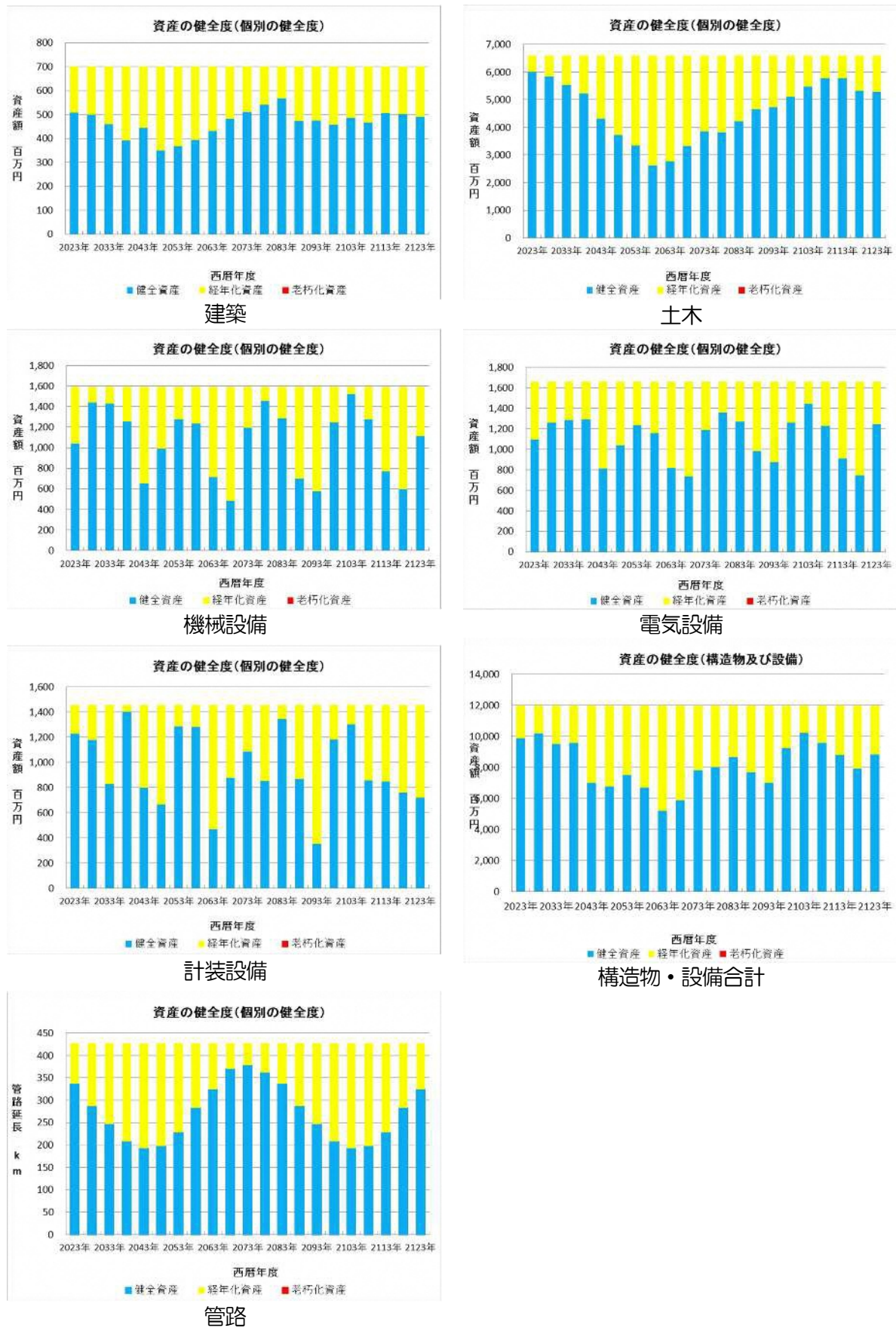


図-3.3(3) 資産健全度の見通し(シナリオ④) 上水道事業

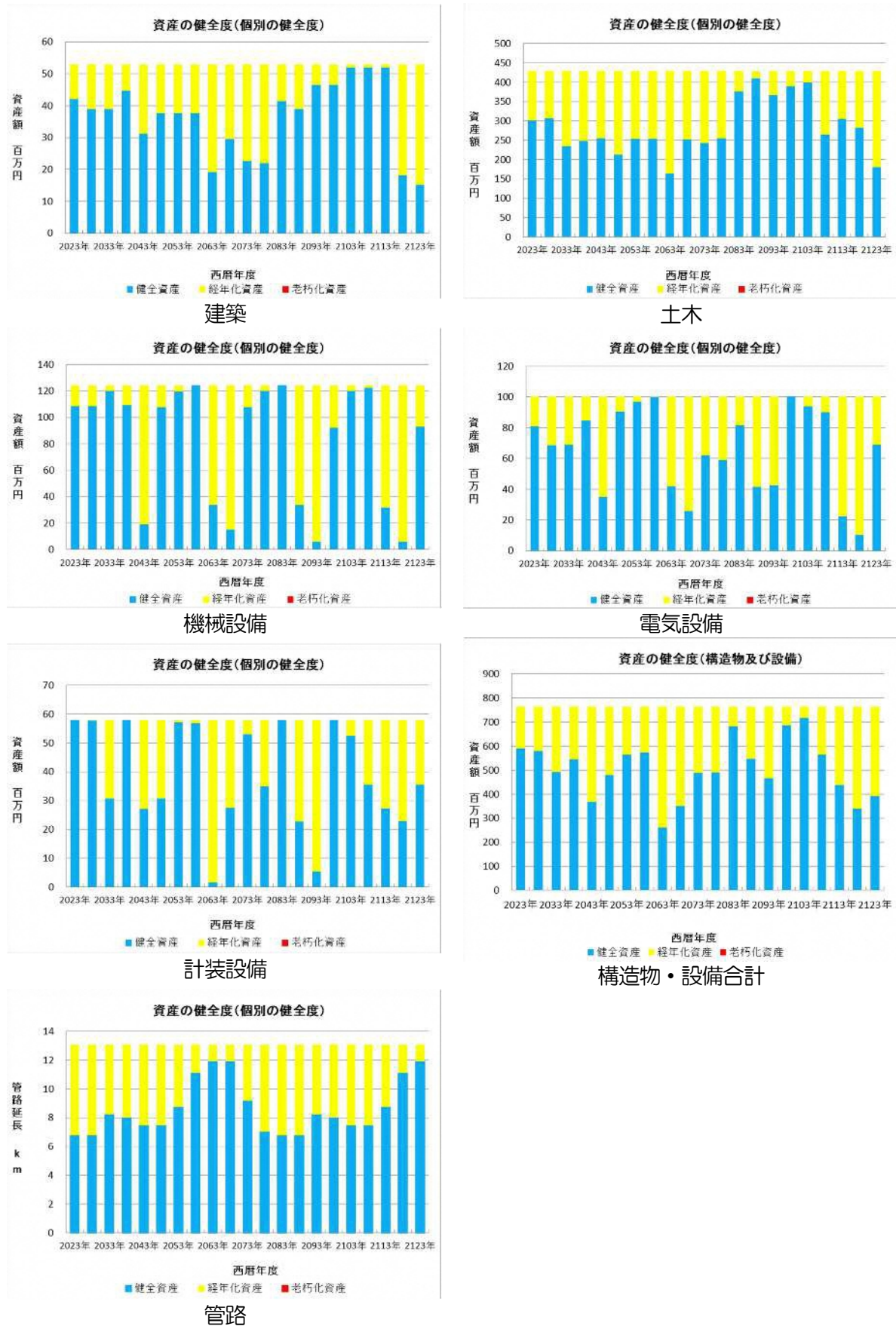


図-3.3(4) 資産健全度の見通し(シナリオ④) 簡易水道事業

### 3-4 組織の見通し

本市水道部は、全職員数のうち 17 名（令和 5 年度時点）が水道事業に関する業務に従事しています。経営状況の改善（経費削減）を図る上で、組織のスリム化や民間活力の活用などの取り組みがあげられますが、本市では、地形的特性から広範囲に多くの水道施設が点在しているため、今後とも、効率的な維持管理を持続し、安定かつ安全に水道を供給するためにも現在の組織体制を維持していく必要があります。また、災害や事故などの非常時の対応を考慮し、適正な職員配置も行う必要があります。

今後は、水道施設の健全化・運用の効率化を図るために、既存の施設・設備の改良事業に対応する必要があるため、現在の職員数を確保、もしくは増員を検討する必要があります。また、水道事業を健全に経営していくためには、公営企業会計による適切な会計処理と水道施設の適切な維持管理が必要であり、そのような専門的な知識と経験を有する人材確保にも取り組む必要があります。さらには、経営基盤の強化が図られるような取り組みとして、組織体制の見直しや直営部分の事務事業の民間委託の可能性についても検討していきます。

「2-4 組織体制」でも先述しましたが、職員別の経験年数をみると、経験年数 15 年以上の職員ほとんどが水道管理班である一方、その他の職員の経験年数は 5 年未満がほとんどであるなど偏りがある状況となっているため、今後とも運営基盤を維持・強化するためには、経験豊富な職員から若手職員に対して、技術継承を図ることが必要です。

組織内部での技術継承や緊急対応などを考慮すると、人員削減にも限界があることから、各種研修会への積極的な参加や、OJT による知識の蓄積や技術の継承、組織力の強化に取り組みます。また、職員の意欲を向上させ、能力が発揮できる組織を構築するため、事業に合わせた人員配置を検討します。さらに、民間委託といった官民連携を持続・進展させつつ、委託業務を監督・指導する職員の知識や技術力の維持向上を図る必要もあります。

以上のことから、本市水道事業においては、今後、人材確保を含む組織体制の強化と共に、熟練技術者からの技術継承、民間委託の検討などに取り組んでいく必要があります。

## 3-5 事業経営の見通し

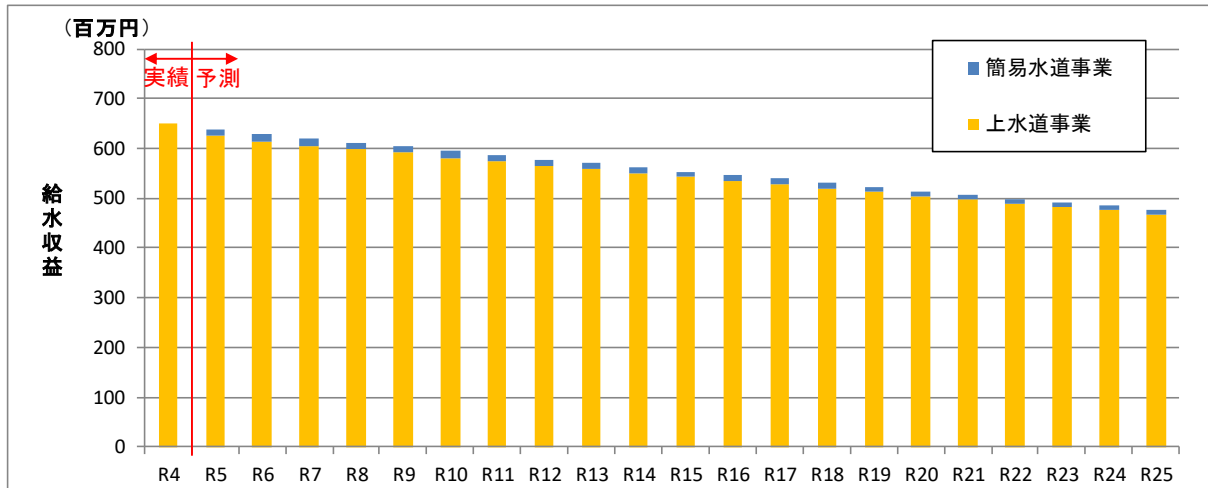
## 1) 料金収入の見通し

令和2年度より簡易水道事業の経営を上水道事業に統合し、一括しての会計処理をしており、令和4年度末現在における給水収益は、上水道事業と簡易水道事業（離島3箇所）併せて約651百万円（税抜き）となっています。ここで、「3-1 給水人口・給水量の見通し」で推計した有収水量に基づき、令和4年度の供給単価238.6円/m<sup>3</sup>（＝651百万円÷2,729千m<sup>3</sup>）より将来の給水収益を試算すると、下図の通りとなります。

給水人口の減少に伴い、有収水量は減少することから、給水収益も徐々に減少し、約50年先の令和55年度には本市全体の給水収益は約247百万円まで減少するものと予測されます。

平成28年度に料金改定を実施し、簡易水道事業（離島3箇所を除く）及び飲料水供給施設を統合した平成29年度に収益環境の改善を図っているものの、人口減少を抑えることは難しく、今後も給水収益は減少傾向に移行し、現行の料金水準のままでは料金収入の増収は見込めないことが予想されます。その一方で、現在管理している浄水場や配水池、ポンプ場、管路などの更新・修繕など、安定給水の対応は継続的に実施する必要があるため、これには多額の管理費用を要します。

経営の合理化、効率化を図る上でも、経費削減に関する取り組みを推進するとともに、経営指標の見通しを試算し、必要に応じて中長期を見据えた適正な料金水準の検討を行う必要があります。



| 事業区分 | 項目                       | R2022 | 2028  | 2033  | 2038  | 2043  | 2048  | 2053  | 2058  | 2063  | 2068  | 2073  |
|------|--------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|      |                          | R4    | R10   | R15   | R20   | R25   | R30   | R35   | R40   | R45   | R50   | R55   |
| 上水道  | 年間有収水量(千m <sup>3</sup> ) | 2,670 | 2,437 | 2,271 | 2,112 | 1,962 | 1,804 | 1,651 | 1,498 | 1,348 | 1,190 | 1,037 |
|      | 給水収益(百万円)                | 651   | 581   | 542   | 504   | 468   | 430   | 394   | 357   | 322   | 284   | 247   |
| 簡易水道 | 年間有収水量(千m <sup>3</sup> ) | 59    | 53    | 48    | 43    | 39    | 35    | 31    | 27    | 23    | 20    | 16    |
|      | 給水収益(百万円)                | 上水に含む | 13    | 11    | 10    | 9     | 8     | 7     | 6     | 5     | 5     | 4     |

※R4の給水収益は決算値を示す。また、R5以降はR4供給単価：238.6円/m<sup>3</sup>により算定している。

図-3.5(1) 給水収益の見通し

## 2) 経常収支の見通し

ここでは、過年度の建設改良費の実績を踏まえ、将来の更新事業を上水道事業・簡易水道事業について、約6億円／年で実施した場合の財政収支の試算を行い、各経常収支の見通しについて分析した結果を示します。

財政収支試算における基本条件は以下の通りです。

表-3.5(1) 財政収支試算にあたっての基本条件

|           |                                                                                                                                                    |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 給 水 収 益   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・供給単価一定（令和4年度）×有収水量（予測値）</li> <li>・図-3.5（1）の給水収益を採用</li> </ul>                                              |
| 企 業 債     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・起債率 80%一定</li> <li>・（建設改良費－国庫補助金）×起債率</li> </ul>                                                           |
| 国 庫 補 助 金 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道管路緊急改善事業を適用</li> <li>・補助対象は導水管、送水管、配水本管</li> <li>・管路工事費の40%（既設管構成より）を対象額とする</li> <li>・補助率 1/3</li> </ul> |
| 建 設 改 良 費 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・上水道事業・簡易水道事業併せて約6億円／年<br/>（更新需要の見通しより、シナリオ④を踏まえ設定）</li> </ul>                                              |

## (1) 当年度純損益・繰越利益剰余金

|                      |                                                                                                      |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 上水道事業<br>・<br>簡易水道事業 | 収益的収入の大半を占めている給水収益は、人口減少・給水量減少に伴い減収傾向の見通しにあり、現状通りの経営環境のままでは収益的支出額合計を賄うことは難しく、依然として収益環境は厳しい状況が見込まれます。 |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|

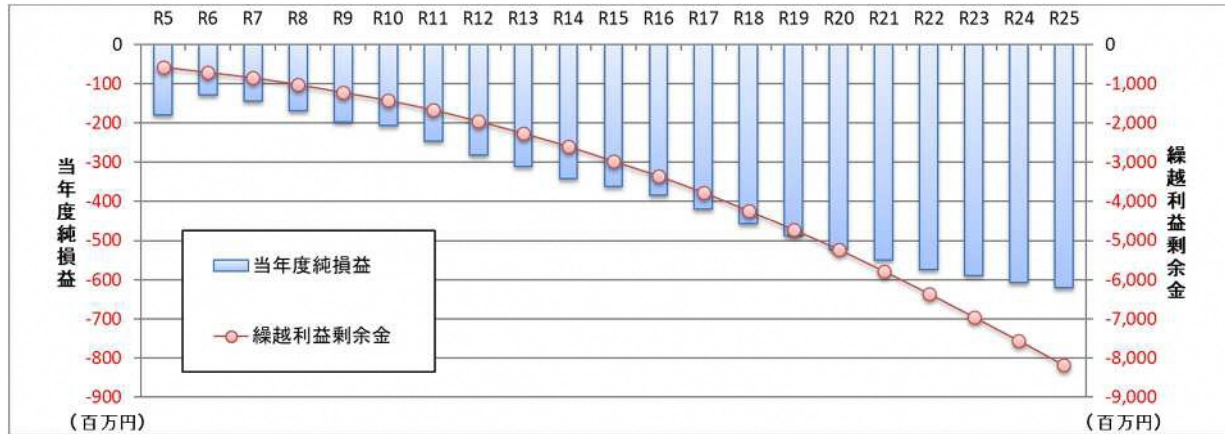


図-3.5(2) 財政収支見通し検討結果 (当年度純損益・繰越利益剰余金)  
【上水道事業・簡易水道事業】

## (2) 給水原価・供給単価・料金回収率

|                      |                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 上水道事業<br>・<br>簡易水道事業 | <p>現行料金水準のままの試算であることから供給単価は一定で推移します。</p> <p>一方、給水原価は、企業債の借り入れに伴う支払利息と、新規資産の取得に伴う減価償却費の増加により、概ね増加傾向で推移します。</p> <p>適切な原価回収がなされているかを評価する指標の料金回収率（＝供給単価÷給水原価）は、令和4年度時点で100%を下回っており、今回の試算条件の場合、今後も減少傾向で推移し、100%を上回ることはない見通しにあります。</p> |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

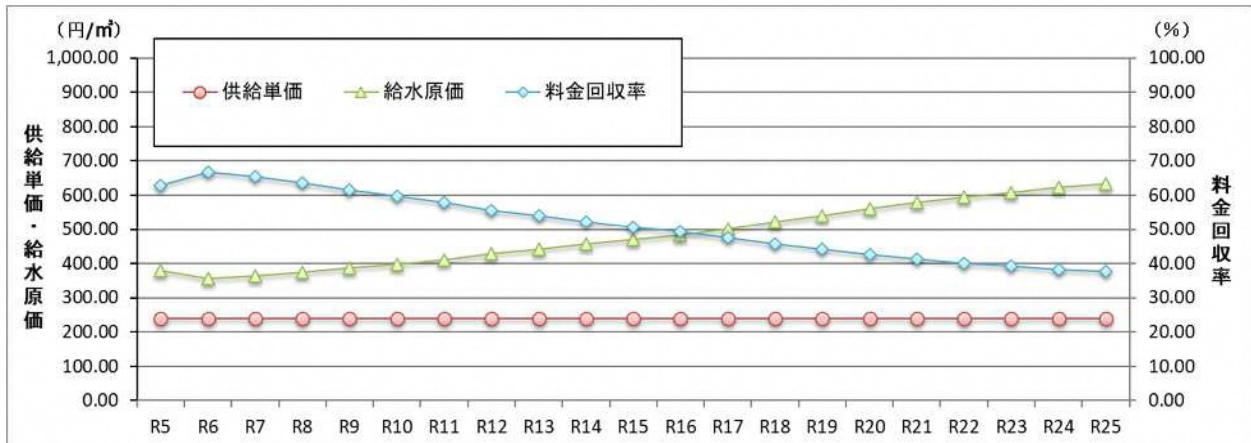


図-3.5(3) 財政収支見通し検討結果（給水原価・供給単価・料金回収率）

【上水道事業・簡易水道事業】

## (3) 企業債残高・資金残高

|                      |                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 上水道事業<br>・<br>簡易水道事業 | <p>今回の試算条件の場合、企業債残高は令和5年度の約52億円から増加傾向で推移し、令和15年度には残高約72億円となる見通しです。</p> <p>一方、資金残高（補てん財源残高）は、資本的収入として、管路工事費を対象とした一定の国庫補助金と企業債を見込んでいることから、当面は不足することはありませんが、今回の試算条件の場合、令和13年度に不足する見通しにありま。その後も、建設投資や給水収益の減少などにより増加しない見通しです。</p> |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

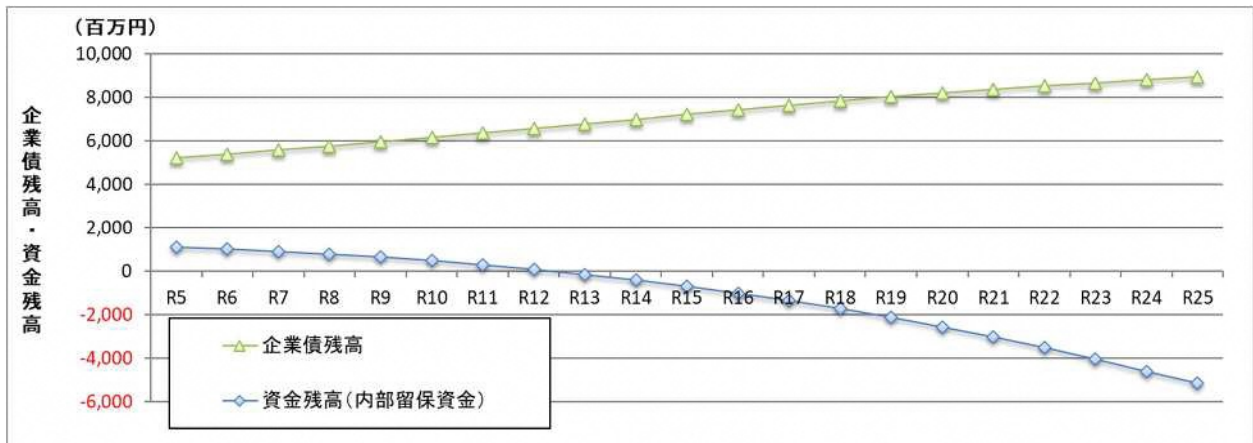


図-3.5(4) 財政収支見通し検討結果（企業債残高・資金残高）  
【上水道事業・簡易水道事業】



## 第4章 西海市水道事業における課題

これまでに整理した現状及び将来見通しを踏まえ、本市水道事業が抱える課題を以下の視点で分類しました。

表-4.1 水道事業における課題一覧

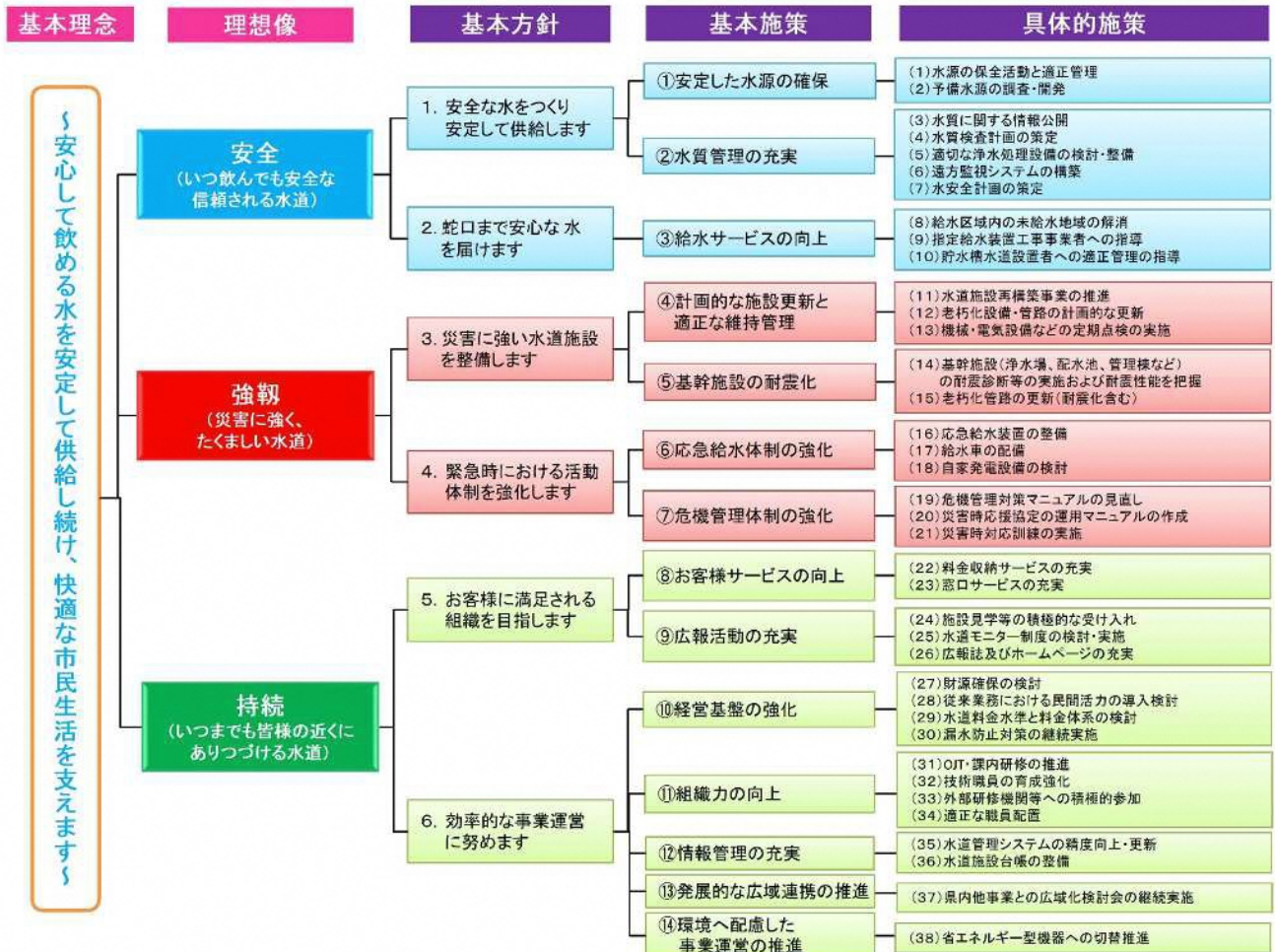
| 項 目     | 課題の概要                                                                                                                                                                                                                                  |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 施 設 面   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 老朽化しているポンプ場、浄水場、配水池などの水道施設を継続して使用すると、故障、破損などの断水リスクも高まるため、施設の老朽度、重要度などを踏まえた計画的な更新事業が必要です。</li> <li>● 本市では多くの水道施設を維持管理しており、現行通り使用すると多額の更新費用を要するため、事業の効率化を目的に、施設の集約化など統廃合整備事業が必要です。</li> </ul>   |
| 管 理 面   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本市は多くの水道施設を管理しているため、維持管理の効率化や経費削減を図るために新たな業務委託など、維持管理方法について検討する必要があります。</li> </ul>                                                                                                            |
| 財 政 面   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 老朽化している施設や管路などの更新事業・耐震化事業などを継続的に実施する必要がありますが、その事業には多額の建設改良費を要します。また、将来的に人口減少傾向が予測されることから、収益環境が悪化する見通しとなります。そのため、投資の見通しと営業収益の減少を踏まえ、財源確保策を考慮した財政計画の作成が必要です。</li> </ul>                         |
| 組 織 面   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 組織体制・人員配置の見直しにより、近年の年代構成についてはバランスのとれた職員構成となっています。しかしながら、水道業務の経験年数が5年未満の職員が多いのが現状です。水道事業の経営基盤を中長期にわたって維持・強化していくためには、経験豊富な職員から若手職員に対してOJT、課内研修など技術的なノウハウの伝承を図る機会を設ける仕組み作りが必要です。</li> </ul>      |
| サービス面   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 組織のスリム化を図ることで一定の業務効率化が見込まれますが、一方で給水サービスの低下や技術の継承などの課題が懸念されます。中長期にわたって、給水サービスの向上と効率的な事業運営を実現できるような、組織作りが必要です。また、コンビニエンスストアなどを活用した料金収納サービスの充実を図るなど、お客様の利便性向上に向けた取り組みについて検討する必要があります。</li> </ul> |
| 環 境 面   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 既存水源の水質・取水量は周辺環境により大きく変動します。良質な水源を維持するために、水源の保全活動と適正管理を推進する必要があります。</li> <li>● 近年は雪・台風・雷といった異常気象時に断水し、応急給水対応に取り組む事例もあったため、お客様に安全・安定して給水できる水道システムを構築する必要があります。</li> </ul>                      |
| 各 種 取 組 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 経営基盤強化の方策として広域連携の取り組みが注視されています。本市も県策定の長崎県水道広域化推進プランを基に広域化に向けた取組を行っていく必要があります。</li> </ul>                                                                                                      |



## 第5章 経営の基本方針

## 5-1 西海市水道ビジョンにおける基本理念

新水道ビジョンでは、水道事業の基本理念を実現するために、具体的な施策体系を以下の通り掲げています。



参照：西海市新水道ビジョン（令和元年6月）

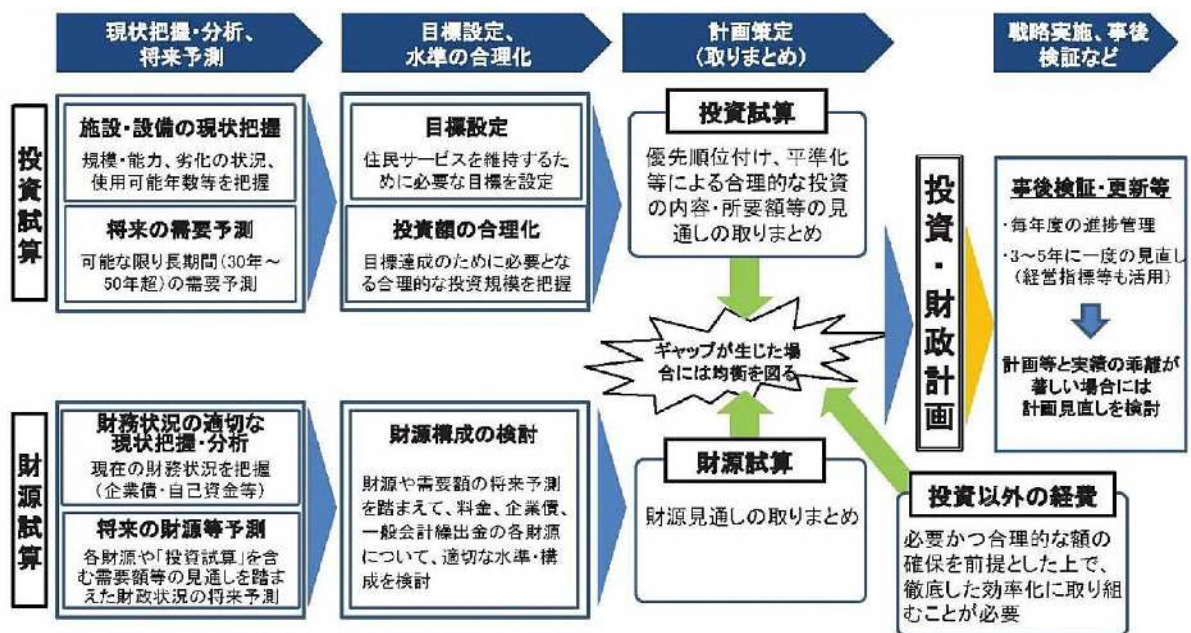
図-5.1(1) 水道事業の基本理念及び施策体系

## 5-2 経営方針

## 1) 経営基盤の強化

水道事業は、公営企業として「独立採算制」のもと、中長期にわたって「安全で良質な水道水」を供給する必要があります。しかし、将来の見通しとして、人口減少や節水機器の普及などにより水需要は減少し、これに伴い水道料金の収入減少が見込まれます。さらに、水道施設の老朽化対策や大規模地震や台風を想定した災害対策など、多額の投資が必要となることが予想されます。

このため、投資の合理化や経営の効率化を前提に投資試算や財政試算を行い、持続可能な事業運営を目的として収支均衡が図られた「投資計画」と「財政計画」を策定し、経営基盤の強化や財政マネジメントの向上による経営の健全化に努めていきます。



出典：経営戦略策定ガイドライン改訂版【総務省】

図-5.2(1) 投資計画と財政計画のイメージ

## 2) 経営目標の設定

水道事業は地域の住民サービスを担う地方公営企業であり、市民のみなさまに安全な水道水を安定して送り続けることが求められます。

水道を通じて、市民のみなさまの生活を支えることから、公共の福祉を増進するとともに、常に企業としての経済性を発揮するよう運営することを基本原則とされています。

本経営戦略は、水道事業の経営計画に位置付けられます。水道事業のマスタープランである西海市新水道ビジョンの基本理念の実現に向けて、持続可能な水道事業を目指すために、必要な事業実施のための財源確保や事業経営の効率化・健全化を図り、安定した事業経営に取り組んでまいります。

本経営戦略における経営方針は、経営資源の「ヒト」、「モノ」、「カネ」の観点から表-5.2 (1) の通りとします。

表-5.2(1) 水道事業における経営方針

|                           |                             |                                                                                                                                                                                                              |
|---------------------------|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 組織体制の強化<br><br>【ヒト】       | 取り組み方針                      | 取り組みの概要                                                                                                                                                                                                      |
|                           | 1. 業務の効率化・水道サービスの充実化        | ● 更なる事業効率化の推進のために、直営部分の事務事業について、民間委託への可能性について検討します。<br>● 窓口サービス、料金収納サービスなど、市民の皆さまへの水道サービスの充実が図られる取り組みの可能性について検討します。                                                                                          |
|                           | 2. 持続可能な事業運営を目指した人材育成・職員配置  | ● 持続可能な水道事業運営に向けて、経験豊富な職員から若手職員に対して、技術継承を図ります。また、各種研修会への積極的な参加や、OJTによる知識の蓄積や技術の継承、組織力の強化に取り組みます。<br>● 災害や事故などの非常時の対応を考慮し、職員の適正配置にを検討します。                                                                     |
| 水道施設の機能向上・効率化<br><br>【モノ】 | 取り組み方針                      | 取り組みの概要                                                                                                                                                                                                      |
|                           | 1. 現有資産の効率的な更新              | ● 安全でおいしい水の安定供給を図るため、現有資産である施設・設備・管路の効率的な更新に努めます。特に、老朽度が高く、漏水が確認されている地区の管路は、優先的に更新事業を推進します。                                                                                                                  |
|                           | 2. 維持管理性の向上を目的とした管理設備の導入    | ● 現状、各浄水場では水質事故などではなく、安全に運転管理ができていますが、浄水処理の安全性と維持管理性をより一層高めるために、一部の浄水場に対して、ろ過設備、濁度計などの管理設備を整備します。                                                                                                            |
| 経営基盤の強化<br><br>【カネ】       | 取り組み方針                      | 取り組みの概要                                                                                                                                                                                                      |
|                           | 1. 周辺事業体との広域連携の可能性に関する検討    | ● 事業の効率化の施策として、水道広域化が推進されています。長崎県が令和5年3月に策定した長崎県水道広域化推進プランに基づき、広域化の取組について検討していきます。                                                                                                                           |
|                           | 2. 適正な料金水準の検討               | ● 将来的には人口減少に伴う給水収益（収益性）の低下のほか、老朽化資産の更新事業や統廃合整備事業などにより多額の投資が見込まれるため、資金残高の減少、収益環境（料金回収率など）が悪化することが予想されます。健全な事業経営を続けながら、必要となる投資事業を着実に実施していくために、収益性及び事業規模に見合った資金残高の確保に努める必要があります。そのため、財政試算に基づき、適正な料金水準について検討します。 |
|                           | 3. 投資の合理化による更新費用及び維持管理費用の削減 | ● 水道施設の更新においては、施設統廃合による事業の効率化と、職員配置状況及び財務状況を踏まえた投資規模の適正化の視点で事業を実施するとともに、事務事業の効率化などにより経費節減を図り、更新費用と維持管理費用の削減に努めます。                                                                                            |

## 第6章 投資計画

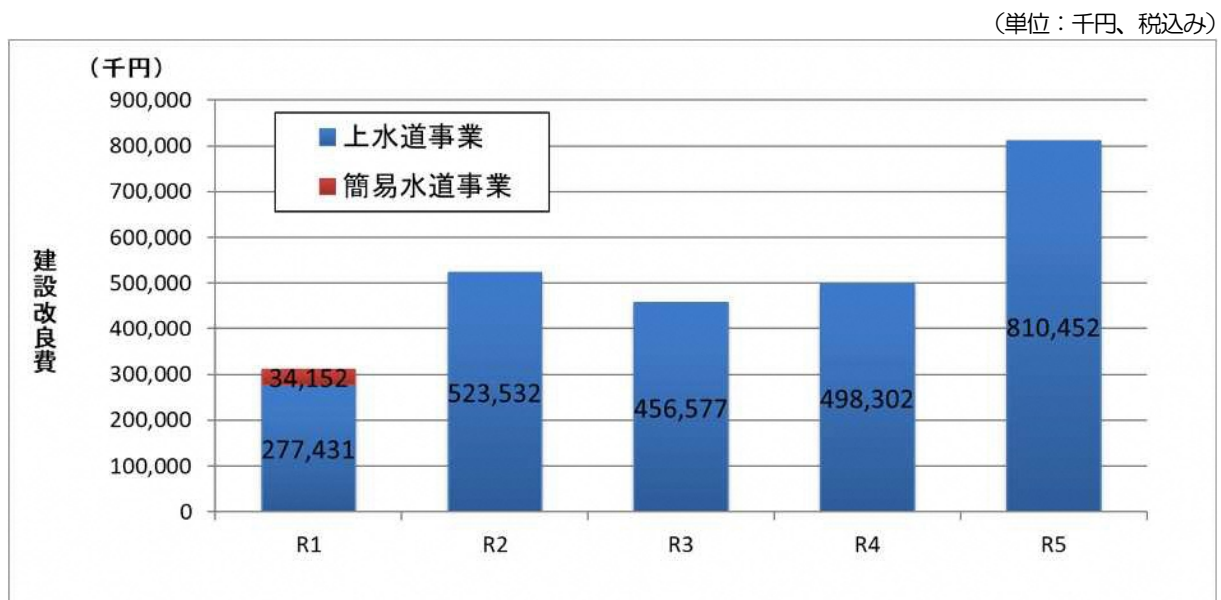
ここでは、将来の水道施設の更新事業や統廃合整備事業などの事業内容を整理し、各事業に要する事業費をもとに、経営戦略における投資費用の見通しを検討します。

### 6-1 これまでの事業内容

本市は、合併に伴い、給水区域が大幅に拡大し、給水普及率は約 99%に達しました。現行ビジョンでは、老朽化施設・設備の更新事業や簡易水道統合整備事業を計画的かつ重点的に進めることを方針に掲げ、これまで水道施設整備を実施してきました。

直近5年を見たときの1年当たり建設改良費を以下に示します。令和4年度までの3年間で、概ね4億円/年程度の建設投資を行ってきています。

令和5年度からは、上水道事業に関して施設統廃合を含む再構築整備の必要性、旧簡易水道事業における各種財政措置の期限の存在、さらに、「3-3更新需要の見通し」に示す通り、施設更新にかかる既存施設・管路の更新需要の増加が見込まれることから、建設投資額を増加させることにより、さらなる整備促進を図る必要が生じています。



| 事業区分   | R1      | R2      | R3      | R4      | R5 (予算) |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 上水道事業  | 277,431 | 523,532 | 456,577 | 498,302 | 810,452 |
| 簡易水道事業 | 34,152  | 上水道に含む  | 上水道に含む  | 上水道に含む  | 上水道に含む  |
| 計      | 311,583 | 523,532 | 456,577 | 498,302 | 810,452 |

※R2以降は上水道事業に簡易水道事業分を含む

※人件費、メーター購入費などを含む

図-6.1(1) 建設改良費の実績

## 6-2 計画期間における投資の見通し

計画期間内における主な事業内容は以下の通りです。本経営戦略における投資計画は、現在継続中の事業を除き、重要度が高い施設・設備・管路の更新事業や浄水設備改良事業を優先します。特に、簡易水道事業を対象とした補助金などの各種財政措置における適用期限を考慮し、簡易水道事業にかかる整備を優先して実施していくものとします。

表-6.2(1) 計画期間内における主な投資計画

| 事業区分 | 事業名        | 対象事業                       | 計 画                                |
|------|------------|----------------------------|------------------------------------|
| 上水道  | ①水道施設再構築事業 | ●西海中部・東部浄水場統合整備事業          | 各地区の再構築事業（ポンプ場、連絡管路、浄水施設増強など）を計画   |
|      | ②浄水場改良事業   | ●遠方監視装置整備事業<br>●濁度管理設備整備事業 | 維持管理性の向上を目的とした遠方監視装置、濁度計などの整備を計画   |
|      | ④老朽管更新事業   | ●老朽化管路更新事業                 | 近年漏水が頻発しているほか、維持管理が困難な老朽化管路を優先して更新 |
|      | ⑤水道施設更新事業  | ●老朽化施設更新事業（上水道）            | 老朽度が高く緊急性のある施設を更新                  |
|      | 合 計        | 年間施設整備費 約 4.9 億円／年を実施（税込み） |                                    |
| 簡易水道 | ②浄水場改良事業   | ●濁度管理設備整備事業（江島浄水場）         | 維持管理性の向上を目的とした、濁度計などの整備を計画         |
|      | ④老朽管更新事業   | ●老朽化管路更新事業（松島・平島・江島）       | 簡易水道の給水区域内でφ50を超える管路を更新            |
|      | ⑤水道施設更新事業  | ●老朽化施設更新事業（松島・江島）          | 老朽化により更新の緊急性が高い施設・設備の更新            |
|      | 合 計        | 年間施設整備費 約 1.1 億円／年を実施（税込み） |                                    |

本経営戦略に用いる令和6年度から令和15年度までの事業スケジュールは表-6.2（2）の通りです。

計画期間内における施設整備費は、上水道事業が約49億円、簡易水道事業が約11億円の計60億円を見込んでいます。

表-6.2(2) 事業年次スケジュール（令和6年度～令和15年度）

| 【事業単位】 |                   |                  |                      | R6      | R7      | R8      | R9      | R10     | R11     | R12     | R13     | R14     | R15     | 合計        |
|--------|-------------------|------------------|----------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 区分     | 事業名               | 対象地区             |                      | 2024    | 2025    | 2026    | 2027    | 2028    | 2029    | 2030    | 2031    | 2032    | 2033    | R6～R15    |
| 上水道    | ①水道施設再構築事業        | 西海中部・東部浄水場統合整備事業 | （西海町）中部・東部水道施設統合整備工事 | 249,620 | 327,900 | 405,000 | 389,900 | 43,300  |         |         |         |         |         | 1,415,720 |
|        | ②浄水場改良事業          | 濾力監視装置整備         |                      | 15,300  |         |         |         | 5,900   |         |         |         |         |         | 21,200    |
|        | ④老朽管路更新事業         | 更新基準を迎える管路の更新    | 上水道区域内               | 304,737 | 35,000  | 35,000  |         | 15,000  | 142,000 | 86,800  | 488,835 | 488,017 | 481,067 | 2,076,455 |
|        | ⑤老朽化施設更新事業        | 更新基準を迎える施設の更新    | 上水道区域内               | 16,710  | 62,000  | 81,100  |         | 257,400 | 113,600 | 252,000 |         |         |         | 782,810   |
|        | 本工事費              |                  |                      | 586,367 | 424,900 | 521,100 | 389,900 | 321,600 | 255,600 | 338,800 | 488,835 | 488,017 | 481,067 | 4,296,185 |
|        | 消費税相当額            |                  |                      | 58,637  | 42,490  | 52,110  | 38,990  | 32,160  | 25,560  | 33,880  | 48,883  | 48,802  | 48,107  | 429,619   |
|        | 本工事費（税込）          |                  |                      | 645,004 | 467,390 | 573,210 | 428,890 | 353,760 | 281,160 | 372,680 | 537,718 | 536,819 | 529,174 | 4,725,804 |
|        | 調査設計委託費・事務費       |                  |                      | 50,155  | 13,100  | 0       | 0       | 22,512  | 17,892  | 23,716  | 34,218  | 34,161  | 33,675  | 229,429   |
|        | 消費税相当額            |                  |                      | 5,016   | 1,310   | 0       | 0       | 2,251   | 1,789   | 2,372   | 3,422   | 3,416   | 3,367   | 22,943    |
|        | 調査設計委託費・事務費（税込）   |                  |                      | 55,171  | 14,410  | 0       | 0       | 24,763  | 19,681  | 26,088  | 37,640  | 37,577  | 37,042  | 252,372   |
|        | 施設整備費 合計          |                  |                      | 700,175 | 481,800 | 573,210 | 428,890 | 378,523 | 300,841 | 398,768 | 575,358 | 574,396 | 566,216 | 4,978,177 |
|        | 総事業費（上水道＋簡易水道） 合計 |                  |                      | 720,545 | 666,270 | 623,590 | 574,200 | 590,972 | 600,447 | 598,682 | 575,358 | 574,396 | 566,216 | 6,090,675 |
| 【工種単位】 |                   |                  |                      | R6      | R7      | R8      | R9      | R10     | R11     | R12     | R13     | R14     | R15     | 合計        |
| 区分     | 工 種               |                  |                      | 2024    | 2025    | 2026    | 2027    | 2028    | 2029    | 2030    | 2031    | 2032    | 2033    | R6～R15    |
| 上水道    | 土木工事              |                  |                      | 111,861 | 187,300 | 73,800  | 185,900 | 291,500 | 238,600 | 252,000 | 87,768  | 70,850  |         | 1,499,579 |
|        | 建築工事              |                  |                      |         | 47,600  |         |         |         |         |         |         |         |         | 47,600    |
|        | 機械・電気設備工事         |                  |                      | 77,070  |         | 447,300 | 204,000 | 15,100  |         |         |         |         |         | 743,470   |
|        | 管路工事              |                  |                      | 397,436 | 190,000 |         |         | 15,000  | 17,000  | 86,800  | 401,067 | 417,167 | 481,067 | 2,005,536 |
|        | 本工事費              |                  |                      | 586,367 | 424,900 | 521,100 | 389,900 | 321,600 | 255,600 | 338,800 | 488,835 | 488,017 | 481,067 | 4,296,185 |
|        | 消費税相当額            |                  |                      | 58,637  | 42,490  | 52,110  | 38,990  | 32,160  | 25,560  | 33,880  | 48,883  | 48,802  | 48,107  | 429,619   |
|        | 本工事費（税込）          |                  |                      | 645,004 | 467,390 | 573,210 | 428,890 | 353,760 | 281,160 | 372,680 | 537,718 | 536,819 | 529,174 | 4,725,804 |
|        | 調査設計委託費・事務費（税込）   |                  |                      | 55,171  | 14,410  | 0       | 0       | 24,763  | 19,681  | 26,088  | 37,640  | 37,577  | 37,042  | 252,372   |
|        | 施設整備費 合計          |                  |                      | 700,175 | 481,800 | 573,210 | 428,890 | 378,523 | 300,841 | 398,768 | 575,358 | 574,396 | 566,216 | 4,978,177 |
|        | 総事業費（上水道＋簡易水道） 合計 |                  |                      | 720,545 | 666,270 | 623,590 | 574,200 | 590,972 | 600,447 | 598,682 | 575,358 | 574,396 | 566,216 | 6,090,675 |
|        | 土木工事              |                  |                      |         | 22,700  |         |         | 57,700  | 35,000  | 35,000  |         |         |         | 150,400   |
|        | 建築工事              |                  |                      |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |           |
|        | 機械・電気設備工事         |                  |                      |         | 145,000 |         |         | 17,000  | 17,000  |         |         |         |         | 179,000   |
|        | 管路工事              |                  |                      |         |         |         | 90,600  | 105,800 | 202,550 | 134,850 |         |         |         | 533,800   |
|        | 本工事費              |                  |                      | 0       | 167,700 | 0       | 90,600  | 180,500 | 254,550 | 169,850 | 0       | 0       | 0       | 863,200   |
|        | 消費税相当額            |                  |                      | 0       | 16,770  | 0       | 9,060   | 18,050  | 25,455  | 16,985  | 0       | 0       | 0       | 86,320    |
|        | 本工事費（税込）          |                  |                      | 0       | 184,470 | 0       | 99,660  | 198,550 | 280,005 | 186,835 | 0       | 0       | 0       | 949,520   |
|        | 調査設計委託費・事務費（税込）   |                  |                      | 20,370  | 0       | 50,380  | 45,650  | 13,899  | 19,601  | 13,079  | 0       | 0       | 0       | 162,978   |
|        | 施設整備費 合計          |                  |                      | 20,370  | 184,470 | 50,380  | 145,310 | 212,449 | 299,606 | 199,914 |         |         |         | 1,112,498 |
|        | 総事業費（上水道＋簡易水道） 合計 |                  |                      | 720,545 | 666,270 | 623,590 | 574,200 | 590,972 | 600,447 | 598,682 | 575,358 | 574,396 | 566,216 | 6,090,675 |

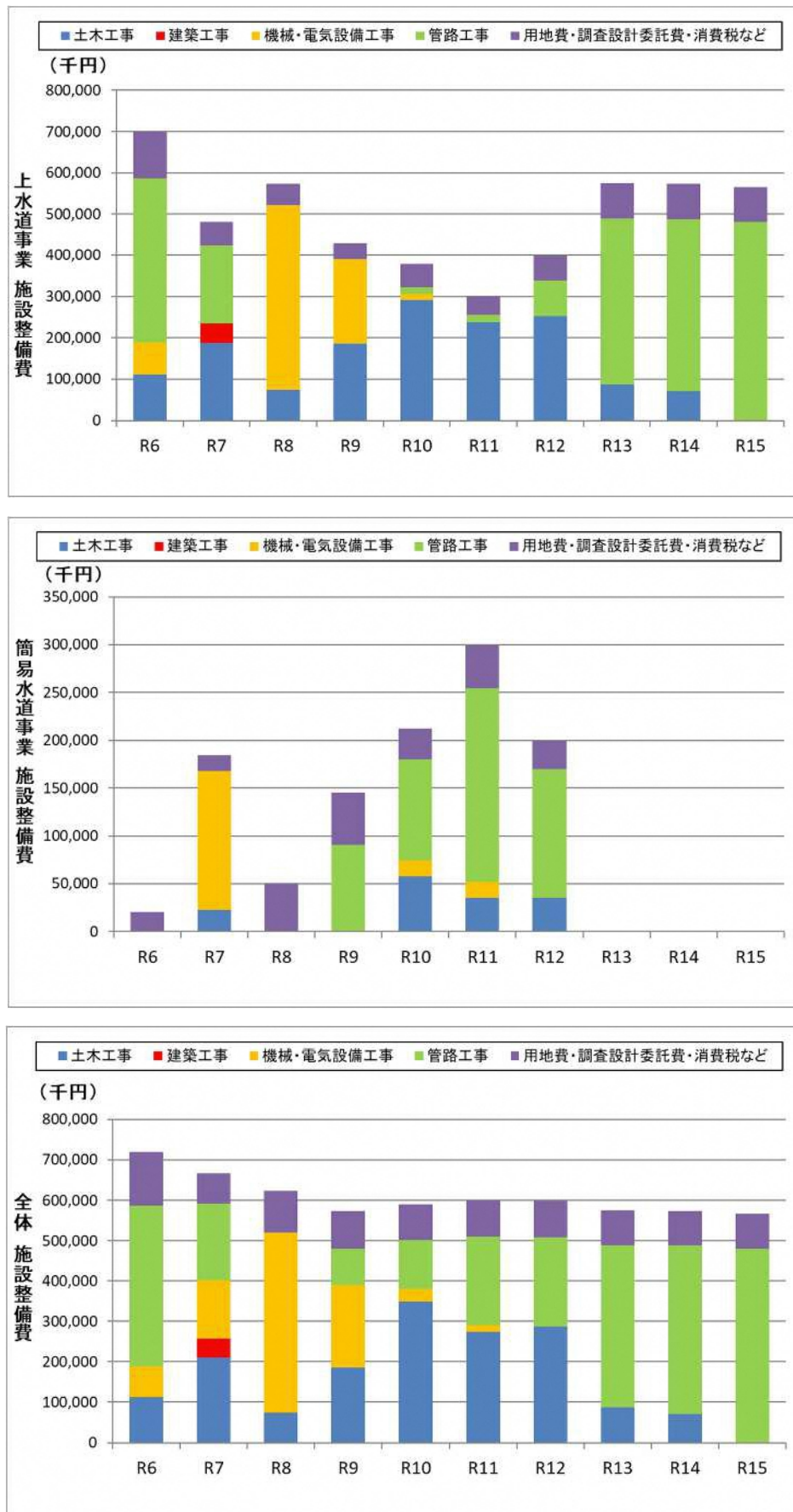


図-6.2(1) 施設整備費の見通し（令和6年度～令和15年度）

## 第7章 財政計画

### 7-1 経営改善の方向性

ここでは、「第6章 投資計画」で設定した投資計画により事業を実施した場合の将来における財政収支（収益的収支・資本的収支・資金残高）の見通しを把握し、健全な経営が成り立つかどうかを評価します。

表-7.1(1) 将来の上水道事業及び簡易水道事業の財政面の課題

| 将来における財政面の課題                                                                                                                                   | 該当する事業区分    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 収益性の低下<br/>人口減少に伴う給水収益減少、また、更新・耐震化事業などの事業実施による支出増加</li> </ul>                                         | 上水道<br>簡易水道 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業実施に伴う資金残高の減少<br/>徐々に減少し、現行通りの料金水準の場合いずれは資金不足となる見通し</li> </ul>                                       | 上水道         |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般会計繰入金への依存度上昇<br/>現在、収支が赤字にならないように一般会計から繰り入れしているが、将来は収益減少、支出増加の幅が大きくなるため、今後はこれまで以上の繰入金が必要</li> </ul> | 上水道         |

上記の通り、いずれも、現状の経営体制のままでは財務状況は悪化する傾向となります。必要とされる事業を着実に実施していくためには、健全な事業経営が求められます。

考えられる経営改善の方向性としては以下に示す通りです。

表-7.1(2) 経営改善の方向性

| 経営改善の方向性                     | 該当する事業区分    |
|------------------------------|-------------|
| ①収益性の確保（料金改定）                | 上水道<br>簡易水道 |
| ②営業収益対資金残高比率の維持（事業規模による適正管理） | 上水道         |
| ③一般会計繰入金への依存度抑制（①による抑制）      | 上水道         |

ここで、①収益性の確保について、健全な水道事業経営としては、公営企業会計の基本である収益的収支が黒字であることが条件とされています。健全性を評価する指標としては、日本水道協会規格である「水道事業ガイドライン」の業務指標（PI）にも定義されている「経常収支比率」100%以上、「料金回収率」100%以上が一つの目安となります。

本市の場合、平成 29 年度以降単年度純損益は赤字を続けており、今後も建設投資の増大により累積欠損金は上昇していく見込みとなっています。当面は、内部留保資金（資金残高）並びに一般会計繰入金に依存して赤字補填を行っていくこととなります。本市における経常収支の見通しを見ると、令和 13 年度には資金残高がマイナスとなり、事業継続ができなくなる懸念があります。

内部留保資金（資金残高）は建設投資の財源確保及び日常の資金繰りや不測の事態に備えた必要な資金であり、事業運営の継続性を確保するためには一定の水準を維持する必要があります。

本経営戦略において、②営業収益対資金残高比率の維持水準として既計画では、本市類似規模事業体の平均値である 140%を採用していましたが、資金残高の確保すべき水準を非常時の運転継続が可能な水準として、全国総平均なみの 80%に見直すこととしました。

「資金残高の確保水準の設定」は表-7.1（3）に示す通りとします。

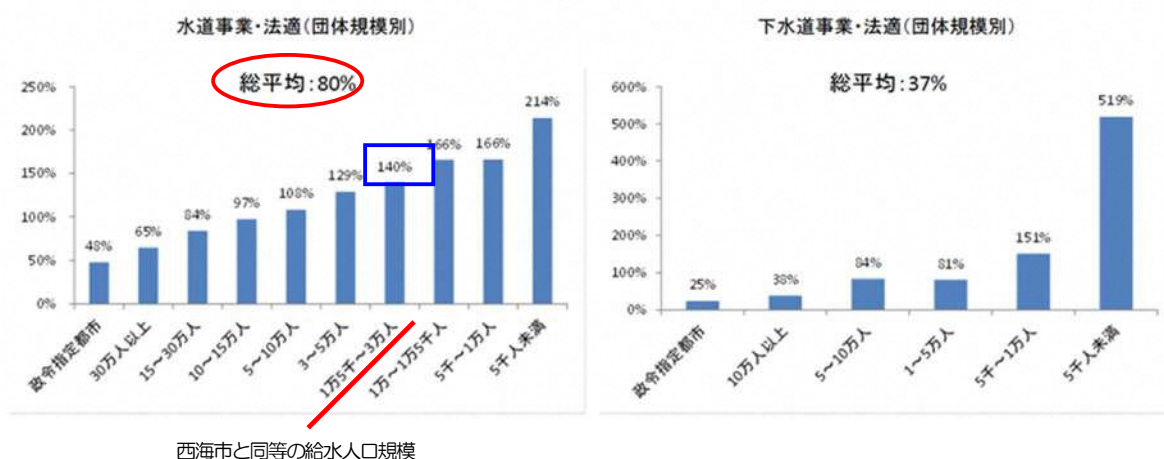
表-7.1(3) 資金残高の確保水準の設定

## 「資金残高の確保水準の設定」

総務省資料より

※参考：営業収益対資金残高比率

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 指標の説明 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 営業収益対資金残高比率は、業務運営上必要な資金を確保できているかをはかる指標である。</li> <li>■ この指標により、日常業務に支障をきたさない範囲で、適切に資金を確保できているかを判断することになり、この指標が過度に低い場合は、日常の業務運営に支障をきたしかねないことを意味するため、健全経営の観点から、一定水準の営業収益対資金残高比率を確保する必要がある。</li> <li>■ <u>営業収益が小さく、一般会計繰入金の金額が大きいと、実態を適切に表さない可能性がある。</u></li> </ul> |
| 指標の算定 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>現金預金残高÷営業収益</u></li> <li>■ <u>日常の資金繰りを確保する観点から、比率が低すぎてもいけないが、高ければ高いほどよいというものでもない</u></li> </ul>                                                                                                                                                              |



営業収益に対する資金残高の比率を 80%程度までは問題無しと見なす

## ●資金残高の確保水準

大規模地震・事故時など収入がなくても事業継続が可能な運転資金として資金残高を確保する。

資金残高(運転資金) = 維持管理費等(非常時) + 元利償還金

維持管理費等(非常時) = 非常時における動力費、薬品費、修繕費、材料費

= (営業費用 - 人件費、減価償却費、資産減耗費、事務費)

## ●運転不能となる期間

大規模地震などにより平常時の事業運営が行えない期間を 4 ヶ月とする(能登半島地震、熊本地震など近年の大規模地震復旧実績から)

## ●資金残高比率の計算

令和4年度決算書の数値より算出

維持管理費等: 98 百万円 --- (296 百万円) / 12 × 4 ヶ月)

元利償還金: 396 百万円 --- (元金 333 百万円 + 利息 63 百万円)

合計: 494 百万円

資金残高(運転資金) / 営業収益 = 494 百万円 / 681 百万円 = 73% ≒ 80%

## 7-2 財政収支見通しの検討

## 1) 基本条件の設定

将来の財政収支見通しを検討する上での各勘定項目の基本条件を以下に示します（「3-5 事業経営の見通し 2) 経常収支の見通し」における条件と同様）。

表-7.2(1) 財政シミュレーションの基本条件・設定方法

| 区 分                   |               |                                     | 計 上 項 目（ 決 算 書 ・ 予 算 書 ）            | 設 定 方 法                                                                                      |                                                     |
|-----------------------|---------------|-------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 収<br>益<br>的<br>収<br>入 | 営 業 収 益       | 給 水 収 益                             | 水道料金                                | ・ 供給単価×有収水量 ※料金改定を考慮<br>・ 有収水量は水需要予測値                                                        |                                                     |
|                       |               | そ の 他 営 業 収 益                       | その他営業収益                             | ・ R5予算値で一定                                                                                   |                                                     |
|                       | 営 業 外 収 入     | 他 会 計 負 担 金                         | 他会計負担金                              | ・ 0とする（その他営業収益へ計上）<br>・ 既存施設分＋新規施設分<br>・ 既存施設分は西海市資料<br>・ 新規施設分は国庫補助金および一般会計繰入金<br>を考慮し、計上する |                                                     |
|                       |               | 長 期 前 受 金 戻 入                       | 長期前受金戻入                             | ・ R5予算値で一定                                                                                   |                                                     |
|                       | 特 別 利 益       | 受取利息及び配当金、消費税還付金、雑収益                | 特別利益                                | ・ 0とする                                                                                       |                                                     |
| 収<br>益<br>的<br>支<br>出 | 営 業 費 用       | 人 件 費                               | 給料、職員手当等、法定福利費、賞与引当金繰入額、法定福利費引当金繰入額 |                                                                                              | ・ 損益勘定職員数×単価<br>・ 損益勘定職員数はR5予算値で一定<br>・ 単価はR5予算値で一定 |
|                       |               |                                     | 作 業 費                               | 動 力 費                                                                                        | 動力費（原水及び浄水費、配水及び給水費）                                |
|                       |               | 薬 品 費                               |                                     | 薬品費（原水及び浄水費、配水及び給水費）                                                                         | ・ 給水量に比例させて算出<br>・ 給水量は水需要予測値<br>・ 物価上昇率考慮          |
|                       |               | 修 繕 費                               |                                     | 修繕費（原水及び浄水費、配水及び給水費）                                                                         | ・ 物価上昇率考慮                                           |
|                       |               | 材 料 費                               |                                     | 材料費（原水及び浄水費、配水及び給水費）                                                                         | ・ 物価上昇率考慮                                           |
|                       |               | 委 託 料                               |                                     | 委託費（原水及び浄水費、配水及び給水費）                                                                         | ・ 物価上昇率考慮                                           |
|                       |               | 路面復旧費                               |                                     | 路面復旧費（原水及び浄水費、配水及び給水費）                                                                       | ・ 物価上昇率考慮                                           |
|                       |               | そ の 他                               |                                     | 人件費、上記作業費以外の原水及び浄水費、配水及び給水費                                                                  | ・ 3か年実績平均値で一定                                       |
|                       |               | 事 務 費                               | 人件費以外の総係費                           | ・ 3か年実績平均値で一定                                                                                |                                                     |
|                       |               | 減 価 償 却 費                           | 減価償却費                               | ・ 既存施設分＋新規施設分<br>・ 既存施設分は西海市資料<br>・ 新規施設分は工事請負費より算出                                          |                                                     |
|                       | 資 産 減 耗 費     | 資産減耗費                               | ・ 考慮していない                           |                                                                                              |                                                     |
|                       | そ の 他 営 業 費 用 | その他営業費用                             | ・ R5予算値で一定                          |                                                                                              |                                                     |
|                       | 営 業 外 費       | 支 払 利 息                             | 支払利息及び企業債取扱諸費                       | ・ 旧債分＋新規債分<br>・ 旧債分は西海市資料<br>・ 新規債分は償還計算より<br>年数：30年（5年据置）<br>利率：2％                          |                                                     |
|                       |               | そ の 他 営 業 外 費 用                     | 雑支出                                 | ・ 3か年実績平均値で一定                                                                                |                                                     |
|                       | 特 別 損 失       | 特別損失                                | 特別損失                                | ・ 3か年実績平均値で一定                                                                                |                                                     |
| 資<br>本<br>的<br>収<br>入 | 企 業 債         |                                     | 企業債                                 | ・ 工事請負費×起債率<br>・ 起債率：80％                                                                     |                                                     |
|                       | 国 庫 補 助 金     |                                     | 国庫補助金                               | ・ 簡易水道：建設改良費の25％を見込む                                                                         |                                                     |
|                       | 他 会 計 負 担 金   |                                     | 他会計負担金                              | ・ 0とする                                                                                       |                                                     |
|                       | 他 会 計 出 資 金   |                                     | 一般会計繰入金                             | ・ 簡易水道 新規：企業債償還金の55％<br>・ 簡易水道 従来：企業債償還金の55％                                                 |                                                     |
|                       | そ の 他         |                                     |                                     | ・ 0とする                                                                                       |                                                     |
| 資<br>本<br>的<br>支<br>出 | 建 設 改 良 費     |                                     | —                                   | —                                                                                            |                                                     |
|                       | 人 件 費         | 給料、職員手当等、賞与引当金繰入額、法定福利費、法定福利費引当金繰入額 |                                     | ・ 職員数および単価はR5予算値で一定                                                                          |                                                     |
|                       |               | 委 託 費                               | 調査設計委託費・事務費                         |                                                                                              | ・ 工事請負費の7％                                          |
|                       | 工 事 請 負 費     |                                     | 施設整備費                               | ・ 事業計画に基づく施設整備費（約6.5億円／年）を計上                                                                 |                                                     |
|                       | メ ー タ ー 購 入 費 |                                     | メーター費                               | ・ R5予算値で一定                                                                                   |                                                     |
|                       | そ の 他         |                                     | 人件費、工事請負費以外の水道施設整備費、固定資産購入費         | ・ 0とする                                                                                       |                                                     |
| 出                     | 企 業 債 償 還 金   |                                     | 元金償還金                               | ・ 旧債分＋新規債分<br>・ 旧債分は西海市資料<br>・ 新規債分は償還計算より<br>年数：30年（5年据置）<br>利率：2％                          |                                                     |
|                       | そ の 他         |                                     | —                                   | —                                                                                            |                                                     |

## 2) 経営改善方策による財政収支見通し

「7-1 経営改善の方向性」における経営改善方策、「7-2 財政収支見通しの検討」における勘定項目の基本条件に基づき、投資計画で掲げた事業を実施した場合の財政収支見通しの結果を指標値毎に整理します。

なお、財政収支見通しの結果は経営改善方策適用前・後の2ケースを以下の指標値により評価します。

表-7.2(2) 財政シミュレーションの基本条件・設定方法

| 事業区分                | 評価指標                                                                                                    |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 上水道事業<br>(簡易水道事業含む) | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 当年度純損益</li> <li>● 供給単価、料金回収率</li> <li>● 営業収益対資金残高比率</li> </ul> |

## ●経営改善方策の考え方

本経営戦略における経営改善方策として「料金改定」による方法を採用します。

以下に「3-5 事業経営の見通し」に示した問題点とその経営改善方策実施の効果について示します。

- ①収益的収支（当年度純損益）の赤字継続に伴う、累積欠損金（＝繰越利益剰余金）の増加傾向があること。

→ 収益収支の黒字化による累積欠損金の増加抑制

- ②上記に対する補填財源としての資金残高（内部留保資金）が事業期間後期（令和 11 年度）に所定の確保水準を下回り、事業期間終期（令和 13 年度）には枯渇し、事業の継続が不可能となること。

→ 一定水準以上の資金残高の確保

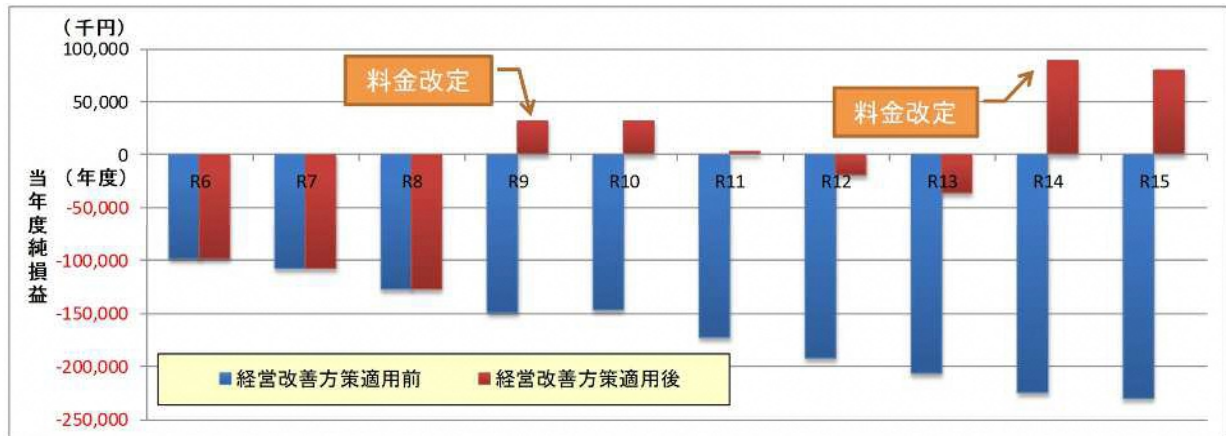
また、料金改定の方針は、給水原価の上昇を見ながら、供給単価との極端な乖離を避け一定以上の料金回収率（供給単価／給水原価：1 以上が良好）を確保するものとし、以下の通り設定しました。

|            |                      |
|------------|----------------------|
| 料金改定時期（初回） | ： 令和 9 年度（現経営戦略と同時期） |
| 料金改定間隔     | ： 5 年間               |
| 料金改定率      | ： 130%以内             |

## (1) 上水道事業

## ① 当年度純損益

当年度純損益の推移を以下に示します。経営改善方策として料金改定により収益を確保し、当年度収支を均衡させ、安定した経営を目指します。

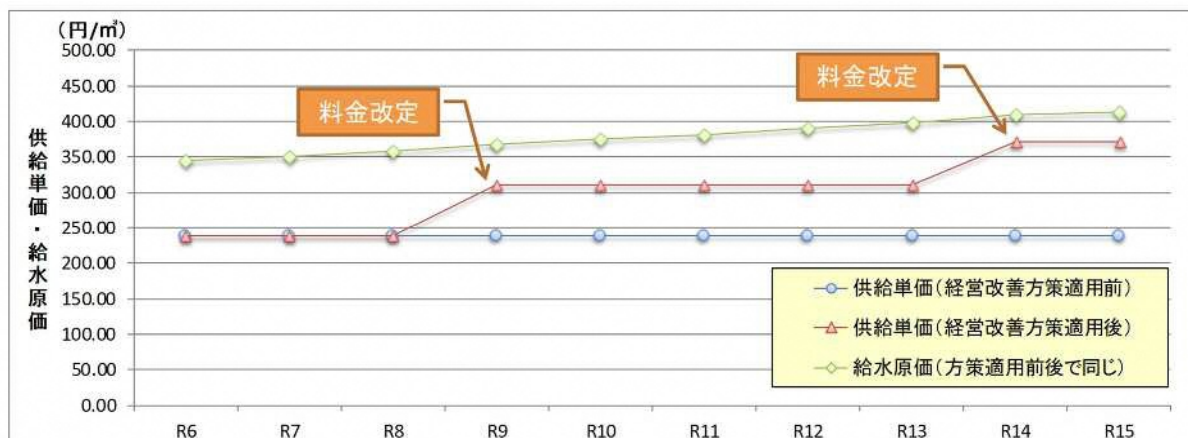


| 当年度純損益 |  | 単位:千円   |          |          |          |          |          |          |          |          |          |
|--------|--|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 経営改善方策 |  | R6      | R7       | R8       | R9       | R10      | R11      | R12      | R13      | R14      | R15      |
|        |  | 2024    | 2025     | 2026     | 2027     | 2028     | 2029     | 2030     | 2031     | 2032     | 2033     |
| 適用前    |  | -97,919 | -107,099 | -126,883 | -149,528 | -146,329 | -172,345 | -191,876 | -206,606 | -224,540 | -229,492 |
| 適用後    |  | -97,919 | -107,099 | -126,883 | 31,660   | 31,881   | 3,331    | -18,709  | -35,348  | 89,719   | 80,378   |

図-7.2(1) 経営改善方策適用前後の財政収支見通し検討結果（当年度純損益）

## ②供給単価・給水原価・料金回収率

経営改善方策適用後の供給単価は、料金改定により、現行の 238.6 円/m<sup>3</sup> から令和 9 年度に約 72 円/m<sup>3</sup>（30%UP）の料金値上げ、令和 14 年度に約 62 円/m<sup>3</sup>（20%UP）の料金値上げにより給水収益も増収の見通しとなります。

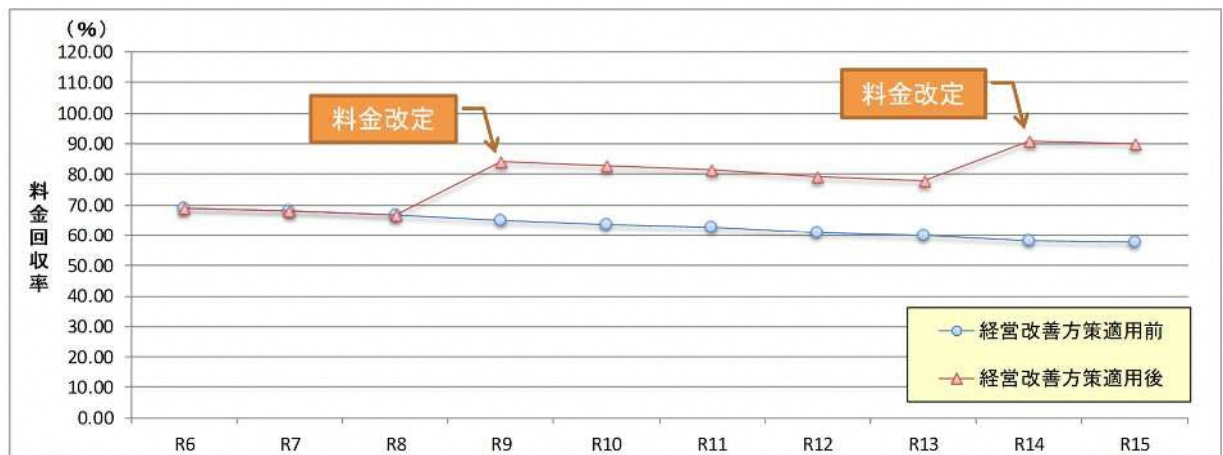


| 供給単価   | 単位:円/㎡     |            |            |            |             |             |             |             |             |             |
|--------|------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 経営改善方策 | R6<br>2024 | R7<br>2025 | R8<br>2026 | R9<br>2027 | R10<br>2028 | R11<br>2029 | R12<br>2030 | R13<br>2031 | R14<br>2032 | R15<br>2033 |
| 適 用 前  | 238.59     | 238.59     | 238.59     | 238.59     | 238.59      | 238.59      | 238.59      | 238.59      | 238.59      | 238.59      |
| 適 用 後  | 238.59     | 238.59     | 238.59     | 310.17     | 310.17      | 310.17      | 310.17      | 310.17      | 372.20      | 372.20      |

| 給水原価   |        | 単位: 円／m³ |        |        |        |        |        |        |        |        |
|--------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 経営改善方策 | R6     | R7       | R8     | R9     | R10    | R11    | R12    | R13    | R14    | R15    |
|        | 2024   | 2025     | 2026   | 2027   | 2028   | 2029   | 2030   | 2031   | 2032   | 2033   |
| 適 用 前  | 345.38 | 349.96   | 358.83 | 368.69 | 374.94 | 381.23 | 391.18 | 398.43 | 408.71 | 413.05 |
| 適 用 後  | 345.38 | 349.96   | 358.83 | 368.69 | 374.94 | 381.23 | 391.18 | 398.43 | 408.71 | 413.05 |

図-7.2(2) 経営改善方策適用前後の財政収支見通し検討結果（供給単価・給水原価）

経営改善方策適用後の料金回収率（＝供給単価÷給水原価）について、供給単価は適用前に比べて上昇、給水原価は適用前と同様であるため、比率は料金改定時に上昇します。しかしながら、100%未満のままで推移するとともに、事業実施に伴う減価償却費の増加、企業債借り入れに伴う支払利息の増加などにより給水原価は増加していくため、料金回収率は徐々に低下していきます。給水原価の上昇傾向を予想しながら、適正な供給単価を設定し、一定の回収率を維持していくことで安定経営につながります。

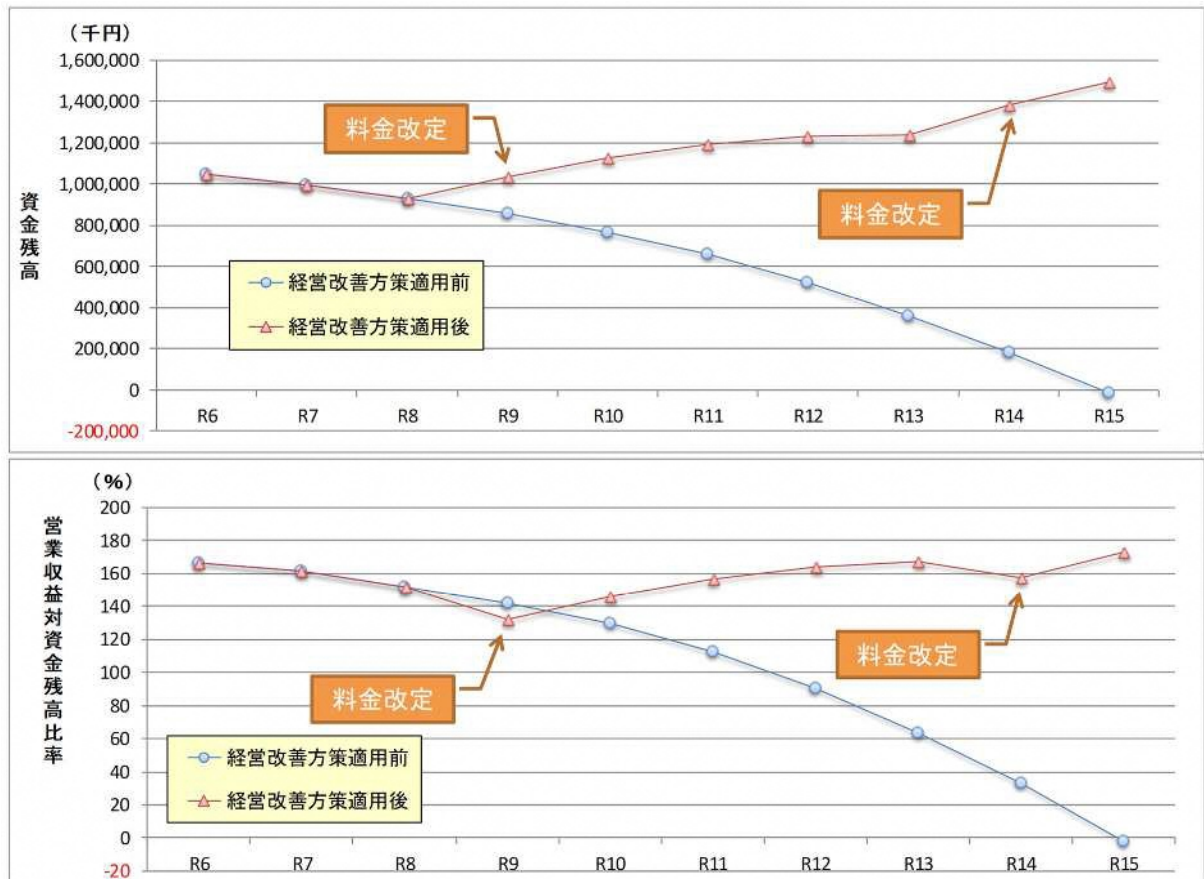


| 料金回収率  | 単位: % |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 経営改善方策 | R6    | R7    | R8    | R9    | R10   | R11   | R12   | R13   | R14   | R15   |
|        | 2024  | 2025  | 2026  | 2027  | 2028  | 2029  | 2030  | 2031  | 2032  | 2033  |
| 適 用 前  | 69.08 | 68.18 | 66.49 | 64.71 | 63.63 | 62.58 | 60.99 | 59.88 | 58.38 | 57.76 |
| 適 用 後  | 69.08 | 68.18 | 66.49 | 84.13 | 82.73 | 81.36 | 79.29 | 77.85 | 91.07 | 90.11 |

図-7.2(3) 経営改善方策適用前後の財政収支見通し検討結果(料金回収率)

## ③資金残高（営業収益対資金残高比率）

経営改善方策適用後の資金残高は、料金改定を令和9年度に実施することで、投資計画に基づく必要な事業を実施しながら、表-7.1（3） 資金残高の確保水準の設定で示した営業収益対資金残高比率を維持した状態で一定の資金を確保することが可能です。これにより、持続的な事業運営が可能となります。



| 資金残高   |  | 単位:千円      |            |            |            |             |             |             |             |             |             |
|--------|--|------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 経営改善方策 |  | R6<br>2024 | R7<br>2025 | R8<br>2026 | R9<br>2027 | R10<br>2028 | R11<br>2029 | R12<br>2030 | R13<br>2031 | R14<br>2032 | R15<br>2033 |
| 適用前    |  | 1,046,166  | 998,567    | 928,745    | 856,285    | 768,330     | 659,861     | 523,807     | 362,501     | 186,249     | -10,341     |
| 適用後    |  | 1,046,166  | 998,567    | 928,745    | 1,037,473  | 1,127,728   | 1,194,935   | 1,232,048   | 1,242,000   | 1,380,007   | 1,493,287   |

| 営業収益対<br>資金残高比率 |  | 単位:%       |            |            |            |             |             |             |             |             |             |
|-----------------|--|------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 経営改善方策          |  | R6<br>2024 | R7<br>2025 | R8<br>2026 | R9<br>2027 | R10<br>2028 | R11<br>2029 | R12<br>2030 | R13<br>2031 | R14<br>2032 | R15<br>2033 |
| 適用前             |  | 166.59     | 161.27     | 152.05     | 141.78     | 129.35      | 112.69      | 90.75       | 63.50       | 33.19       | -1.87       |
| 適用後             |  | 166.59     | 161.27     | 152.05     | 132.14     | 146.04      | 156.97      | 164.19      | 167.36      | 157.64      | 172.99      |

図-7.2(4) 経営改善方策適用前後の財政収支見通し検討結果（資金残高）



## 第8章 投資・財政計画のまとめ

これまでに検討した上水道事業と簡易水道事業の投資計画及び財政計画について、本経営戦略の計画期間 10 年間（令和 6 年度～令和 15 年度）における収支見通しを営業に関わる活動の収支を表す損益取引（収益的収支）と、営業活動以外における資本の増減の収支を表す資本取引（資本的収支）に分けて次頁より示します。



| 【収益的収支計算表】       |           |                  | 実績← 予算 →計画  |                |             |              |              |             |             |             |             |             |             |               | (単位：円、消費税抜)          |             |                        |
|------------------|-----------|------------------|-------------|----------------|-------------|--------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------------|----------------------|-------------|------------------------|
| 区 分              |           |                  | R4          | R5             | R6          | R7           | R8           | R9          | R10         | R11         | R12         | R13         | R14         | R15           | 備考                   |             |                        |
| 水道事業収益           | 営業収益      | 給水収益：上水道 円       | 651,003,791 | 688,443,000    | 627,972,000 | 619,177,000  | 610,817,000  | 785,120,000 | 772,219,000 | 761,238,000 | 750,369,000 | 742,095,000 | 875,437,000 | 863,210,000   | 有収水量×供給単価            |             |                        |
|                  |           | 給水収益：簡易水道 円      | 0           | －              | －           | －            | －            | －           | －           | －           | －           | －           | －           | －             | 0とする（R2年会計統合済）       |             |                        |
|                  |           | 有収水量 m³/日        | 7,475       | 7,310          | 7,211       | 7,110        | 7,014        | 6,916       | 6,821       | 6,724       | 6,628       | 6,537       | 6,444       | 6,354         |                      |             |                        |
|                  |           | 供給単価 円/m³        | 238.59      | 238.59         | 238.59      | 238.59       | 238.59       | 310.17      | 310.17      | 310.17      | 310.17      | 310.17      | 372.20      | 372.20        |                      |             |                        |
|                  |           | 改定率 %            | －           | 100.0%         | 100.0%      | 100.0%       | 100.0%       | 130.0%      | 100.0%      | 100.0%      | 100.0%      | 100.0%      | 120.0%      | 100.0%        |                      |             |                        |
|                  |           | 受託工事収益 円         | 0           | 0              | 0           | 0            | 0            | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0             | 0とする                 |             |                        |
|                  | その他営業収益 円 | 30,644,266       | 29,552,000  | 29,552,000     | 29,552,000  | 29,552,000   | 29,552,000   | 29,552,000  | 29,552,000  | 29,552,000  | 29,552,000  | 29,552,000  | 29,552,000  |               |                      |             |                        |
|                  | 小計 円      | 681,648,057      | 717,995,000 | 657,524,000    | 648,729,000 | 640,369,000  | 814,672,000  | 801,771,000 | 790,790,000 | 779,921,000 | 771,647,000 | 904,989,000 | 892,762,000 | 上記合計          |                      |             |                        |
|                  | 営業外収益     | 受取利息 円           | 12,342      | 10,000         | 10,000      | 10,000       | 10,000       | 10,000      | 10,000      | 10,000      | 10,000      | 10,000      | 10,000      | 10,000        | 予算値                  |             |                        |
|                  |           | 他会計負担金 円         |             | 0              | 0           | 0            | 0            | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0             | 0とする（R5よりその他営業収益へ計上） |             |                        |
|                  |           | 長期前受金戻入：既存 円     | 63,273,409  | 57,886,000     | 19,594,715  | 18,140,997   | 16,639,332   | 15,569,211  | 14,104,314  | 13,361,356  | 13,360,998  | 13,249,087  | 13,218,094  | 13,218,094    | 西海市算定                |             |                        |
|                  |           | 長期前受金戻入：既存(簡水) 円 | －           | －              | 32,829,719  | 31,600,914   | 30,616,054   | 29,454,358  | 28,693,221  | 27,409,999  | 27,132,112  | 27,096,339  | 26,859,336  | 26,398,498    | 西海市算定                |             |                        |
|                  |           | 長期前受金戻入：既存(離島) 円 | －           | －              | 1,602,282   | 1,602,282    | 1,602,282    | 1,602,282   | 15,722,187  | 1,602,282   | 1,424,260   | 0           | 0           | 0             | 西海市算定                |             |                        |
|                  |           | 長期前受金戻入：新規 円     | －           | －              | 0           | 254,000      | 3,115,000    | 4,422,000   | 6,990,000   | 9,263,000   | 12,409,000  | 14,374,000  | 14,374,000  | 14,374,000    | 長期前受金戻入計算表           |             |                        |
|                  |           | 他会計補助金 円         | 134,649,000 | 119,640,000    | 119,640,000 | 119,640,000  | 119,640,000  | 119,640,000 | 119,640,000 | 119,640,000 | 119,640,000 | 119,640,000 | 119,640,000 | 119,640,000   | 予算値で一定               |             |                        |
|                  |           | その他営業外収益 円       | 276,334     | 26,000         | 26,000      | 26,000       | 26,000       | 26,000      | 26,000      | 26,000      | 26,000      | 26,000      | 26,000      | 26,000        | 予算値で一定               |             |                        |
|                  |           | 小計 円             | 198,211,085 | 177,562,000    | 173,702,716 | 171,274,193  | 171,648,668  | 170,723,851 | 185,185,722 | 171,312,637 | 174,002,370 | 174,395,426 | 174,127,430 | 173,666,592   | 上記合計                 |             |                        |
|                  | 特別利益      | 特別利益 円           | 0           | 4,000          | 0           | 0            | 0            | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0             | 0とする                 |             |                        |
|                  |           | 小計 円             | 0           | 4,000          | 0           | 0            | 0            | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0             | 上記合計                 |             |                        |
|                  | 合計 円      |                  |             | 879,859,142    | 895,561,000 | 831,226,716  | 820,003,193  | 812,017,668 | 985,395,851 | 986,956,722 | 962,102,637 | 953,923,370 | 946,042,426 | 1,079,116,430 | 1,066,428,592        | 上記合計        |                        |
|                  | 収益的収支     | 水道事業費用           | 営業費用        | 人件費（※簡易水道含む） 円 | 115,199,467 | 108,183,000  | 108,183,000  | 108,183,000 | 108,183,000 | 108,183,000 | 108,183,000 | 108,183,000 | 108,183,000 | 108,183,000   | 108,183,000          | 職員数、単価一定    |                        |
|                  |           |                  |             | 動力費（ " ） 円     | 82,809,339  | 113,148,000  | 80,836,423   | 80,177,642  | 79,564,803  | 79,126,891  | 78,283,809  | 77,615,454  | 76,942,860  | 76,536,747    | 75,664,549           | 75,033,542  | R04年実績値×物価率(設備材料)×需要率  |
|                  |           |                  |             | 薬品費（ " ） 円     | 7,093,609   | 13,793,000   | 6,924,605    | 6,868,173   | 6,815,676   | 6,778,163   | 6,705,943   | 6,648,691   | 6,591,075   | 6,556,287     | 6,481,572            | 6,427,519   | R04年実績値×物価率(設備材料)×需要率  |
|                  |           |                  |             | 修繕費（ " ） 円     | 54,943,234  | 85,343,000   | 55,602,553   | 55,932,212  | 56,261,872  | 56,591,531  | 56,921,190  | 57,250,850  | 57,580,509  | 57,910,169    | 58,239,828           | 58,569,487  | R04年実績値×物価率(設備材料)      |
|                  |           |                  |             | 材料費（ " ） 円     | 11,483,013  | 14,850,000   | 11,620,809   | 11,689,707  | 11,758,605  | 11,827,503  | 11,896,401  | 11,965,300  | 12,034,198  | 12,103,096    | 12,171,994           | 12,240,892  | R04年実績値×物価率(設備材料)      |
|                  |           |                  |             | 委託料（ " ） 円     | 128,129,028 | 200,282,000  | 138,891,866  | 144,273,286 | 149,654,705 | 155,036,124 | 160,417,543 | 165,798,962 | 171,180,381 | 176,561,801   | 181,943,220          | 187,324,639 | R04年実績値×物価率(工事その他サービス) |
|                  |           |                  |             | 路面復旧費（ " ） 円   | 990,450     | 3,850,000    | 1,073,648    | 1,115,247   | 1,156,846   | 1,198,445   | 1,240,043   | 1,281,642   | 1,323,241   | 1,364,840     | 1,406,439            | 1,448,038   | R04年実績値×物価率(工事その他サービス) |
|                  |           |                  |             | その他（ " ） 円     | 11,100,183  | 21,157,000   | 10,619,892   | 10,619,892  | 10,619,892  | 10,619,892  | 10,619,892  | 10,619,892  | 10,619,892  | 10,619,892    | 10,619,892           | 10,619,892  | 実績値平均で横ばい              |
|                  |           |                  |             | 事務費（ " ） 円     | 5,697,457   | 11,655,000   | 6,842,603    | 6,842,603   | 6,842,603   | 6,842,603   | 6,842,603   | 6,842,603   | 6,842,603   | 6,842,603     | 6,842,603            | 6,842,603   | 実績値平均で横ばい              |
| 有形減価償却費：既存 円     |           |                  |             | 407,523,434    | 392,844,000 | 151,897,125  | 144,244,177  | 135,662,997 | 129,333,331 | 119,279,909 | 112,081,668 | 108,284,398 | 104,280,913 | 100,179,905   | 88,333,420           | 西海市算定       |                        |
| 有形減価償却費：既存(簡水) 円 |           |                  |             | －              | －           | 199,707,814  | 181,926,525  | 172,455,498 | 165,128,245 | 154,507,419 | 146,295,047 | 145,111,715 | 141,610,327 | 133,584,407   | 126,595,562          | 西海市算定       |                        |
| 有形減価償却費：既存(離島) 円 |           |                  |             | －              | －           | 19,778,676   | 18,868,532   | 17,929,603  | 16,511,873  | 15,722,187  | 15,271,677  | 14,008,604  | 9,885,332   | 9,101,601     | 8,075,940            | 西海市算定       |                        |
| 無形減価償却費：既存 円     |           |                  |             | 402,637        | 403,000     | 403,000      | 403,000      | 403,000     | 403,000     | 403,000     | 403,000     | 403,000     | 403,000     | 403,000       | 403,000              | R5年度数値で横ばい  |                        |
| 減価償却費：新規 円       |           |                  |             | －              |             | 7,766,000    | 24,444,000   | 47,305,000  | 70,004,000  | 84,209,000  | 95,099,000  | 105,612,000 | 115,990,000 | 126,622,000   | 137,364,000          | 減価償却費計算表    |                        |
| 固定資産除却費 円        |           |                  |             | 12,873,572     | 5,500,000   | 25,216,599   | 23,317,161   | 21,823,507  | 20,095,027  | 20,681,990  | 21,013,564  | 20,951,796  | 20,135,556  | 20,101,881    | 19,815,604           | 建設投資額に比例    |                        |
| たな卸資産減耗費 円       |           |                  |             | 0              | 2,000       | 0            | 0            | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0             | 0                    | 建設投資額に比例    |                        |
| 雑費 円             |           |                  |             |                | 4,000       | 4,000        | 4,000        | 4,000       | 4,000       | 4,000       | 4,000       | 4,000       | 4,000       | 4,000         | 4,000                |             |                        |
| 小計 円             |           |                  |             | 838,245,423    | 971,014,000 | 825,368,613  | 818,909,156  | 826,441,607 | 837,683,628 | 835,917,928 | 836,374,350 | 845,673,271 | 848,987,563 | 851,549,890   | 847,281,137          | 上記合計        |                        |
| 営業外費用            |           | 支払利息：既存 円        | 63,316,737  | 62,630,000     | 26,925,510  | 25,598,319   | 24,253,859   | 22,890,829  | 21,527,638  | 20,198,292  | 18,879,367  | 17,595,101  | 16,349,933  | 15,159,038    | 西海市算定                |             |                        |
|                  |           | 支払利息：既存(簡水) 円    | －           | －              | 24,678,635  | 21,347,511   | 18,412,893   | 15,944,577  | 13,639,994  | 11,518,817  | 9,631,015   | 8,013,785   | 6,709,157   | 5,672,473     | 西海市算定                |             |                        |
|                  |           | 支払利息：新規 円        | －           | －              | 15,058,000  | 23,498,000   | 31,514,000   | 37,973,000  | 43,364,000  | 48,712,000  | 55,964,000  | 64,351,000  | 72,410,000  | 75,659,000    | 企業償還還計算表             |             |                        |
|                  |           | 支払利息：新規(簡水) 円    |             |                | 608,000     | 1,242,000    | 1,771,000    | 2,737,000   | 4,119,000   | 5,461,000   | 5,978,000   | 5,936,000   | 5,871,000   | 5,772,000     |                      |             |                        |
|                  |           | その他 円            | 19,819,768  | 36,002,000     | 36,002,000  | 36,002,000   | 36,002,000   | 36,002,000  | 36,002,000  | 36,002,000  | 36,002,000  | 36,002,000  | 36,002,000  | 36,002,000    | R2～R4平均値で横ばい         |             |                        |
|                  |           | 小計 円             | 83,136,505  | 98,632,000     | 103,272,145 | 107,687,830  | 111,953,752  | 115,547,406 | 118,652,632 | 121,892,109 | 126,454,382 | 131,897,886 | 137,342,090 | 138,264,511   | 上記合計                 |             |                        |
| 特別損失             |           | 特別損失 円           | 126,437     | 505,000        | 505,000     | 505,000      | 505,000      | 505,000     | 505,000     | 505,000     | 505,000     | 505,000     | 505,000     | 505,000       | R2～R4平均値で横ばい         |             |                        |
|                  |           | 小計 円             | 126,437     | 505,000        | 505,000     | 505,000      | 505,000      | 505,000     | 505,000     | 505,000     | 505,000     | 505,000     | 505,000     | 505,000       | 上記合計                 |             |                        |
| 予備費              |           |                  | 4,500,000   |                |             |              |              |             |             |             |             |             |             |               |                      |             |                        |
| 合計 円             |           |                  | 921,508,365 | 1,074,651,000  | 929,145,758 | 927,101,986  | 938,900,359  | 953,736,034 | 955,075,560 | 958,771,459 | 972,632,653 | 981,390,449 | 989,396,980 | 986,050,648   | 上記合計                 |             |                        |
| 収益的収支差額 円        |           |                  | -41,649,223 | -179,090,000   | -97,919,042 | -107,098,793 | -126,882,691 | 31,659,817  | 31,881,162  | 3,331,178   | -18,709,283 | -35,348,023 | 89,719,450  | 80,377,944    | 収入-支出                |             |                        |



【資本的収支計算表】

実績← 予算 →計画

(単位：円、消費税込)

| 区 分   |          |               | R4           | R5            | R6            | R7            | R8            | R9            | R10           | R11           | R12           | R13           | R14           | R15           | 備考            |                |  |
|-------|----------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|--|
| 資本的収支 | 資本的収入    | 企業債           | 円            | 325,900,000   | 552,400,000   | 565,639,900   | 435,246,900   | 472,170,600   | 382,345,700   | 360,179,630   | 321,566,285   | 372,991,045   | 460,286,475   | 459,516,667   | 452,972,552   |                |  |
|       |          | 国庫補助金         |              |               |               | 5,092,500     | 46,117,500    | 12,595,000    | 36,327,500    | 53,112,250    | 74,901,375    | 49,978,375    | 0             | 0             | 0             |                |  |
|       |          | 他会計負担金        | 円            | 2,270,400     | 2,421,000     |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |                |  |
|       |          | 他会計補助金（繰入）過去  | 円            | 177,719,000   | 132,017,000   | 110,306,607   | 105,169,982   | 96,192,270    | 87,946,301    | 76,747,428    | 65,737,581    | 55,585,677    | 43,784,480    | 34,513,697    | 31,442,233    | 企業債償還金（簡水）×繰出率 |  |
|       |          | 他会計補助金（繰入）新規  |              |               |               | 6,722,100     | 60,875,100    | 16,625,400    | 47,952,300    | 70,108,170    | 98,869,815    | 65,971,455    | 0             | 0             | 0             | 新規分            |  |
|       | その他      | 円             |              | (1,000)       |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |                |  |
|       | 合計       | 円             | 505,889,400  | 686,839,000   | 687,761,107   | 647,409,482   | 597,583,270   | 554,571,801   | 560,147,478   | 561,075,056   | 544,526,552   | 504,070,954   | 494,030,364   | 484,414,785   | 上記合計          |                |  |
|       | 資本的支出    | 建設改良費         | 円            | 454,892,273   | 810,452,000   | 749,745,000   | 695,470,000   | 652,790,000   | 603,400,000   | 620,172,000   | 629,646,500   | 627,881,500   | 604,558,093   | 603,595,833   | 595,415,690   |                |  |
|       |          | （うち人件費）       | 円            | 21,226,337    | 22,771,000    | 22,771,000    | 22,771,000    | 22,771,000    | 22,771,000    | 22,771,000    | 22,771,000    | 22,771,000    | 22,771,000    | 22,771,000    | 22,771,000    | 職員数、単価一定       |  |
|       |          | （うち委託料）       | 円            | (60,980,910)  | 106,446,000   |               |               |               | 工事請負費に含む      |               |               |               |               |               |               |                |  |
|       |          | （うち工事請負費）     | 円            | (367,852,454) | 671,174,000   | 720,545,000   | 666,270,000   | 623,590,000   | 574,200,000   | 590,972,000   | 600,446,500   | 598,681,500   | 575,358,093   | 574,395,833   | 566,215,690   | 建設改良年次計画       |  |
|       |          | メータ等購入費       | 円            | (4,653,813)   | 6,429,000     | 6,429,000     | 6,429,000     | 6,429,000     | 6,429,000     | 6,429,000     | 6,429,000     | 6,429,000     | 6,429,000     | 6,429,000     | 6,429,000     |                |  |
|       |          | （うちその他）       | 円            | (178,759)     | 3,632,000     | -             | -             | -             | -             | -             | -             | -             | -             | -             | -             | 0とする           |  |
|       |          | 企業債償還金：既存     | 円            | 333,260,650   | 325,348,000   | 95,713,325    | 106,051,177   | 115,789,451   | 119,483,432   | 118,914,434   | 119,197,568   | 117,641,149   | 113,797,336   | 103,807,063   | 101,697,600   | 西海市予算より        |  |
|       |          | 企業債償還金：既存（簡水） | 円            | -             | -             | 200,557,468   | 191,218,149   | 174,895,036   | 159,902,365   | 139,540,778   | 119,522,875   | 101,064,867   | 79,608,145    | 62,752,177    | 57,167,697    | 西海市予算より        |  |
|       |          | 企業債償還金：新規     | 円            | -             | -             | 0             | 0             | 0             | 0             | 8,733,000     | 23,650,000    | 37,284,000    | 50,532,000    | 61,619,000    | 71,330,000    | 企業債償還計算表       |  |
|       |          | 企業債償還金：新規（簡水） |              |               |               | 0             | 0             | 0             | 0             | 86,000        | 950,000       | 1,958,000     | 2,821,000     | 4,383,000     | 6,627,000     | 企業債償還計算表       |  |
|       |          | その他資本的支出      | 円            | 0             | 1,000         | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0とする           |  |
|       |          | （仮払い消費税）      | 円            | (43,409,334)  | (73,677,455)  | (68,158,636)  | (63,224,545)  | (59,344,545)  | (54,854,545)  | (56,379,273)  | (57,240,591)  | (57,080,136)  | (54,959,826)  | (54,872,348)  | (54,128,699)  | 建設改良費より算定      |  |
|       |          |               |              | (333,260,650) | (325,348,000) | (296,270,793) | (297,269,326) | (290,684,487) | (279,385,797) | (267,274,212) | (263,320,443) | (257,948,016) | (246,758,481) | (232,561,240) | (236,822,297) |                |  |
|       |          | 予備費           |              |               | 6,000,000     |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |                |  |
|       | 合計       | 円             | 788,152,923  | 1,141,801,000 | 1,046,015,793 | 992,739,326   | 943,474,487   | 882,785,797   | 887,446,212   | 892,966,943   | 885,829,516   | 851,316,574   | 836,157,073   | 832,237,987   | 上記合計          |                |  |
|       | 資本的収支差額  | 円             | -282,263,523 | -454,962,000  | -358,254,686  | -345,329,844  | -345,891,217  | -328,213,996  | -327,298,734  | -331,891,887  | -341,302,964  | -347,245,620  | -342,126,709  | -347,823,202  | 収入-支出         |                |  |
| 補てん財源 | 減債積立金    | 円             |              | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0とする          |                |  |
|       | 建設改良積立金  | 円             | 0            | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0とする          |                |  |
|       | 消費税調整額   | 円             | 43,409,334   | 73,676,455    | 68,158,636    | 63,224,545    | 59,344,545    | 54,854,545    | 56,379,273    | 57,240,591    | 57,080,136    | 54,959,826    | 54,872,348    | 54,128,699    | 仮払消費税－仮受消費税   |                |  |
|       | 損益勘定留保資金 | 円             | 238,854,189  | 381,285,545   | 290,096,050   | 282,105,299   | 286,546,672   | 273,359,451   | 270,919,461   | 274,651,296   | 284,222,828   | 292,285,794   | 287,254,361   | 293,694,503   | 不足額－上記補填財源    |                |  |
|       | 補てん財源合計  | 円             | 282,263,523  | 454,962,000   | 358,254,686   | 345,329,844   | 345,891,217   | 328,213,996   | 327,298,734   | 331,891,887   | 341,302,964   | 347,245,620   | 342,126,709   | 347,823,202   | 不足額           |                |  |

【資金残高計算表】

実績← 予算 →計画

(単位：円)

| 区 分                    |                        |             | R4            | R5            | R6            | R7            | R8            | R9             | R10            | R11            | R12           | R13           | R14            | R15            | 備考             |              |
|------------------------|------------------------|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|----------------|----------------|---------------|---------------|----------------|----------------|----------------|--------------|
| 利益剰余金                  | 利益<br>余<br>剰<br>余<br>金 | 当年度純利益      | 円             | -41,649,223   | -179,090,000  | -97,919,042   | -107,098,793  | -126,882,691   | 31,659,817     | 31,881,162     | 3,331,178     | -18,709,283   | -35,348,023    | 89,719,450     | 80,377,944     | 当年度純利益       |
|                        |                        | 減債積立金へ      | 円             |               | 0             | 0             | 0             | 0              | 0              | 0              | 0             | 0             | 0              | 0              | 0              | 0とする         |
|                        |                        | 建設改良積立金へ    | 円             |               | 0             | 0             | 0             | 0              | 0              | 0              | 0             | 0             | 0              | 0              | 0              | 0とする         |
|                        |                        | 企業債の償還      |               |               | 0             | 0             | 0             | 0              | 0              | 0              | 0             | 0             | 0              | 0              | 0              | 0とする         |
|                        |                        | 自己資金へ組入     |               |               | 0             | 0             | 0             | 0              | 0              | 0              | 0             | 0             | 0              | 0              | 0              | 0とする         |
|                        |                        | 前年度未処分利益剰余金 | 円             | -482,709,120  | -524,358,343  | -703,448,343  | -801,367,385  | -908,466,178   | -1,035,348,870 | -1,003,689,052 | -971,807,890  | -968,476,713  | -987,185,996   | -1,022,534,019 | -932,814,569   | 前年度未処分利益剰余金  |
|                        | 積<br>立<br>金            | 利益剰余金       | 円             | -524,358,343  | -703,448,343  | -801,367,385  | -908,466,178  | -1,035,348,870 | -1,003,689,052 | -971,807,890   | -968,476,713  | -987,185,996  | -1,022,534,019 | -932,814,569   | -852,436,626   | 上記合計         |
|                        |                        | 減債積立金       | 円             | 123,636,310   | 123,636,310   | 123,636,310   | 123,636,310   | 123,636,310    | 123,636,310    | 123,636,310    | 123,636,310   | 123,636,310   | 123,636,310    | 123,636,310    | 123,636,310    | 年度額－補填額      |
|                        |                        | 建設改良積立金     | 円             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0              | 0              | 0              | 0             | 0             | 0              | 0              | 0              | 年度額－補填額      |
|                        |                        | 積立金         | 円             | 123,636,310   | 123,636,310   | 123,636,310   | 123,636,310   | 123,636,310    | 123,636,310    | 123,636,310    | 123,636,310   | 123,636,310   | 123,636,310    | 123,636,310    | 123,636,310    | 上記合計         |
| 内部<br>留<br>保<br>資<br>金 | 利益剰余金 合計               |             | 円             | -400,722,033  | -579,812,033  | -677,731,075  | -784,829,868  | -911,712,560   | -880,052,742   | -848,171,580   | -844,840,403  | -863,549,686  | -898,897,709   | -809,178,259   | -728,800,316   | 利益剰余金＋積立金    |
|                        | 減価償却費等                 | 円           | 357,526,234   | 340,863,000   | 350,742,498   | 341,605,202   | 343,606,937   | 350,427,625    | 329,293,783    | 338,527,319    | 340,045,143   | 337,585,702   | 335,541,364    | 326,596,934    | 減価償却費等－長期前受金戻入 |              |
|                        | 取り崩し額                  | 円           | -238,854,189  | -381,285,545  | -290,096,050  | -282,105,299  | -286,546,672  | -273,359,451   | -270,919,461   | -274,651,296   | -284,222,828  | -292,285,794  | -287,254,361   | -293,694,503   | 4条収支不足補填額      |              |
|                        | 過年度留保資金                | 円           | 1,585,001,157 | 1,703,673,202 | 1,663,250,657 | 1,723,897,106 | 1,783,397,008 | 1,840,457,274  | 1,917,525,448  | 1,975,899,769  | 2,039,775,793 | 2,095,598,107 | 2,140,898,016  | 2,189,185,018  | 過年度留保資金        |              |
|                        | 損益勘定留保資金 合計            |             | 円             | 1,703,673,202 | 1,663,250,657 | 1,723,897,106 | 1,783,397,008 | 1,840,457,274  | 1,917,525,448  | 1,975,899,769  | 2,039,775,793 | 2,095,598,107 | 2,140,898,016  | 2,189,185,018  | 2,222,087,450  | 上記合計         |
| 資金残高                   |                        |             | 円             | 1,302,951,169 | 1,083,438,624 | 1,046,166,031 | 998,567,140   | 928,744,714    | 1,037,472,705  | 1,127,728,188  | 1,194,935,390 | 1,232,048,421 | 1,242,000,307  | 1,380,006,759  | 1,493,287,134  | 利益剰余金＋内部留保資金 |



## 第9章 経営戦略のフォローアップ

経営状況の全体像を把握するために、前段で整理したような経営指標を用いて、毎年度、改善状況を検証するほか、類似団体と比較し、経営状況の「見える化」を図るなど、本経営戦略のフォローアップを実施します。

検証方法としては、毎年度の施設面、経営面などの各種経営指標を算定し、分析・評価します。

また、投資計画及び財政計画における計画値と実績値の乖離検証を行い、市民の皆様や議会などに対して経営状況を開示します。

本経営戦略は、客観性や実効性を保証するために、検証作業を実施するとともに、毎年開催している「上下水道審議会」の場で説明することで、経営評価の透明性、信頼性を高めるものとしています。

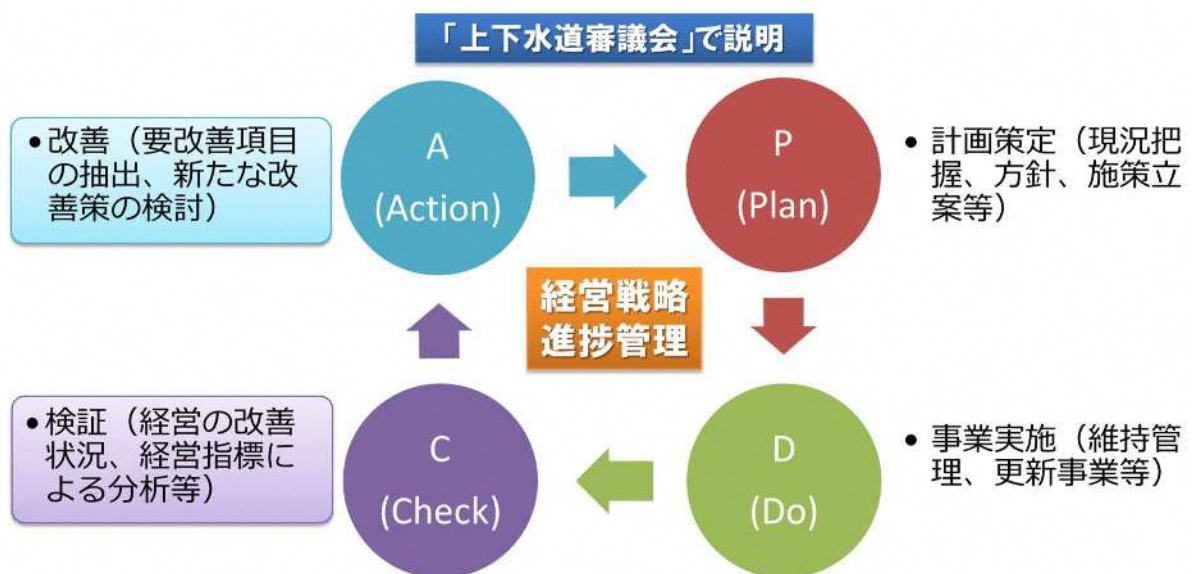


図-9.1 PDCAサイクルによるフォローアップ実施体制

表-9.1 経営戦略の検証に用いる経営指標

| 視点       | 指標名                       | 算定式                                                                                                          | 評価           |
|----------|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 1 経営の健全性 | ① 経常収支比率(%)               | $\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$                                                                 | 経常損益         |
|          | ② 累積欠損金比率(%)              | $\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}} \times 100$                                              | 累積欠損         |
|          | ③ 流動比率(%)                 | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$                                                                 | 支払能力         |
|          | ④ 企業債残高対給水収益比率(%)         | $\frac{\text{企業債現在高}}{\text{給水収益}} \times 100$                                                               | 債務残高         |
| 2 経営の効率性 | ⑤ 料金回収率(%)                | $\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$                                                                 | 料金水準の適切性     |
|          | ⑥ 給水原価(円/m <sup>3</sup> ) | $\frac{(\text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{材料及び不要品売却原価} + \text{付帯事業費}) - \text{長期前受金戻入})}{\text{年間総有収水量}}$ | 費用の効率性       |
|          | ⑦ 施設利用率(%)                | $\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日配水能力}} \times 100$                                                            | 施設の効率性       |
|          | ⑧ 有収率(%)                  | $\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$                                                            | 供給した配水量の効率性  |
| 3 老朽化の状況 | ⑨ 有形固定資産減価償却率(%)          | $\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却資産の帳簿原価}} \times 100$                                          | 施設全体の減価償却の状況 |
|          | ⑩ 管路経年化率(%)               | $\frac{\text{法定耐用年数を経過した導・送・配水管延長}}{\text{導・送・配水管延長}} \times 100$                                            | 管路の経年化状況     |
|          | ⑪ 管路更新率(%)                | $\frac{\text{当該年度に更新した導・送・配水管延長}}{\text{導・送・配水管延長}} \times 100$                                              | 管路の更新投資の実施状況 |
| その他      | ⑫ 資金残高対給水収益比率(%)          | $\frac{\text{資金残高}}{\text{給水収益}} \times 100$                                                                 | 資金残高         |
|          | ⑬ 浄水施設の耐震化率(%)            | $\frac{\text{耐震対策の施された浄水施設能力}}{\text{全浄水施設能力}} \times 100$                                                   | 浄水施設の耐震化状況   |
|          | ⑭ ポンプ所の耐震化率(%)            | $\frac{\text{耐震対策の施されたポンプ所能力}}{\text{耐震化対象ポンプ所能力}} \times 100$                                               | ポンプ所の耐震化状況   |
|          | ⑮ 配水池の耐震化率(%)             | $\frac{\text{耐震対策の施された配水池有効容量}}{\text{配水池等有効容量}} \times 100$                                                 | 配水池の耐震化状況    |
|          | ⑯ 管路の耐震管率(%)              | $\frac{\text{耐震管延長}}{\text{管路延長}} \times 100$                                                                | 管路の耐震化状況     |
|          | ⑰ 基幹管路の耐震管率(%)            | $\frac{\text{基幹管路のうち耐震管延長}}{\text{基幹管路延長}} \times 100$                                                       | 基幹管路の耐震化状況   |
|          | ⑱ 基幹管路の耐震適合率(%)           | $\frac{\text{基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長}}{\text{基幹管路延長}} \times 100$                                                | 基幹管路の耐震化状況   |

※①～⑪の出典：公営企業に係る「経営比較分析表」の分析等について（平成29年1月20日、総務省事務連絡）

⑫：今回追加した指標

⑬～⑱：JWWA水道ガイドライン Q 100(2016)（日本水道協会 平成28年3月改正）から追加した指標

※耐震適合性がある管路の定義…「管路の耐震化に関する検討会報告書」（厚生労働省）において、耐震性能を満たすと評価された管をいいます。具体的には耐震管の他に、K型継手を有するダクタイル鋳鉄管のうち良い地盤に布設されているもの、また、RRロング継手を有する硬質塩化ビニル管をいいます。（ただし、地震の被災経験が少なく、十分に耐震性能が検証されていない管種、継手を含んでいます）

## 第10章 今後取り組むべき事項

水道事業を取り巻く経営環境は、これまで以上に厳しさを増していくことが予測されます。そのため、中長期的な視点に立った計画的かつ効率的な経営を推進していく必要があります。

こうした観点から、本経営戦略の計画期間令和6年度から令和15年度における10力年の財政収支を試算したところ、人口減少に伴う収益性の低下（上水道事業・簡易水道事業）、事業実施に伴う資金残高の減少（上水道事業）、一般会計繰入金への依存度上昇（簡易水道事業）などが予測され、現状の経営体制のままでは財務状況は悪化する見通しです。そのため、本経営戦略では、資金残高対営業収益比率を一定比率以上維持することを条件とした経営改善方策（料金改定）について検討しました。

今回策定する本経営戦略期間において、「5-2 経営方針」の経営の基本方針で掲げた経営目標の取り組みについて、以下の視点で推進していきます。

表-10.1 効率化・健全化に向けた取り組みの視点

| 視 点                 | 取り組みの概要                                                                                                                               |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 投資の合理化              | <ul style="list-style-type: none"> <li>●水道事業統廃合整備計画に基づく施設整備の実施</li> <li>●アセットマネジメントの考え方（老朽度）に基づいた現有資産の更新計画策定</li> </ul>               |
| 組織、人材、定員に関する事項      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●次世代への引き継ぎを見据えた技術継承</li> <li>●災害や事故時などの緊急対応を考慮した職員配置の見直し</li> </ul>                            |
| 広域化に関する事項           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●周辺事業体との広域連携に関する情報交換及び可能性の検討（長崎県主催の検討会の継続参加）</li> </ul>                                        |
| 防災・安全対策に関する事項       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●被災時を想定した地域毎の防災訓練・応急給水訓練</li> <li>●台風による停電時に備えた給水車の配備、自家発電設備の導入の検討</li> </ul>                  |
| 民間の資金・ノウハウの活用に関する事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●業務委託の集約化及び効率化を目的とした個別委託業務・直営業務に対する民間企業のノウハウ・技術力の活用に関する検討</li> </ul>                           |
| 財源に関する事項            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●更新事業などの着実な実施のための財源確保（料金改定による水道料金の増収、企業債活用、一般会計繰入金の借り入れ（簡易水道）、老朽化資産更新などへの国庫補助金活用など）</li> </ul> |
| 情報公開に関する事項          | <ul style="list-style-type: none"> <li>●水道利用者である市民の皆さまへの広報活動の充実（事業の取り組み内容、水質に関する情報、経営指標の分析結果など）</li> </ul>                            |



## 【 用 語 解 説 集 】

本経営戦略に関連する専門的用語を以下に説明します。

| あ行         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| アセットマネジメント | 水道におけるアセットマネジメント（資産管理）とは、「水道ビジョンに掲げた持続可能な水道事業を実現するために、中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的に水道施設を管理運営する体系化された実践活動」を指します。水道におけるアセットマネジメント（資産管理）の実践においては、水道事業の特性（代替性が小さい、受益者負担が原則など）を踏まえつつ、技術的な知見に基づき現有資産の状態・健全度を適切に診断・評価し、中長期の更新需要見通しを検討するとともに、財政収支見通しを踏まえた更新財源の確保方策を講じる等により、事業の実行可能性を担保する必要があるとされています。 |
| 1日最大給水量    | 年間の一日本給水量のうち最大の水量のことをいいます。                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 1日平均給水量    | 年間総給水量を年日数で除した1日当たり平均水量のことをいいます。                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| か行         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 管路         | 水などの流体が流れる管のことをいいます。                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 企業債        | 地方公営企業が行う建設、改良等に要する資金に充てるために起こす地方債のことをいいます。                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 企業債残高      | 企業債等による外部資金の借入金の残高のことをいいます。                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 企業債償還金     | 企業債の発行後、各事業年度に支出する元金の償還額または一定期間に支出する元金償還金の総額をいい、地方公営企業の経理上、資本的支出として整理されます。利息の償還額も含めて企業債償還金と総称することもあります。                                                                                                                                                                                                 |
| 給水原価       | 有収水量1 m <sup>3</sup> 当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを表したものです。                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 給水収益       | 水道事業会計における営業収益の一つで、公の施設としての水道施設の使用について徴収する使用料のことをいいます。水道事業収益のうち、最も重要な位置を占める収益であり、通常、水道料金として収入となる収益がこれに当たります。                                                                                                                                                                                            |
| 給水人口       | 給水区域内に居住し、水道により給水を受けている人口をいいます。給水区域外からの通勤者や観光客は給水人口には含まれません。                                                                                                                                                                                                                                            |
| 給水量        | 給水区域内の一般の需要に応じて給水するため、水道事業者が定める事業計画上の給水量のことをいいます。統計などにおいては、給水区域に対して給水をした実績水量をいいます。                                                                                                                                                                                                                      |

|         |                                                                                                                                                                               |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 供給単価    | 水道利用者から徴収した水道料金である給水収益を年間総有収水量で除した数値であり、有収水量 1m <sup>3</sup> 当たりについて、どれだけの収益を得ているか表わすものです。                                                                                    |
| 繰越利益剰余金 | 企業の営業活動から生じる利益は、前年度からの繰越欠損金がある場合はこれを埋めたのち、すべて未処分利益剰余金勘定にプールされ処分されますが、処分後繰出金など外部へ流出するものを除いて法定積立金または任意積立金勘定に整理されることとなります。一方、処分されずに残った未処分利益剰余金は翌年度に繰り越すことが予定され、これを繰越利益剰余金にあたります。 |
| 経営指標    | 各公営企業の経営の健全性・効率性、保有する施設の規模・能力や老朽化・耐震化の状況等を表す指標のことをいいます。経営指標をとりまとめた「経営比較分析表」を活用し、経年変化や類似団体との比較等の分析を行うことも有効とされています。                                                             |
| 経営戦略    | 公営企業における経営戦略とは、公営企業をめぐる経営環境は厳しさを増しつつあることを踏まえ、自らの経営等についての的確な現状把握を行った上で、計画的な経営に取り組み、徹底した効率化、経営健全化を行うための中長期的な経営の基本計画のことをいいます。                                                    |
| 経営比較分析表 | 公営企業において、経営及び施設の状況を表す経営指標を活用し、経年比較や他公営企業との比較、複数の指標を組み合わせた分析を行うことにより、経営の現状及び課題を的確かつ簡明に把握することが可能となることから、各公営企業（水道事業及び下水道事業）における経営指標をとりまとめたものをいいます。                               |
| 減価償却費   | 固定資産の減価を費用として、その利用各年度に合理的かつ計画的に負担させる会計上の処理または手続きを減価償却といい、この処理または手続きによって、特定の年度の費用とされた固定資産の減価額を減価償却費といいます。                                                                      |
| 更新需要    | 現有する水道施設を更新した場合にかかる投資費用のことをいいます。                                                                                                                                              |
| 固定資産台帳  | 事業者が土地・建物・機械などの固定資産や繰延資産を管理するために作成する帳簿のことをいいます。                                                                                                                               |
| さ行      |                                                                                                                                                                               |
| 残留塩素    | 水に注入した塩素が、消毒効果をもつ有効塩素として消失せずに残留している塩素のことをいいます。                                                                                                                                |
| 時間計画保全  | 耐用年数を考慮して、機能停止に至る前に計画的に修繕・更新を行うことをいいます。                                                                                                                                       |
| 資金残高    | 当年度の経常活動における収入・支出の収支を計上したのち、本事業と                                                                                                                                              |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | して確保している資金の残高のことをいいます。資金残高が0となると経営破綻となり、運営できなくなります。                                                                                                                                                                                                                                            |
| 施設利用率   | 1日当たりの給水能力に対する1日平均給水量の割合を示したもので、水道施設の経済性を総括的に判断する指標です。この比率が大きいほど効率的な施設運転を実施しているものといえます。                                                                                                                                                                                                        |
| 支払利息    | 営業外費用の一つで、企業債、他会計からの借入金、一時借入金等について支払う利息のことをいいます。                                                                                                                                                                                                                                               |
| 資本的収支   | 企業の資産を取得するために要する費用（支出）とその財源（収入）の収支のことをいいます。資本的収入には、国庫補助金、企業債等が計上され、資本的支出には、建設改良費、企業債償還金などが計上されます。                                                                                                                                                                                              |
| 収益的収支   | 企業の経常的経営活動に伴って発生する収入と、これに対応する支出をいいます。収益的収入には給水サービス提供の対価である料金などの給水収益のほか、受取利息などを計上し、収益的支出には水道水を製造したり、用水供給事業などから購入したり、使用者へ水道水を送るための施設を維持管理するのに必要な経費（人件費・修繕費など）や、企業債利息、更には資産の取得に伴う減価償却費などのように、現金支出を伴わない経費なども含まれます。                                                                                 |
| 重要給水施設  | 震災時の給水が特に必要となる災害拠点病院、避難所、防災拠点などの施設のことをいいます。                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 浄水場     | 浄水処理に必要な設備がある施設のことをいいます。原水水質により浄水方法が異なりますが、一般に浄水場内の施設として、着水井、凝集池、沈澱池、濾過池、薬品注入設備、消毒設備、浄水池、排水処理施設、管理室などがあります。                                                                                                                                                                                    |
| 新水道ビジョン | 厚生労働省では、平成16年に今後の水道に関する重点的な政策課題とその課題に対処するための具体的な施策及びその方策、工程等を包括的に明示する「水道ビジョン」を公表し、平成20年には、水道ビジョンを時点に見合った内容に改訂しました。<br>その後、日本の総人口の減少や東日本大震災の経験など、水道を取り巻く環境の大きな変化に対応するため全面的に見直しが行われ、50年後、100年後の将来を見据え、水道の理想像を明示するとともに、取り組みの目指すべき方向性やその実現方策、関係者の役割分担が提示されたものとして、平成25年3月に厚生労働省より「新水道ビジョン」が策定されました。 |
| 水源      | 一般に取水する地点の水をいいますが、河川最上流部やダム湖などその水の源となる地点の水を指す場合があります。水源の種類には、河川表                                                                                                                                                                                                                               |

|                   |                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                   | 流水、湖沼水、ダム水、地下水、湧水、伏流水があります。                                                                                                                                                                                                 |
| <b>た行</b>         |                                                                                                                                                                                                                             |
| <b>耐震管</b>        | 地震の際でも継ぎ目の接合部分が離脱しない離脱防止機能を有する管路のことをいいます。                                                                                                                                                                                   |
| <b>ダウンサイジング</b>   | 水需要の減少や広域化、技術進歩に伴い、施設更新などの際に施設能力を縮小して施設規模を適正化し、維持管理コストの削減を図ることをいいます。                                                                                                                                                        |
| <b>地方公営企業</b>     | 地方公共団体が経営する企業のうち、水道事業(簡易水道事業を除く。)工業用水道事業、軌道事業、自動車運送事業、鉄道事業、電気事業及びガス事業の7事業(これらに附帯する事業を含む。)を地方公営企業とといいます。なお、水道事業には水道用水供給事業を含み、下水道事業は含みません。地方公営企業は、経済性を発揮するとともに、公共の福祉を増進することを経営の基本原則とし、その経費は、原則として当該企業の経営に伴う収入をもって充てることとしています。 |
| <b>監視装置</b>       | 取水施設から浄水施設及び配水施設に至る水道施設全般にわたり、水量・水圧・水質などの情報や、災害及び設備故障を含む水道施設の運転状況を、現地に赴くことなく浄水場や水道庁舎にて一括管理できる設備のことをいいます。                                                                                                                    |
| <b>長期前受金戻入</b>    | 補助金等を受けて施設を整備した場合、補助金等相当分は減価償却しない制度で、水道事業では一部適用し、病院事業では適用していません。償却資産の取得又は改良に伴い交付される補助金、一般会計負担金等については、「長期前受金」として負債(繰延収益)に計上したうえで、減価償却見合い分を、順次収益化します。                                                                         |
| <b>は行</b>         |                                                                                                                                                                                                                             |
| <b>官民連携 (PPP)</b> | 官民連携 (PPP: Public Private Partnership) とは、公共サービスの提供に何らかの形で民間が参画する手法を幅広く捉えた概念のことをいいます。PPP には、コンセッション・PFI・DBO 等の手法があり、官民が協同して事業を実施し、より効率的で質の高いサービスを目指す形態を総称したものです。                                                            |
| <b>法定耐用年数</b>     | 固定資産の減価償却費を算出するため、地方公営企業法施行規則に定められている使用年数のことをいいます。                                                                                                                                                                          |
| <b>ま行</b>         |                                                                                                                                                                                                                             |
| <b>水道管路システム</b>   | コンピュータを用いて地図情報を作成、管理する技術で、地図情報に地下埋設管や関連施設の図形に加え、管路の口径、管種、埋設年度といった属性情報や、管理図面などをデータベースとして一元管理するシステム                                                                                                                           |

|              |                                                                                                                                                                |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|              | △のことをいいます。                                                                                                                                                     |
| <b>無効水量</b>  | 使用上無効とみられる水量のことをいいます。配水本支管、メータより上流部での給水管からの漏水量、調定減額水量、他に起因する水道施設の損傷などにより無効となった水量及び不明水量をいいます。                                                                   |
| <b>無収水量</b>  | 給水量のうち料金徴収の対象とならなかった水量のことをいいます。事業用水量、メータ不感水量、その他、公園用水、公衆便所用水、消防用水などのうち料金その他の収入がまったくない水量をいい、有効無収水量ともいいます。                                                       |
| <b>や行</b>    |                                                                                                                                                                |
| <b>有効水量</b>  | 給水量の分析を行うにあたっては有効水量と無効水量に分類され、有効水量はさらに有収水量と無収水量に区分されます。使用上有効と見られる水量が有効水量で、メータで計量された水量、もしくは需要者に到達したものと認められる水量並びに事業用水量などをいいます。                                   |
| <b>有効率</b>   | 有効水量を給水量で除した指標値のことをいいます。水道施設及び給水装置を通して給水される水量が有効に使用されているかどうかを示す指標であり、有効率の向上は経営上の目標となります。                                                                       |
| <b>有収水量</b>  | 料金徴収の対象となった水量及び他会計等から収入のあった水量。料金水量、他水道事業への分水量、そのほか公園用水、公衆便所用水、消防用水などで、料金としては徴収しないが、他会計から維持管理費としての収入がある水量のことをいいます。                                              |
| <b>ら行</b>    |                                                                                                                                                                |
| <b>流動資産</b>  | 資産のうち、固定資産に対するもので、現金、原則として1年以内に現金化される債権、貯蔵品などをいい、絶えず流動的に出入りする資産のことをいいます。現金預金等の当座資産、貯蔵品等のたな卸資産、前払費用等のその他流動資産に区分しています。                                           |
| <b>流動負債</b>  | 負債は、その返済までの期間の長短によって流動負債と固定負債に分けられます。流動負債は、負債のうち、事業の通常取引において一年以内に償還しなければならない短期の債務のことをいいます。流動負債は一時借入金、未払金、未払費用、前受金及びその他流動負債に区分されます。                             |
| <b>累積欠損金</b> | 営業収益に占める累積欠損金の割合を示すもので、経営状況が健全な状態にあるかどうかを見る際の代表的な指標です。営業活動で生じた欠損（赤字）のうち、繰越利益剰余金（前年度以前に生じた利益で今年度に繰り越したもの）や利益積立金（前年度以前に生じた利益を積み立てたもの）などで埋め合わせできなかった欠損額が累積したものです。 |





西 海 橋

## 西海市水道事業経営戦略 (西海市水道事業・西海市簡易水道事業)

令和 6 年 8 月 改定

【編集・発行】 長崎県 西海市 水道部 上水道課

〒857-2301

長崎県 西海市大瀬戸町瀬戸板浦郷 1128 番地 16

TEL : 0959-37-0072 FAX : 0959-22-0364